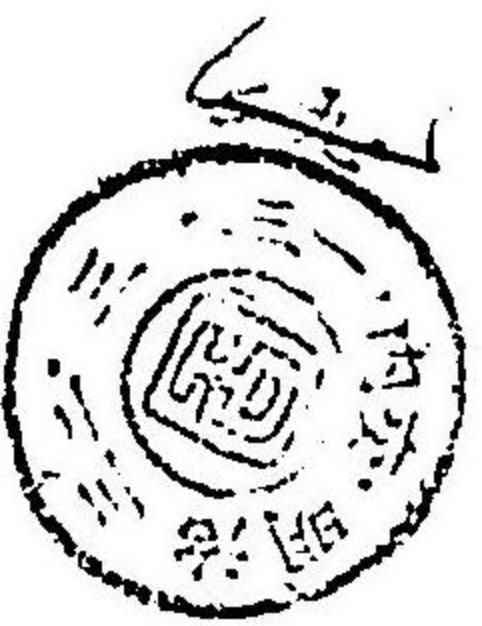


天津昌永著



中地理學

東京 丸善株式會社

# 中地理學日本誌

## 序言

我國文運ノ進歩ハ戰後特ニ著ルシク、萬般ノ事物ニ向ツテ須臾モ猶豫ヲ與ヘザルニ至レリ。前著中學日本地誌ハ江湖ノ歡迎ニ賴リ、既ニ十數版ヲ重テ、其改版毎ニ多少ノ訂正ヲ加ヘタレドモ、最早訂正ノ能ク及バザル所アリ、且又其仕組ミニ於テモ、大ニ改正ヲ要スル所アルヲ以テ、茲ニ本書ヲ編纂スルニ至レリ。

本書モ亦前著ト同一ノ主義目的ヲ有セリ。即日  
本地理ニ依リテ、我郷土ノ愛スベキ邦國タルコ  
トヲ知ラシメ、生産物ノ配布ヲ示シ、以テ業務ヲ  
指定シ、生産ノ發達ヲ企圖スルノ豫備ヲナサシ  
メ、我國土ノ秀美ナル風光ヲ紹介シテ、以テ審美  
思想ヲ獎勵シ、又風土ノ特異、習俗ノ如何ヲ示シ、  
以テ天然ト人事ト聯關スル趣味多キ居ハ俗ヲ  
易フノ問題ヲ解セントス。

又今回特ニ注意セシ點ハ、地理科ヲ以テ國民教

科ノ一助ト爲サントノ希望是ナリ。現今ノ中等  
教科ニ於テ、國民的智識ヲ養成スベキ學科ハ、日  
本地理ヲ以テ最モ其緣アリト謂フベシ。故ニ立  
憲國民ノ智識ニ必要ナル、國政、自治制、兵役及納  
稅義務、租稅、歲出入、參政權及外國人内地雜居等  
ノ意義ヲモ加ヘタリ。然レモ固ヨリ只其端緒ヲ  
開キシニ過ギザレバ、司教者ハ充分其意義ヲ敷  
衍セラレントヲ望ム。

本書ノ體裁ハ主トシテ文部省指定ノ方針ニ據

リ。其分量及順序モ大抵文部省ノ地理科細目ヲ標準トナシタレバ、今茲ニ縷述セザルベシ。

明治三十二年春風鶯花之時

矢津昌永識

### 中地理學日本誌目次

#### 第壹編

|                          |       |    |
|--------------------------|-------|----|
| 總論                       | ..... | 一  |
| 位置 境域 幅員                 | ..... |    |
| 地勢                       | ..... | 三  |
| 海岸線 地形 樺太山系 崑崙山系 河系      | ..... |    |
| 氣候                       | ..... | 一八 |
| 海流 天產物                   | ..... |    |
| 住民                       | ..... | 二三 |
| 日本人 人口 教育 宗教             | ..... |    |
| 政治                       | ..... | 三〇 |
| 國體 政體 立法部 行政部 司法部 財政 參政權 | ..... |    |

外交 軍制

生業物産 ..... 四一

林産 水産 農産 鑛産 工業 商業 貿易

交通 ..... 四九

鐵道 海運

第貳編

北日本

關東八州(一府、六縣) ..... 五一

東京府 ..... 五三

埼玉縣 ..... 六〇

神奈川縣 ..... 六二

千葉縣 ..... 六五

茨城縣 ..... 六七

栃木縣 ..... 六九

群馬縣 ..... 七一

奧羽七州(六縣) ..... 七三

福島縣 ..... 七四

宮城縣 ..... 七七

岩手縣 ..... 八〇

青森縣 ..... 八二

秋田縣 ..... 八三

山形縣 ..... 八五

中央高原(三縣) ..... 八七

新潟縣 ..... 八八

長野縣 ..... 九一

山梨縣 ..... 九三

第三編

南日本

本州中部(四縣)……………九六

靜岡縣……………九七

愛知縣……………九一

岐阜縣……………一〇四

三重縣……………一〇六

北國(三縣)……………一〇八

福井縣……………一〇九

石川縣……………一一二

富山縣……………一一四

近畿(二府三縣)……………一一六

滋賀縣……………一二七

京都府……………一二八

奈良縣……………一三三

和歌山縣……………一二六

大坂府……………一二八

中國(六縣)……………一三一

兵庫縣……………一三三

岡山縣……………一三七

廣島縣……………一三九

山口縣……………一四二

島根縣……………一四五

鳥取縣……………一四七

第四編

四國(四縣)……………一四七

第五編

|                   |       |     |
|-------------------|-------|-----|
| 德島縣               | ..... | 一五〇 |
| 香川縣               | ..... | 一五三 |
| 愛媛縣               | ..... | 一五四 |
| 高知縣               | ..... | 一五六 |
| 九州(七縣附沖繩).....一五八 |       |     |
| 福岡縣               | ..... | 一五九 |
| 佐賀縣               | ..... | 一六三 |
| 長崎縣               | ..... | 一六五 |
| 熊本縣               | ..... | 一六七 |
| 大分縣               | ..... | 一七〇 |
| 宮崎縣               | ..... | 一七一 |
| 鹿兒島縣              | ..... | 一七二 |

第六編

|                  |       |     |
|------------------|-------|-----|
| 附沖繩縣             | ..... | 一七七 |
| 北海道(十一國).....一七七 |       |     |
| 渡島國              | ..... | 一八三 |
| 後志國              | ..... | 一八五 |
| 石狩國              | ..... | 一八六 |
| 天鹽國              | ..... | 一八八 |
| 北見國              | ..... | 一八八 |
| 膽振國              | ..... | 一八九 |
| 日高國              | ..... | 一九〇 |
| 十勝國              | ..... | 一九一 |
| 釧路國              | ..... | 一九一 |
| 根室國              | ..... | 一九二 |

第七編

|           |       |     |
|-----------|-------|-----|
| 千島國       | …………… | 一九三 |
| 臺灣(六縣、三廳) | …………… | 一九四 |
| 臺北縣       | …………… | 二〇〇 |
| 新竹縣       | …………… | 二〇二 |
| 臺中縣       | …………… | 二〇二 |
| 嘉義縣       | …………… | 二〇三 |
| 臺南縣       | …………… | 二〇三 |
| 鳳山縣       | …………… | 二〇四 |
| 宜蘭縣       | …………… | 二〇五 |
| 臺東廳       | …………… | 二〇六 |
| 澎湖廳       | …………… | 二〇六 |

中地理學日本誌目次了

地方廳管轄表

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| ○東京府  | 武藏ノ内 一市、八郡 (伊豆諸島、小笠原島)             |
| 武藏國   | 東京市 南多摩 北多摩 西多摩 荏原 豐多摩 北豐島 南足立 南葛飾 |
| ○埼玉縣  | 武藏ノ内 九郡                            |
| 武藏國   | 南埼玉 北埼玉 北足立 入間 比企 大里 兒玉 秩父 北葛飾     |
| ○神奈川縣 | 武藏ノ内 一市、三郡、相模八郡                    |
| 武藏國   | 横濱市 橋樹 久良岐 都筑                      |
| 相模國   | 三浦 鎌倉 高座 中 足柄上 足柄下 愛甲 津久井          |
| ○千葉縣  | 安房一郡、上總五郡、下總ノ内六郡                   |



安房國 安房

上總國 市原 長生 山武 君津 夷隅

下總國 千葉 東葛飾 香取 印旛 匝漣 海上

○茨城縣 常陸一市、十一郡、  
下總ノ内三郡、

常陸國 水戸(市) 東茨城 西茨城 那珂 久慈 多賀 眞壁 鹿島 行方

新治 筑波 稻敷

○栃木縣 下野一市、八郡、

下野國 宇都宮(市) 河内 上都賀 芳賀 下都賀 鹽谷 那須 安蘇 足利

○群馬縣 上野一市、  
十一郡、

上野國 前橋(市) 勢多 群馬 多野 北甘樂 碓氷 吾妻 利根 山田

新田 邑樂 佐波

○福島縣 岩代十郡、  
磐城ノ内七郡、

岩代國 信夫 伊達 安達 安積 岩瀬 南會津 北會津 耶麻 河沼 大沼

磐城國 東白川 西白河 石川 田村 相馬 石城 雙葉

○宮城縣 陸前ノ内一市、十三郡、  
磐城三郡、

陸前國 仙臺(市) 柴田 名取 宮城 黒川 加美 志田 玉造 遠田 栗原

登米 桃生 牡鹿 本吉

磐城國 刈田 伊具 亘理

○岩手縣 陸中一市、十一郡、陸前ノ内一郡、  
陸奥ノ内一郡、

陸中國 盛岡(市) 岩手 柴波 稗貫 和賀 膽澤 江刺 西盤井 東盤井

上閉伊 下閉伊 九戸

陸前國 氣仙

陸奥國 二戸

○青森縣 陸奥ノ内二市、八郡

陸奥國 弘前(市) 青森(市) 東津輕 西津輕 中津輕 南津輕 北津輕  
上北 下北 三戸

○秋田縣 羽後ノ内一市、八郡 陸中ノ内一郡

羽後國 秋田(市) 南秋田 北秋田 山本 河邊 由利 仙北 平鹿 雄勝  
陸中國 鹿角

○山形縣 羽前二市、十郡、羽後一郡

羽前國 山形(市) 米澤(市) 南村山 東村山 西村山 北村山 最上  
東田川 西田川 西置賜 東置賜 南置賜

羽後國 飽海

○新潟縣 越後一市、十五郡、佐渡一郡

越後國 新潟(市) 北蒲原 中蒲原 西蒲原 南蒲原 東蒲原 三島 古志  
北魚沼 中魚沼 南魚沼 刈羽 東頸城 中頸城 西頸城 岩船

佐渡國 佐渡

○長野縣 信濃一市、十六郡

信濃國 長野(市) 南佐久 北佐久 小縣 諏訪 上伊那 西筑摩 下伊那  
南安曇 北安曇 東筑摩 更級 埴科 上高井 下高井 上水内  
下水内

○山梨縣 甲斐一市、九郡

甲斐國 甲府(市) 東山梨 東八代 西八代 南巨摩 中巨摩 北巨摩  
南都留 北都留

○静岡縣 駿河一市、五郡、遠江六郡、伊豆二郡

駿河國 静岡(市) 駿東 富士 庵原 安倍 志太

遠江國 榛原 小笠 周智 磐田 濱名 引佐

伊豆國 賀茂 田方

○愛知縣 尾張一市、九郡、三河十郡

尾張國 名古屋(市) 愛知 東春日井 西春日井 丹羽 葉栗 中島 海東

海西 知多

三河國 碧海 幡豆 額田 西加茂 東加茂 北設樂 南設樂 寶飯 渥美

八名

○岐阜縣 美濃一市、十五郡、飛騨三郡

美濃國 岐阜(市) 稻葉 羽島 海津 養老 不破 安八 揖斐 本巢

山縣 武儀二郡上 加茂 可兒 土岐 惠那

飛騨國 大野 益田 吉城

○三重縣 伊勢二市、十郡、伊賀二郡、志摩一郡、紀井ノ内二郡

伊勢國 津(市) 四日市(市) 桑名 員辨 三重 鈴鹿 河藝 安濃 一志

飯南 多氣 度會

伊賀國 阿山 名賀

志摩國 志摩

紀伊國 南牟婁 北牟婁

○福井縣 越前一市、八郡、若狹三郡

越前國 福井(市) 足羽 吉田 坂井 大野 南條 今立 丹生 敦賀

若狹國 三方 遠敷 大飯

○石川縣

加賀一市、四郡、能登四郡

加賀國

金澤(市)

江沼 能美

石川 河北

能登國

羽咋 鹿島

鳳至 珠洲

○富山縣

越中二市、八郡

越中國

上新川

中新川 婦負

下新川 射水

氷見 東礪波

西礪波

○滋賀縣

近江一市、十二郡

近江國

大津(市)

滋賀 栗太

野洲 甲賀

蒲生 神崎

愛知 犬上

坂田

東淺井 伊香 高島

○京都府

山城一市、八郡丹波ノ内五郡、丹後五郡

山城國

京都(市)

愛宕 葛野

乙訓 紀伊

宇治 久世

綴喜 相樂

丹波國

南桑田

北桑田

船井

天田

何鹿

丹後國

加佐 與謝

中 竹野 熊野

○奈良縣

大和一市、十郡

大和國

奈良(市)

添上

生駒

山邊

北葛城

磯城

宇陀

高市

南葛城

宇智 吉野

○和歌山縣

紀伊ノ内一市、七郡

紀伊國

和歌山(市)

海草

那賀

伊都

有田

日高

西牟婁

東牟婁

○大坂府

攝津ノ内一市、四郡、河内三郡、和泉一市二郡

攝津國

大坂(市)

東成

西成

三島

豐能

河内國

南河内

中河内

北河内

和泉國

堺(市)

泉北

泉南

○兵庫縣

攝津ノ内一市三郡、播磨一市十三郡、丹波ノ内二郡、但馬五郡、淡路二郡

攝津國 神戸(市) 河邊 武庫 有馬

播磨國 姫路(市) 明石 美養 加東 多可 加西 加古 印南 飾磨 神崎

揖保 赤穂 佐用 宍粟

丹波國 水上 多紀

但馬國 出石 城崎 養父 朝來 美方

淡路國 津名 三原

○岡山縣 備前一市、八郡、備中十一郡、美作十二郡

備前國 岡山(市) 御野 津高 赤坂 盤梨 和氣 邑久 上道 兒島

備中國 都宇 窪屋 淺口 小田 後月 下道 賀陽 上房 川上 哲多

阿賀

美作國 眞島 大庭 西北條 西西條 南東條 東北條 勝北 吉野 英田

久米北條 久米南條

○廣島縣 安藝一市、八郡、備後十四郡

安藝國 廣島(市) 安藝 佐伯 沼田 高宮 山縣 高田 加茂 豐田

備後國 御調 世羅 深津 沼隈 安那 蘆田 品治 神石 甲奴 三次

三谿 奴可 三上 惠蘇

○山口縣 長門一市五郡、周防六郡

長門國 赤間關(市) 厚狹 豐浦 美禰 大津 阿武

周防國 大島 玖珂 熊毛 都濃 佐波 吉敷

○島根縣 出雲一市、三郡、石見六郡、隱岐四郡

出雲國 松江(市) 八束 能義 仁多 大原 簸川 飯石

石見國 邇摩 安濃 邑智 那賀 美濃 鹿足

隱岐國 周吉 穩地 海士 智夫

○鳥取縣 因幡一市、三郡、伯耆三郡

因幡國 鳥取(市) 岩美 八頭 氣高

伯耆國 東伯 西伯 日野

○德島縣 阿波一市十郡、

阿波國 德島(市) 名東 勝浦 那賀 海部 名西 板野 阿波 麻植 美馬

三好

○香川縣 一市、七郡、

讚岐國 高松(市) 大川 小豆 木田 香川 綾歌 仲多度 三豊

○愛媛縣 伊豫一市、十二郡、

伊豫國 松山(市) 温泉 越智 新居 周桑 宇摩 伊豫 上浮穴 喜多

西宇和 東宇和 南宇和 北宇和

○高知縣 土佐一市、七郡、

土佐國 高知(市) 土佐 幡多 高岡 吾川 長岡 香美 安藝

○福岡縣 筑前一市、九郡、筑後一市、六郡、

筑前國 福岡(市) 糟谷 宗像 鞍手 嘉穂 朝倉 筑紫 糸島 早良 遠賀

筑後國 久留米(市) 三井 三潞 八女 浮羽 山門 三池

豊前國 企救 田川 京都 築上

○佐賀縣 肥前ノ内一市、八郡、

肥前國 佐賀(市) 佐賀 神崎 三養基 小城 東松浦 西松浦 杵島 藤津

○長崎縣 肥前ノ内一市、九郡、

肥前國 長崎(市) 東彼杵 西彼杵 北高來 南高來 南松浦 北松浦

壹岐國 壹岐

對馬國 上縣 下縣

○熊本縣 肥後一市、十二郡、

肥後國 熊本(市) 飽託 宇土 玉名 鹿本 菊池 阿蘇 上益城 下益城

八代 葦北 球磨 天草

○大分縣 豐後十郡、豐前ノ内二郡、

豐後國 西國東 東國東 速見 大分 北海部 南海部 大野 直入 玖珠

日田

豐前國 下毛 宇佐

○宮崎縣 日向八郡、

日向國 宮崎 南珂那 兒湯 東臼杵 西臼杵 北諸縣 西諸縣 東諸縣

○鹿兒島縣 薩摩一市、七郡、大隅五郡、

薩摩國 鹿兒島(市) 鹿兒島 揖宿 川邊 日置 薩摩 出水 伊佐

大隅國 始良 噺吹 肝屬 熊毛 大島

○北海道廳

渡島國 (一區) 函館(區) 龜田 上磯 茅部 松前 檜山 爾志

後志國 (十七郡) 久遠 奥尻 太櫓 瀬棚 壽都 島牧 歌葉 磯谷 岩内

古宇 小樽 高島 忍路 餘市 古平 美國 積丹

石狩國 (九區) 札幌(區) 札幌 石狩 厚田 濱益 空知 夕張 樺太

兩龍 上川

天鹽國 (六郡) 増毛 留萌 苫前 天鹽 中川 上川

北見國 (八郡) 宗谷 枝幸 利尻 禮文 網走 斜里 常呂 紋別

|                            |                       |  |                            |                |                   |                      |                      |                         |
|----------------------------|-----------------------|--|----------------------------|----------------|-------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|
| 臺中縣                        | 新竹縣                   | 臺北縣  | 千島國                        | 根室國            | 釧路國               | 十勝國                  | 日高國                  | 膽振國                     |
| (十四辨務署)                    | (七辨務署)                | (十三辨務署)                                      | (九郡)                       | (五郡)           | (六郡)              | (七郡)                 | (七郡)                 | (八郡)                    |
| 臺中 南投 葫頭店 牛馬頭 大肚 彰化 和美線 鹿港 | 新竹 樹杞林 新埔 頭份 苗栗 苑里 大甲 | 臺北 士林 新庄 三角湧 景尾 桃仔園 中壢 滬尾 樹林口 基隆 水邊脚 頂双溪 金包里 | 國後 擇捉 紗那 振別 藥取 色丹 得撫 新知 占守 | 根室 花咲 野付 標津 目梨 | 釧路 白糠 阿寒 足寄 上川 厚岸 | 廣尾 當縁 十勝 中川 河西 河東 上河 | 浦河 沙流 新冠 靜内 三石 様似 幌泉 | 山越 室蘭 有珠 蛇田 幌別 勇拂 白老 千歳 |
| ○臺灣總督府 (臺灣ハ縣及廳ノ下ニ辨務署ヲ置ク)   |                       |  |                            |                |                   |                      |                      |                         |

|  |                                    |                    |                    |                    |
|--|------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 嘉義縣                                      | 鳳山縣                                | 宜蘭廳                | 臺東廳                | 澎湖廳                |
| (十二辨務署)                                  | (十一辨務署)                            | (四辨務署)             | (三辨務署)             | (五辨務署)             |
| 蕭壠 北港 斗六 打猫 西螺 鹽水港 土庫 樸仔脚 林杞捕 梅仔坑 六甲 店仔口 | 鳳山 打狗 阿公店 大湖 阿里港 阿猴 內埔 萬丹 東港 枋寮 恒春 | 宜蘭 頭圍 羅東 利澤簡       | 卑南 水尾 奇萊 附紅頭嶼      | 媽宮 隘門 小池角 大赤炭 網按   |
| 臺南縣                                      | 臺南縣                                | 臺南縣                | 臺南縣                | 臺南縣                |
| (六辨務署)                                   | (六辨務署)                             | (六辨務署)             | (六辨務署)             | (六辨務署)             |
| 臺南 關帝廟 灣裡 大穆降 蕃薯寮 唯吧啤                    | 二林 北斗 社頭 員林 埔里社 集集                 | 二林 北斗 社頭 員林 埔里社 集集 | 二林 北斗 社頭 員林 埔里社 集集 | 二林 北斗 社頭 員林 埔里社 集集 |

地方廳管轄表終



# 中地理學日本誌

矢津昌永著

## 第壹編

### 總論

#### ◎位置

我天日本帝國ハ東半球ノ北部ナル亞細亞洲ノ東邊北太平洋中ニ羅列スル島國ナリ。北端(北緯五十六度五分)ニ至ルマデ其長サ凡一千二百里ニ亘リテ、千島ノアライト島ヨリ斜ニ南西ニ延ビ南ハ臺灣ノ南端(北緯二十一分)ニ至ルマデ其長サ凡一千二百里ニ亘リテ、亞細亞ノ東面ヲ擁セリ。故ニ我國ノ位置ハ氣候快美ナル温帶ニ位シ又交通及兵要上ノ要所ヲ占メタリ。

○境域 北西ハ日本海ヲ隔テ、露西亞領ノ西伯リアリ、其堪察加半島及樺太島ハ、最モ我國ニ接近セリ。西ハ朝鮮海峽ニヨリテ朝鮮ト相對シ、南西ハ支那大陸ニシテ、其間又遠カラズ臺灣島ハ比律賓群島ニ近ク、南方遙ニ南洋諸島ニ臨メリ、東方ハ茫々タル太平洋ニ濱シ、約四千七百餘哩ニシテ北亞米利加大陸アリ。

○幅員 我國ハ五大島及四千有餘ノ群島ヨリ成ル、其總面積ハ二萬七千零六十二方里(約十六萬一千三百方哩)アリ、其内本州ハ全面積ノ半ヲ占メ、蝦夷ハ殆ド本州ノ三分ノ一ナリ、九州ト臺灣トハ伯仲ノ間ニアリ、兩島ヲ合スレバ、蝦夷島ニ比スベク、四國ハ臺灣ノ半ニ當レリ。其各地面積ヲ示セバ

左ノ如シ。

| 各地面積比較 | 方里       |
|--------|----------|
| 本州     | = 14,571 |
| 蝦夷     | = 5,062  |
| 九州     | = 2,618  |
| 臺灣     | = 2,253  |
| 四國     | = 1,181  |
| 千島     | = 1,033  |
| 琉球     | = 157    |
| 諸島     | = 187    |
| 總計     | = 27,062 |

地勢

○海岸線 我國ハ四面海ヲ繞ラシ、海岸ノ出入甚ダ多キヲ以テ港灣頗ル多ク、文明進入ノ門戶到ル處ニ開ケタリ。全國ノ海岸線ヲ延長スレバ七千四百五十六里ニ達シ、面積三方里六ニ對シ海岸線一里ノ割ニ當レリ、此割合ハ世界ニ其類罕ナリ。本州ハ弓形ヲナシ、太平洋ニ擴張シテ日本海ニ彎曲セリ、

海岸線ノ延長ハ一千九百五十三里ニ達シ、太平洋岸ニ於テ出入多シ、其重モナルハ北端ニ津輕斗南ノ兩半島アリテ内ニ陸奥灣ヲ抱キ、是ヨリ南ノ沿岸ハ殆ド鋸齒ノ如ク、牡鹿半島出デ、仙臺灣ヲ擁シ、房總半島ノ突出ニヨリテ東京灣ヲ作り、又伊豆半島ニヨリテ駿河灣アリ、其以西ニハ衣ヶ浦伊勢海、及知多半島、志摩ノ突出アリ、其南西ニ紀伊半島突出セリ。

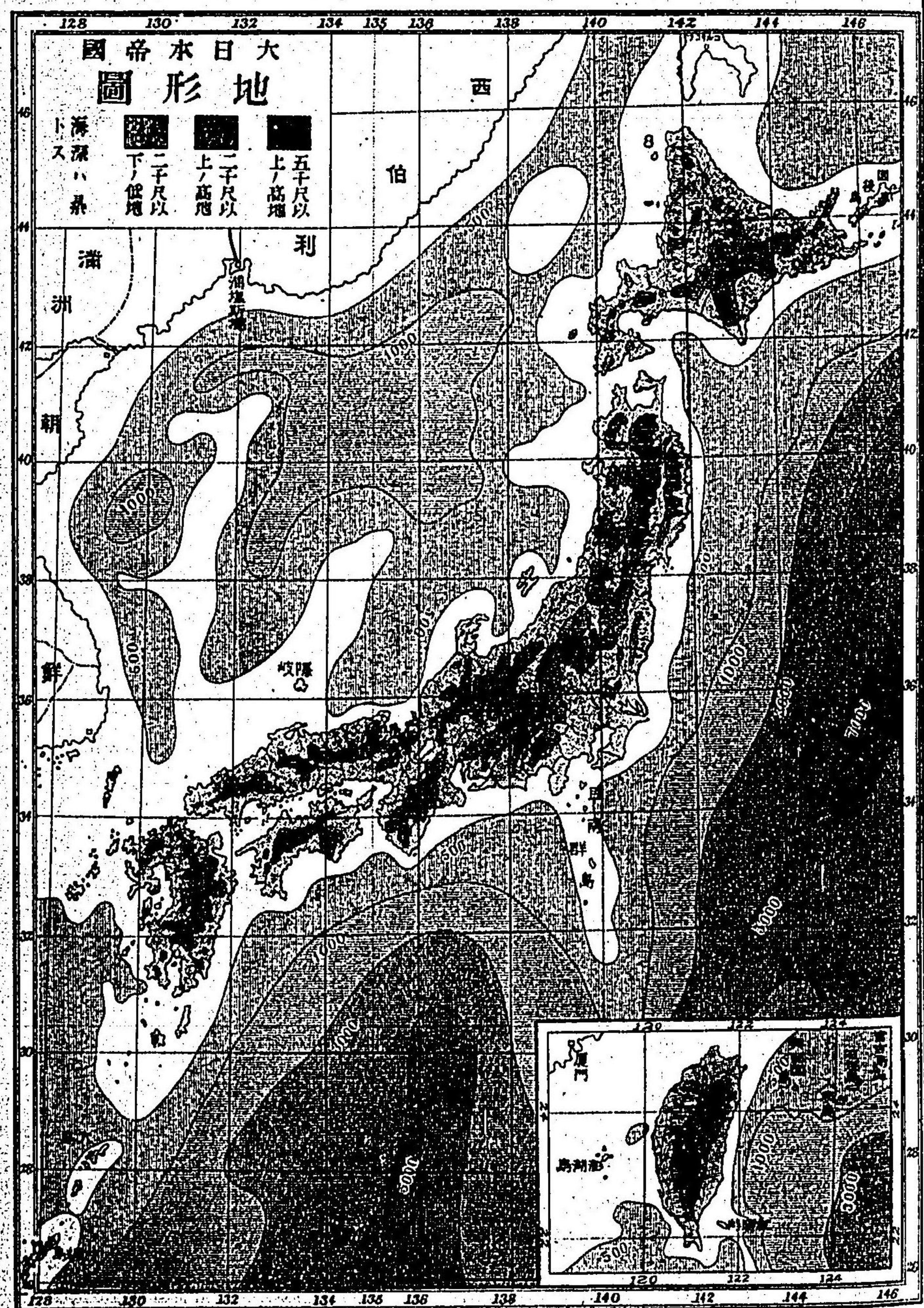
瀬戸内及日本海 紀伊半島ハ四國ト相對シテ、紀州海峽ヲ挾ミ、是ヨリ西ハ四國島ト瀬戸内海ヲ包ミ、島嶼碁布シ小岬灣亦多シ、日本海ニ廻レバ、島根半島、若狹灣、能登半島、越中灣及男鹿半島アレドモ、太平洋岸ニ比スレバ出入少シ。

北海道 蝦夷島ノ海岸線延長ハ五百八十三里アリ、島形尾ヲ振フ赤鯉ノ如ク、知床納沙布ノ兩岬ヲ頭部トシテ、根室灣ヲ口トシ、宗谷襟裳ノ兩岬ヲ鰭トス、而シテ渡島半島ハ其尾ニ當リ、内浦ハ尾間ニ湛ヘタリ、尾端ハ分レテ惠山、白神ノ兩岬トナリ、内ニ函館灣ヲ抱キ、遙ニ陸奥ト相對シテ津輕海峽ヲ挾メリ。千島ハ五十五島アリ、海岸線ノ延長ハ六百十三里ニ及ベリ。

九州 九州ハ立チ舞フ猿猴ニ似タリ、海岸線ハ八百六十一里アリ、之ニ屬島ヲ加フレバ、約一千百里ニ及ビ、海岸ノ出入甚ダ多ク、大小ノ島嶼又數多アリ。而シテ其西海岸

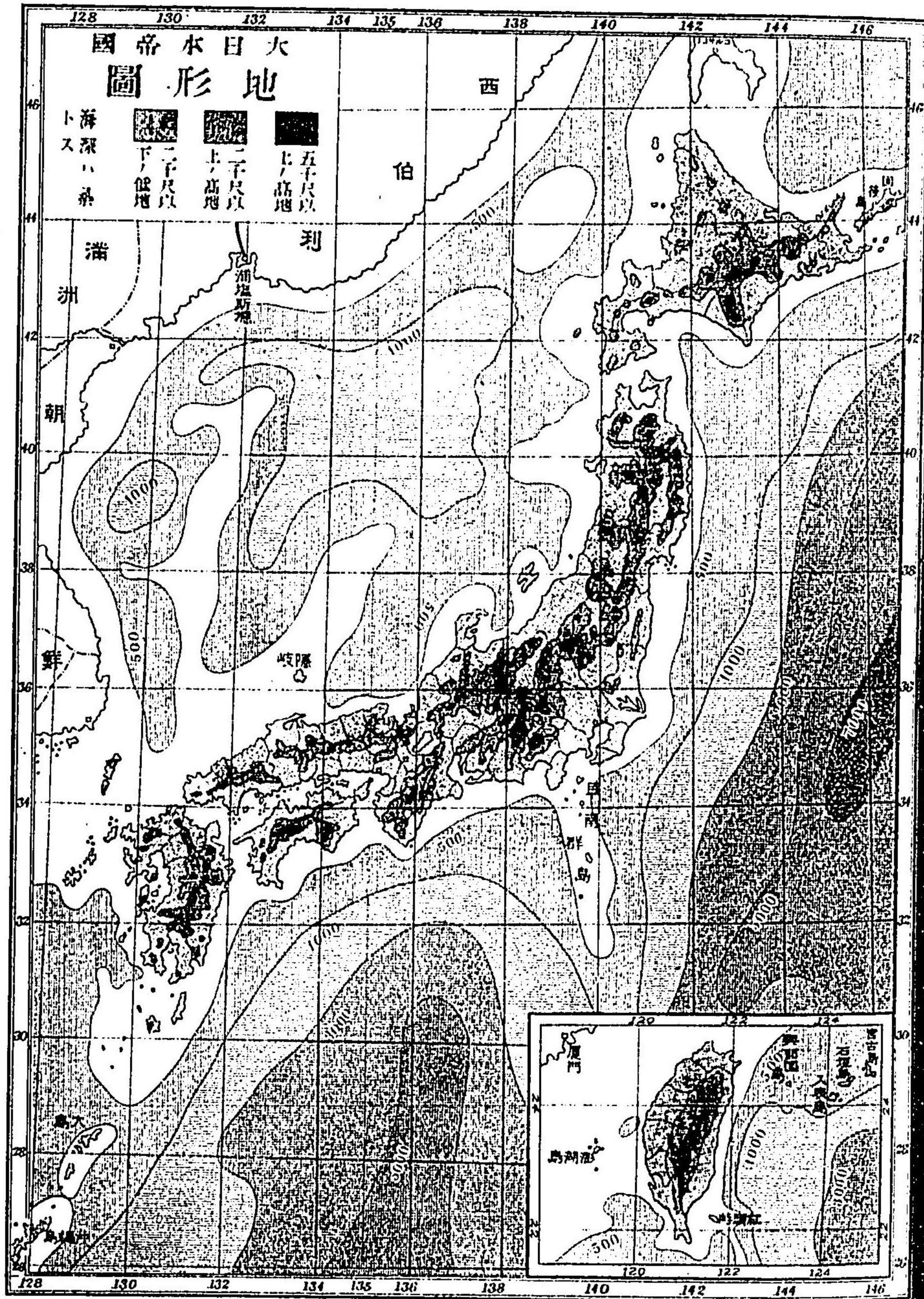
ニ於テ出入最モ多シ、肥前ハ南西ニ突出シテ筑紫灣ヲ包  
 ミ、島原、彼杵、松浦ノ諸半島アリ、薩隅ハ兩股ノ如ク、内ヲ甍  
 島灣ト稱シ、櫻島灣内ニ坐セリ、國東半島東ニ出デ、地藏  
 崎(關佐賀)トノ間ニ別府灣ヲ擁ス、地藏崎ハ四國ノ佐田岬ト  
 相對シテ、豊後海峽(早吸瀬戸)ヲ扼ス、門司關(モトシカガキ)ハ中國ト赤間關(早鞆瀬戸)  
 ナ挾ミ内海ト響洋トノ咽喉タリ。  
 四國 四國ハ兩翼ヲ張ル、蝙蝠ノ如シ、室戸、蹉跎ノ兩岬ハ  
 翼端トナリ、其間ヲ土佐灣ト云フ、内海ニハ三崎、梶取ノ兩  
 崎出デテ、内ニ伊豫海アリ、一岬ノ長ク西ニ挺出シテ九州  
 ト連絡ヲ求メントスルガ如キヲ佐田岬トス。海岸線ハ  
 延長四百五十一里ニ及ブ。

臺灣 臺灣ハ榭葉ノ如ク、葉莖兩分シテ、南岬及西南岬ト  
 ナル、海岸線ノ出入頗ル乏シク、其延長三百五十二里ニ過  
 ギズ、西岸ハ低地海ニ枕ミ多少ノ出入アリ、臺灣海峽ヲ隔  
 テ、清國福建省ト相對シ、其間ニ澎湖島アリ。東岸ハ嶮  
 崖、太平洋ニ屹立シ、墨潮其脚ヲ流フ、葉端ニ當ル北角ヲ富  
 貴角トシ、西ノ一角ヲ三貂角トス、琉球諸島、薩隅諸島ニヨ  
 リテ九州ト連絡セントスル形勢アリ。  
 ○地形 我國ノ地形ハ、北東ヨリ南西ニ延ビ、其長サ一、千  
 二百里。モアランドモ、其幅狭ク且中央ニハ連綿タル山系ノ  
 貫通スルヲ以テ、到ル處山岳多ク平原ニ乏シキ「山國」ナリ。  
 本州ノ中央部ハ諸山脈ノ集マル所ナルヲ以テ、最モ高ク



信濃高原、濃飛高原ノ如キ大高原ナナセリ。平原此ノ如ク國ノ中央ハ總テ山地又ハ高原ニシテ平地ハ厩ニ山系兩側ノ海岸若クハ河流ノ兩岸ニ存スルノミナリ。關東平原ハ日本第一ノ大平原ニシテ、八個國ニ亘ルヲ以テ「關八州ノ平原」トモ言フ、之ニ亞グテ畿内平原トシ、五國ニ亘レリ、其外濃尾平原、宮城野、筑紫平原、石狩原野、臺西平原、越ノ平原、内海岸平野等ハ我國平地ノ重モナルモノナリ。

日本國土ノ構造 我國土ノ細長ク北東ヨリ斜ニ南西ニ延ビ、且山國ナル所以ハ、島形ニ沿フテ連亘スル大山系アルガ爲ナリ。我國土ハ實ニ其大山系ヲ地路トシ之ニヨ



信濃高原、濃飛高原ノ如キ大高原ヲナセリ。  
 平原 此ノ如ク國ノ中央ハ總テ山地、又ハ高原ニシテ、平  
 地ハ厓ニ山系兩側ノ海岸、若クハ河流ノ兩岸ニ存スルノ  
 ミナリ。關東平原ハ日本第一ノ大平原ニシテ、八個國ニ  
 亘ルヲ以テ『關八州ノ平原』トモ言フ、之ニ亞グテ畿内平原  
 トシ、五國ニ亘レリ、其外濃尾平原、宮城野、筑紫平原、石狩原  
 野、臺西平原、越ノ平原、内海岸平野等ハ我國平地ノ重モナ  
 ルモノナリ。  
 日本國土ノ構造 我國土ノ細長ク北東ヨリ斜ニ南西ニ  
 延ビ、且山國ナル所以ハ、島形ニ沿フテ連亘スル大山系ア  
 ルガ爲ナリ。我國土ハ實ニ其大山系ヲ地路トシ之ニヨ

リテ構造セラレタリ、而シテ其大山系ニツアリ、樺太山系及崑崙山系是ナリ。

樺太山系ハ樺太島ヨリ起リ、南ニ走リテ蝦夷島ノ中央ヲ貫キ、本州トノ間ニ陥没アレドモ、再ビ起リテ本州北端ヨリ其中央ヲ南西ニ走リ、遂ニ本州ノ中央部ニ達スル隆起帯ナリ。

崑崙山系ハ遠ク亞細亞大陸ノ崑崙山ヨリ起リ、支那ヲ經テ九州ニ渡リ、中國四國ヲ經テ本州ノ中央部ニ達シ、終ニ樺太山系ト相會スル隆起帯ナリ。

富士帶 以上兩大山系ノ相接合スル所ハ、一帯ノ裂罅アリ、火山此帶ニ沿フテ噴起シ、富士山ヲ初メ、高峻ナル火山

多シ、之ヲ富士帶ト稱ス、此帶ハ南東ニ走り、伊豆半島ヨリ太平洋ニ出テ、豆南列島トナリテ尙南ニ走レリ。故ニ我國土ハ富士帶ヨリ兩分シ、北東ハ樺太山系ヲ地路トシテ構造セララル、之ヲ北日本トシ、富士帶ヨリ南西ハ崑崙山系ヲ地路トシテ構造ス、之ヲ南日本トス。又兩大山系ノ南側ハ、總テ太平洋ニ面シテ擴出ス、之ヲ表日本ト稱シ、其北側ハ日本海ヲ抱キテ彎曲ス、之ヲ裏日本ト稱ス。我國ハ太平洋岸ノ火山脈ニ當ルヲ以テ、樺太、崑崙兩大山系トモ、其駢趨ノ峽間ニハ火山噴起シ、活潑ニ發動スル活火山、又ハ發動ノ休止セル熄火山等多シ。

○樺太山系 樺太山系ハ分レテ左ノ諸山脈及火山脈ト

ナル。

北日本ノ山脈 蝦夷山脈ハ蝦夷島ノ北端ヨリ中央ヲ南ニ走リテ襟裳岬ニ至リ、陷没セリ、其脈本州ニ至リ起レルモノヲ北上山脈トシ、三陸海岸ヲ南シテ仙臺灣ニ陷リテ海トナル、阿武隈山脈ハ北上山脈ノ後ヲ受ケ、磐城海岸ヲ南ニ走リ、其南端ハ筑波山彙ニ連レリ。關東山脈ハ關東平野ノ東部ニ起リ、武相甲ノ境上ヲ北西ニ走リ、富士帶ニ達セリ、之ヲ北日本ノ表面トス。

火山脈 千島火山脈ハ、千島列島ヨリ蝦夷ニ渡リテ、其中央ヲ西南西ノ方向ニ走リ、蝦夷山脈ト交叉セリ。

中央火山脈ハ、斗南半島ヨリ起リ、直ニ南ニ走リテ、奥羽ノ



境トナリ、岩代ニ至リ山彙最モ重厚トナリ、下野及上野ヲ  
 經テ、富士帶ニ達セリ。  
 鳥海火山脈ハ、陸奥ノ西部ニ起リ、兩羽海岸ヲ南走シ、越後  
 上野ノ境トナリ、富士帶ニ達セリ。  
 彌彦火山脈ハ、男鹿半島ヨリ日本海中ニ於テ、飛鳥、粟生島  
 トナリ、越後ノ彌彦山ヨリ信濃河西岸ニ沿フテ富士帶ニ  
 達セリ。

○崑崙山系 崑崙山系モ亦左ノ諸山脈及諸火山脈ニ分  
 ル。

南日本ノ南側山脈 九州南山脈ハ、天草島ヨリ肥後ノ南  
 部ニ渡リ、日向ノ北部及豊後ノ南部ヲ通シ、陷リテ豊後海

峽トナル。此脈四國ニ渡リテ四國山脈トナリ、島ノ南部  
 ナ東走シ再ビ陷リテ紀伊海峽トナリ、三タビ起リテ紀伊  
 山脈トナリ、紀伊、大和、志摩ヲ貫キ、伊勢海ニ陷リ、四タビ起  
 リテ赤石山脈トナリ、參遠、駿甲ノ境上ヲ北々東ニ走り、富  
 士帶ニ達セリ、之ヲ南日本ノ表面(南側)トス。

南日本ノ北側山脈 九州北山脈ハ、肥前ヨリ筑前ヲ貫キ  
 テ、門司關ニ至リテ陷リ、中國ニ渡リテ山陰、山陽兩道ノ間  
 ナ走ル、中國山脈トナリ、近江ノ北部ヲ過ギ、濃飛高原トナ  
 ル、濃飛高原ト、紀伊山脈トヲ連ヌルニ、鈴鹿山脈アリ、之ヲ  
 南日本ノ裏面(北側)トス。

火山脈 阿蘇火山脈ハ、南北兩側山脈ノ中間ニ噴起シ、九

州ノ中央ヨリ瀬戸内ヲ經テ、南側山脈ニ沿フテ富士帶ニ達セリ。  
 沿岸火山脈ハ山陰道海岸ニ沿フテ東走シ、加賀ノ白山ニ達スルモノナリ。  
 以上ノ外、隱岐火山脈ハ隱岐能登佐渡ニ亘レル大山脈ニシテ、霧島帶ハ薩隅諸島ヨリ薩隅ニ渡リ、霧島山ニ達シ、新高山脈ハ臺灣島ヲ一貫スル高峻ノ山脈ナリ。  
 火山 以上ノ如ク數派ノ火山脈アルヲ以テ火山多ク、全國ニ百七十餘ノ火山アリテ、噴烟活潑ノモノアリ。從ツテ溫泉モ亦甚ダ多ク、全國ニ四百三十餘泉アリ、到ル處綠水青山ノ間ニ療遊ヲ試ミ得ベシ。地震モ亦頗ル繁ク、古

來屢々大震アリ、統計ニ據レバ平均五年九ヶ月毎ニ大震一回、小震ハ毎年平均六百五十回ノ割ニ當ル。故ニ我國ハ火山國ニシテ又地震國ナリ。

○河系 地形ノ狹長ナルヲ以テ、河流ハ中央ニ連亘スル山脈ヨリ分水セラレ、狹キ斜面ヲ急下シテ海ニ入ルヲ以テ長流ナシ。唯兩山脈ノ峽間ヲ沿フテ流ル、モノハ稍長流ヲナセ、其他ハ總テ流レ短ク、且急ナリ。故ニ河道運輸ノ便ハ頗ル欠乏セリ。且急斜面ヲ下リテ、平地ニ出ヅレバ滯滯スルヲ以テ、雨量多キ時ハ洪水ノ害アリ。然レモ流レ急ナルガ爲、水力ヲ利用シ得ルノ益アリ。  
 表裏日本ノ水系 國ノ中央ニ分水嶺アルヲ以テ、表日本

ノ水系ハ、太平洋ニ注ギ、裏日本ノ水系ハ、日本海ニ入ル。  
 又中間ノ水系ハ、瀬戸内海ニ注ギ、北海道北端ノ水ハ、オホ  
 ーツク海ニ注グ。  
 臺灣ノ水系ハ、新高山脈ニ分水セラレ、太平洋及臺灣海峽  
 ニ排水セリ。  
 太平洋水系 太。平。洋。系。ノ重モナル河ハ、北海道ニ釧路川、  
 十勝川アリ、本州ニ北上川、阿武隈川、利根川、富士川、大井川、  
 天龍川、木曾川、及紀ノ川アリ。四國ニ吉野川アリ。九州  
 ニ川内川、球磨川、筑後川アリ。多クハ山脈ノ峽間ヲ沿フ  
 テ流ル、水系ナルヲ以テ、稍長流ナリ。  
 日本海水系 日。本。海。系。ニハ、北海道ニ天鹽、石狩ノ兩河ア

リ、本州ニ能代、御物、最上、信濃、神道、射水、日野、石見ノ諸川ア  
 リ、是レ又峽間ヲ流ル、モノ多シトス。  
 内海水系 瀬。戸。内。系。ハ、分水嶺ノ海ニ近キヲ以テ、水系ノ  
 長キモノ少シ、淀河、加古川、西大川、川邊川、太田川、及九州ノ  
 大分川等ハ稍々其大ナルモノニシテ、四國ニハ細流ノミ  
 ナリ。臺灣ノ太平洋系ハ、分水嶺海ニ近キヲ以テ長流ナ  
 ク、臺灣海峽系ニハ、大甲溪、大肚溪、濁水溪等アリ。  
 流域 河ノ流域ハ平坦ニシテ交通ニ便ニ、土地灌漑ヲ得  
 テ肥沃ナルヲ以テ、生産地ハ概シテ河ノ流域ニ在リ、故ニ  
 人民多ク集マリ、村落都邑ヲ建ツ。特ニ河口ノ三稜洲ハ  
 人類ノ生活ニ最モ便ナレバ、繁盛ナル都會ヲ成スニ至ル

是ヲ以テ河ト住民トハ親密ノ關係ヲ有セリ。

### 氣候

○氣候 我國ハ温帶ニ位スルヲ以テ、氣候固ヨリ温和ナリ、春花秋月皆心ヲ樂マシムベク、夏暑冬寒亦共ニ酷烈ナラズ、北海道内地ハ全年ノ平均氣溫五度(攝氏以下同シ)ニシテ、冬間ハ頗ル強寒ナレトモ、未ダ人事ノ發達ヲ妨グルノ氣候ニアラズ、臺灣ノ南部ハ熱帶ニ入ルヲ以テ、全年平均二十五度ニシテ、暑氣永キニ亘レトモ、居住ニ堪ヘザルニアラズ、特ニ國ノ中部(本國九州)ハ九度ヨリ十七度ノ間ニシテ、寒暖人體ニ適シ、現今世界ニ於テ、最モ發達進步セル諸國ノ溫度

ニ等シ。

夏季 季節ニ就テ言ヘバ、臺灣ノ夏季三個月間ハ、二十七度ヲ平均トシ、時ニ三十五六度ニ昇ルコトアリ、中部ニ於テモ、九州南部、瀬戸内及濃尾ノ各地ハ、八月中ハ二十六七



度ヲ平均トシ、時ニ三十五度ノ高温ニ昇ルコトアリ、然レトモ富士帶以北ハ、暑威大ニ減シ、北海道ハ平均二十度ニ昇ラズ。冬季(一月)北海道

ハ氷點下四度乃至氷點下十一度ヲ平均トシ、其内地ニ至レバ時ニ氷點下三十度ニ降ルヲアリ、奥羽各地モ平均氷點以上ニ昇ル地ナシ。本州ノ中部以南ニ至レバ、寒威大ニ和ギ、四五度ヲ平均トス九州南端ヨリ南ハ終年霜雪罕ニ臺灣ニ至リテハ、最低ノ極ト雖モ、七度ヲ降ラズ、平均十七度乃至二十一度ノ高温ヲ保テリ。

○海流 我國氣候ノ斯ク温和ナル一原因ハ、島國ニシテ海流ノ四近ヲ流通スルニヨル、最モ著シキ海流ヲ黑潮ト云フ、臺灣ノ南ヨリ來リ、九州沖ニ於テ、本支二派ニ分レ、本流ハ南西海岸ヲ洗ヒ、伊豆七島ノ間ヲ流ル、時、黒瀨川ト稱セラレ、尙北東流シ房總半島ヲ過ギテ南ニ走ル。

支流ハ對島海峽ヨリ日本海ニ入ルヲ以テ「對島海流」ト稱アリ。日本海ヲ通シテ、一ハ津輕海峽ヨリ太平洋ニ入り、一ハ宗谷海峽ヨリオホーツク海ニ入ル、此二流赤道地方ヨリ來ルヲ以テ水温高ク、我國ノ氣候ヲ調和スルノ効少ナカラズ。(氣候圖ノ温線參看)

寒流 又親潮ト稱スル寒流アリテ北ヨリ來リ、北海道ノ南東岸及本州ノ東岸ニ沿フテ流ル、此水温ハ低キヲ以テ、此流ニ沿フ處ハ寒氣強シ、故ニ我國ノ奥羽以北ト以南トハ、氣候大ニ差アリ。

風位、雨量 夏季ハ南西位ノ風吹キ、夥シク濕氣ヲ送り來ルヲ以テ雨多ク、中ニモ六月ハ梅雨トテ雨量最モ多ク、九

月ノ時雨、五月ノ春雨、共ニ其量多シ。冬季ニ至レバ北西風吹ク、此風ハ大陸ノ寒地ヨリ來ル風ナルヲ以テ、寒威特ニ強ク、裏日本ニ少ナカラザル雨ト雪トヲ與フレドモ、中央ノ山脈ヲ越ヘテ、表日本ニ來ル時ハ乾風トナルヲ以テ、冬季表日本ハ雨雪共ニ寡シ。故ニ暑候ハ表日本(特ニ九州四國ノ南部)ニ雨多ク、寒候ハ裏日本(特ニ北國)ニ雨雪多シ。然レモ我國ハ一般ニ世界中雨多キ地ナリ。

○天產物 前ニ言ヘル如ク、我國ハ氣候温和ニ、雨量多キヲ以テ、動物植物ノ發生共ニ宜シク、特ニ極南熱帶ニ位スルヲ以テ熱帶產ヨリ、極北ハ寒帶性ノ產物マデ出シ得ベシ。就中植物性ノ產物ヲ以テ最モ豐富ナリトス、穀物、

菜蔬ノ食料ヲ始メトシ、其他有用ノ地產物ヨリ、喬木灌木ニ至ルマデ、概テ地ニ適セザル物ナク、國民ノ需用ハ食物、衣服、家屋等殆ド全ク植物ニ仰ゲリ。動物ハ繁殖ニ適セザルニハアラザレモ、地狹ク人多キ等ニテ、野生ノ禽獸ハ多カラズ。魚族ハ四面海ナルヲ以テ頗ル富メリ。鑛物ハ埋藏多ク、決シテ國民ノ需用ヲ缺ガズ。

住民

○日本人 我日本人種ノ多數ハ、國祖ノ子孫ニシテ、其血統相同シク、性質習慣等亦從ツテ同シク、最モ統一シタル

國民ナリ。故ニ我國ヲ「血族國家」ト稱シ、團結甚ダ鞏固ナリ、然レモ當初ヨリ悉ク同一種ナリトハ認ムベカラズ、其種屬ヲ別テバ次ノ數種族トナルベシ。

大和種。ハ國初九州地方ヨリ漸ク國ノ中央部ニ蔓延シ、他ノ種族ヲ平ゲテ遂ニ日本帝國ヲ建設シタル、最モ有力ニシテ最モ多數ナル種屬ナリ。容貌溫和ナレドモ頗ル威嚴ヲ有シ。性質慧敏ニシテ優美ナレドモ、勇敢ノ質ヲ失ハズ、一般ニ通ジテ「日本魂」ナル一種ノ氣象ヲ有ス。然レモ「規模狹小ニシテ耐久ノ性ニ乏シク、又自負心強シ」トノ評アリ。

「あゝぬ種」ハ即蝦夷人ニシテ、今北海道ニ少數ヲ存ス。

此種ハ初メ北日本ノ全部ニ繁殖シ、人口モ甚ダ多カリシガ、大和種ノ繁殖スルニ從ヒ、漸次北方ニ退ケリ。此種ハ鬚髯深ク顔面蒼色ヲ帶ビ、體格ハ偉大ナリ、額高ク眼窠深クシテ鼻高シ、性質勇猛ナレドモ智慮淺ク、人口次第ニ減少ス。

其他西南地方ヨリ侵入シタル、慍悍ナル熊襲種。我國先住民タル土蜘蛛種等アリシガ、今ハ世々皇室ノ恩威ノ下ニ服シ、各種ノ血統モ相混シ、忠君愛國ノ至情ニ至リテハ固ヨリ相讓ラザルニ至レリ。

○人口。我國人口ハ、今ヨリ凡一千三百年前ハ、約五百萬ナリシガ、百五十年前ニ至リテハ、二千五百萬ニ増加シ。

明治初年ニハ三。千。二。百。萬トナリ。現今ハ既ニ四。千。三。百。餘。萬ニ増加シタリ、其繁殖甚ダ速ニシテ、現今ハ毎年凡十、三、萬、五、千、人ノ割ヲ以テ増加セリ。

人口ノ密度 今ノ人口ヲ全國ノ面積ニ割當ツレバ、一。方。里。内ニ約一。千。六。百。人ニ當ル。故ニ人煙甚ダ稠密ニシテ、世界ノ内ニモ、カク人口ノ稠密ナル國ハ少シ。住民ノ多ク集マレル處ハ、平原地方ニシテ、關東平原ハ一。方。里ニ四萬三千人、畿内平原ハ一萬五千人ノ割ヲ以テ住メリ、其他ノ各平原及河畔等ニハ住民何レモ多シ。

人口少キ地 住民ノ少キハ、山地及高原ニシテ、舊奥羽ハ山地多ク、比較的ニ新開地ナルヲ以テ、一方里内ノ住民ハ、

一千一百人ニ當リ。北海道ハ最モ新開地ナルヲ以テ、最モ少ク一方里八十三人ニ過ギズ。而シテ臺灣ハ一千二百三十餘人ノ割ナリ。

○教育 我教育法ハ、古ヨリ忠。孝。仁。義ノ意義ヲ以テ、教養ノ第一義トシタリ、維新後ハ朝廷最モ教育ヲ獎勵シ玉ヒ、特ニ教養ノ主義トシテ教育勅語ヲ降シ玉ヒタレバ、我國教育ノ主義益々明確トナリタリ。

教育ノ楷梯ハ初等教育—中等教育—高等教育トシ。初等教育ハ尋常小學校及高等小學校ニ於テシ、全國ニ約二萬七千ノ小學校ト、三百九十萬ノ生徒アリ、學齡人員百分ノ六十一ハ就學者ナリ。



中。等。教。育。ハ。中。學。校。ヲ。主。ト。シ、全。國。ニ。百。三。十。校。ト、三。萬。二。千。ノ。生。徒。アリ、其。外、高。等。女。學。校。一。九。及。各。種。學。校。一。一。五。〇。ア。リ。

高。等。教。育。ハ。第。一。ヨ。リ。第。五。ニ。至。ル。高。等。學。校。及。山。口。高。等。學。校。ア。リ。テ、四。千。五。百。ノ。生。徒。ヲ。養。フ。大。學。ハ。東。京、京。都。ノ。兩。帝。國。大。學。ア。リ。テ。約。二。千。ノ。學。生。ア。リ、又。至。高。學。問。所。ニ。ハ。大。學。院。ノ。設。ア。リ。

教。員。ヲ。養。成。ス。ル。ニ、東。京。ニ。高。等。師。範。學。校。及。女。子。高。等。師。範。學。校。ア。リ。各。府。縣。ニ。師。範。學。校。四。七。ア。リ、其。他。二。百。四。十。ノ。各。專。門。學。校。及。各。技。藝。學。校。ア。リ。

軍。事。教。育。 軍。事。教。育。ニ。ハ。陸。海。軍。大。學。校。各。一。ア。リ、陸。軍。ニ

ハ。士。官。學。校。一。中。央。幼。年。學。校。一。地。方。幼。年。學。校。六。ア。リ。海。軍。ニ。ハ。兵。學。校。一。ノ。設。ア。リ。

圖。書。新。聞。雜。誌 教。育。ノ。進。步。ス。ル。ニ。隨。ヒ、著。書。及。新。聞。雜。誌。等。モ、年。々。增。加。シ。來。リ、最。近。一。年。間。ニ。於。テ。圖。書。ノ。出。版。セ。ラ。ル。、モ。ノ。二。萬。六。千。部。ニ。達。シ、新。聞。雜。誌。約。八。百。種。ア。リ。テ、其。發。兌。數。約。四。億。一。千。三。百。萬。部。ニ。達。セ。リ。

○宗。教 宗。教。ハ。憲。法。ニ。ヨ。リ。テ。信。奉。自。由。ナ。リ。我。國。ニ。於。テ。古。ヨ。リ。最。モ。行。ハ。ル。、ハ。佛。教。ニ。シ。テ、近。畿。諸。國。ヨ。リ。北。國。各。地。ハ。佛。教。最。モ。盛。ナ。リ、全。國。ニ。七。萬。二。千。ノ。寺。院。ア。リ。基。督。教。ハ。中。古。我。國。ニ。傳。ハ。リ。シ。モ、爾。來。國。禁。ナ。リ。シ。テ。以。テ。行。ハ。レ。ザ。リ。キ、維。新。開。港。後。ニ。至。リ、再。ビ。漸。ク。行。ハ。レ、新。教。徒。約

三萬人アリ、舊教、希臘教等ハ信徒少ナシ。  
 神道ハ宗教ニ屬スル派アレドモ、多ク奉祀スル神々ハ、其威德ヲ追崇スベキ靈位ニシテ、或ハ皇祖ヲ奉祀シ、或ハ威武絶倫、或ハ誠實有徳ノ人ヲ尊崇スルノミ。全國ノ神社ハ神宮ヲ始メ凡十九萬二千アリ、内官幣社八十九、國幣社七十三、其他府縣社、郷社、村社等ナリ。

政治

○國體 我日本國ハ萬世一系ノ天皇ノ統治シ給フ帝國ニシテ、則君主國體ナリ、上ニ至尊至榮ノ天皇ヲ元首ニ仰ギ、億兆ノ臣民皆其撫育ノ下ニ服ス。我臣民ハ概ネ國祖

ハ後裔ニシテ血族團欒ノ集落ト稱スベク、他ノ君主國トハ其趣ヲ異ニセリ、且我帝國ノ萬國ニ卓越スルハ、建國ノ最モ永ク、最モ鞏固ナルニアリ、帝國建設以來實ニ二千五百五十有餘年ノ久シキ、連綿トシテ始終一ノ如シ、是レ我帝國ノ帝國タル所以ナリ。

○政體 政體ハ明治二十三年以來、專制政體ヲ改メテ立憲代議政體トス、即大日本帝國憲法ニ遵據シテ、政治機關ハ立法、行政、司法ノ三大部ヲ以テ組織ス。

○立法部 立法部ハ「帝國議會」ト稱シ別レテ貴族院、衆議院ノ兩院トナル、凡我國ノ法律、勅令ハ、皆帝國議會ノ協贊ヲ經テ發布セラル、制ナリ、議會ハ毎年一回、勅命ニヨリ

*countries at money!*

*What substances have been used at different times and in different*

トシ、各國務大臣(各省大臣)ヲ以テ組織ス、其下ニ外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、遞信ノ九省アリ、各省ノ長官ヲ大臣ト云フ。別ニ帝室ノヲ奉掌スルヲ宮内省ト云ヒ、長官ハ宮内大臣ナリ。又陛下ノ至高顧問府トシ、樞密院アリ。帝國ノ會計監督トシ、會計検査院アリ。

地方行政 地方行政ハ全國(北海道除ク)ヲ三府四十三縣ニ分テ、更ニ郡市及町村ニ別ツ、府縣ノ長官ハ知事ト稱シ、郡ニ郡長アリ、市町村ハ自治制ヲ施行シ、市町村ノ各團體ハ官ノ監督ヲ受ケ、獨立統治スルノ制ニシテ、市長、町長、村長アリ、皆公選トス。府縣郡モ漸次自治制ヲ施サントス。

府、縣、郡、市、町、村ニハ其意思ヲ代表スルニ府縣會、郡會、市會

中地理學 日本誌

三十三

*What are the functions of money?*

總論 政治

三十二

東京ニ召集シテ開會セララル。

貴族院 貴族院議員ハ(一)皇族(成年)(二)公侯爵華族(成年)(三)伯子男爵ノ互撰議員(四)國家ニ功勞アリ又ハ博學多識ノ勅撰議員(五)各府縣一名宛ノ多額納稅議員等ヲ以テ組織シ、定員三百人トス。

衆議院 衆議院議員ハ、日本臣民ノ男子、三十歳以上ニシテ、其選舉府縣内ニ於テ一年以上、直接國稅(所得稅ハ十五圓以上ヲ納メ、仍引續キ納ムル者ニ就キ選舉人)(其資格ハ日本臣民ノ男子、二十五歳以上ニシ、一年以上其府縣内ニ本籍ヲ定メ住居シ、仍引續キ住居スル者)納稅資格ハ被選人ニ同ジノ選舉シタル議員、三百人ヲ以テ組織ス。

○行政部 行政部ハ上ニ内閣アリ、内閣總理大臣ヲ首班

*Wha*

町村會アリ。北海道ハ別ニ道廳ト稱シ、長官ヲ置キ、臺灣ニハ總督府ヲ置キ、更ニ六縣三廳ヲ置ク。

○司法部 司法部ハ裁判官ヲ以テ組織シ、最高裁判所ヲ大審院ト稱シ、其下ニハ東京、大坂、名古屋、廣島、長崎、宮城、函館ノ七控訴院アリ、各府縣ニ各一個ノ地方裁判所アリ、又其下ニ凡三百個ノ區裁判所アリ。又別ニ行政上ノ事件ヲ裁判スルニ行政裁判所アリ。

○財政 國ノ發達進步スルニハ、第一ニ經費ヲ要ス、其經費ハ國民ヨリ釀集スベキモノニシテ、之ヲ租稅ト稱ス、國民ハ必ズ租稅負擔ノ義務ヲ有ス、之ヲ納稅義務ト云フ。租稅ニハ國稅、地方稅ノ別アリ、國稅ハ政府ヨリ直

接ニ徵收スル稅ニシテ、地方稅ハ府縣廳ヨリ徵收スル稅ヲ云フ、又郡市町村等ニ於テ、徵收スルヲ郡市費及町村費ト云フ。

國稅 國稅ハ國家事業ニ要スル經費ヲ支辨スルモノニシテ、其徵收ハ下ノ科目ニ分ツ、(一)地租 (二)所得稅 (三)海關稅 (四)酒稅 (五)醬油稅 (六)烟草稅 (七)菓子稅 (八)賣藥稅 (九)船車稅 (一〇)證券印稅 (一一)鑛業稅、其他官業諸收入等ナリ。其徵收額即歲入ハ國運ノ進步ト共ニ年々増加シ、明治卅一年度ニ於テハ凡二億五千萬圓ナリ、而シテ歲出ハ皇室費ヲ始メ諸官省費ヲ支辨スルモノトス。

地方稅 地方稅ハ府縣限リノ事業ニ要スル經費ヲ支辨

スルモノニシテ、其徴収ハ地租割、營業稅、戶數割及雜種稅トシ、其歲入歲出トモ、各府縣ニ於テ同シカラズ。郡市費及町村費ノ徴収ハ地價割、家屋及戶數割、營業割、所得稅ノ附加等ニシテ、其歲出入トモ各郡市町村ニ於テ同シカラズ。

○參政權 國民ハ以上各種ノ租稅負擔額ニ應ジテ政治ニ參與スル權利(參政權)ニ等差アリ。國會議員、府縣會議員、郡市會議員、町村會議員ノ資格ハ是ニヨリテ生ズ。

政黨 國民ニ參政權アル以上ハ、國家ノ政治ニ就キ、各々其意見ヲ有ス。而シテ其意見ヲ同フスル者、相團結シタルヲ政黨ト云フ。我國政黨ノ重モナルモノハ、憲政黨(自由派)及憲政本黨(進步派)ヲ二大政黨トシ、其外、國民協會

國權黨等アリテ、各其主義目的ヲ有シ、各議會ニ於テ其意思ヲ發表セリ。

○外交 諸外國トノ交際ハ、日ニ親密ヲ加ヘ、條約國モ既ニ二十餘國ニ及ベリ、特ニ明治三十一年來ハ舊來締結ノ條約ヲ改正シ、諸外國ト對等ノ修好條約ヲ實行シ、歐米諸國トモ同等ノ交際ヲナシ、外國人モ内地ニ雜居スルニ至レリ。

條約國ノ首府ニハ公使ヲ駐劄セシメ、其國ニ於テ日本帝國ヲ代表シ、兩國間ノ和親修好ヲ司リ、在留ノ帝國臣民ヲ保護監督セシム、又條約國ノ貿易港ニハ總領事又ハ領事ヲ置キ、其地在留ノ帝國臣民ヲ保護シ、又商事ヲ監察セシ

○軍制 帝國ノ軍制ハ全國皆兵ノ制ヲ採リ、凡帝國臣民ノ男子ハ、十七歳ヨリ四十歳迄ハ皆兵役ノ義務アルモノトス。帝國軍隊ハ陸軍、海軍ニ別テ、總テ天皇ノ統帥ニ屬ス。而シテ軍政ハ陸海軍省ニ於テ之ヲ司リ、參謀本部アリテ、國防用兵ノ事ヲ司ルノ制トス。

兵役 兵役ハ常備、後備、補充、國民ノ四役ニ分テ、常備ハ又現役及豫備役ニ分ツ。陸軍ノ現役ハ三年、海軍ハ四年トス、豫備ハ陸軍ハ四年四個月、海軍ハ三年トス、後備兵役ハ五年トス、補充役ハ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者之ニ服シ、國民兵役ハ以上ノ外、兵役義務アル者總テ之ニ服ス。

兵員 兵役義務ヲ有スル者、全國ニ約七百萬アリ、其内陸軍現役兵員十三萬七千、豫備十一萬一千、後備七萬二千及軍馬一萬六千頭アリ。海軍ハ現役兵員一萬八千、豫備後備三千三百アリ。

陸軍 陸軍區ハ近衛師管ヲ始メ、第一ヨリ第十二ニ至ル、十三師管ニ別ツ、一師管ハ各四聯隊區ニ分テリ、故ニ全國ニ五十二聯隊區アリ。

軍隊ハ每師管内ニ一個師團ヲ置キ、步兵四個聯隊、騎兵及野戰砲兵各一個聯隊、工兵、輜重兵若干、其他ノ軍屬ヲ統率ス。一師團ハ各之ヲ二個旅團ニ分テ、旅團ハ該管内ノ

步兵二個聯隊トス、而シテ之ヲ統轄スルニ東部(近衛第一師團)中部(第三第四師團)西部(第五第六第十一師團)ノ三都督部アリ。臺灣ニハ三個ノ混成旅團ヲ置キ、總督ノ管スル所トス。又各要所ニ要塞兵、要島ニ警備隊ヲ置ク。別ニ憲兵アリ、軍事、行政、司法ノ三警察ヲ司ル。軍隊ノ配備ハ卷後ニ附スル表ニ詳ナリ。

海軍 海軍區ハ全國ノ海岸及海面ヲ五海軍區ニ分テ、第一海軍區ヨリ第五海軍區ニ至ル、各海軍區ニハ各一ノ軍港アリ、横須賀(第一)吳(第二)佐世保(第三)舞鶴(第四)室蘭(第五)是ナリ、各軍港ニハ鎮守府アリテ其軍區ヲ管轄シ、鎮守府所在ノ地ニハ海兵團ヲ置キ、軍艦乘員ノ屯在所トス。

軍艦 帝國軍艦ハ之ヲ常備艦隊及横須賀、吳、佐世保ノ三鎮守府艦隊ニ編成シ、其他水雷艇隊、水雷敷設隊アリ。帝國軍艦ハ富士、八島、鎮遠等ノ戰艦ヲ始メ、四十七隻排水總量拾二萬噸アリ外ニ敷島、朝日ノ大艦ヲ始メ、建造中ノモノ多シ。此外水雷艇二十餘隻アリ。

### 主要産物

我國ハ土地、氣候共ニ天産物ノ繁殖ニ適シ、且四境海ヲ繞ラシ、國內ハ山脈、平原、森林、河流、湖沼等相雜ハリ、地質又多種ナルヲ以テ、此間ニ住居スル人民ハ、種々ノ事業ヲ企テ、種々ノ業務ヲ營ムヘク、生業自ラ各種ノ方面ニ廣ガリ、多

種ノ物品ヲ産セリ。以下各生業産物ニ就キ述ベシ。  
 林産 森林ハ全國各所ニ繁茂シ、國土ノ風致ヲ成セリ、森  
 林ノ總反別ハ一千五百萬町步アリ、之ニ森列スル樹木三  
 百九十四億本ニ下ラズ、故ニ家屋器具等多ク林産ニ仰ゲ  
 リ、從ツテ木材ノ伐採、樹木ノ栽培、薪炭ノ製造等ニ從事ス  
 ル、山林業者多ク、我國林産ハ世界ノ森林國ニ劣ラズ。  
 牧畜 國民ハ從來穀食ヲ專トシ、肉食ハ主トスル所ニア  
 ラズ、家畜ハ單ニ乘馱ヲ目的トシタルヲ以テ、牧畜業ハ盛  
 ナラズ、諸外國ニ比スレバ、著シク劣レリ。全國ニ馬百五  
 十萬頭、牛百十萬頭ニ過キズ、而シテ毎年屠殺スル數、馬三  
 萬五千頭、牛八十五萬頭ニ及ベリ、豚、羊等ハ現存數甚ダ少

シ。馬ハ九州及奥州地方ニ多ク、牛ハ畿内以西ニ多ク以  
 東ハ甚ダ乏シ。

水産 日本ノ位地ハ、既ニ水産ノ豐ナルベキヲ表セリ、到  
 ル處ノ海面、總テ好漁場ニシテ、漁場ノ面積ハ、耕地ノ面積  
 ヨリモ遙ニ廣シ、是レ海國無盡藏ノ富源ナリ、然レモ漁業  
 者及水産額ハ、海國ノ割ニ多カラズ、漁業者ハ人口ノ四十  
 五分ノ一ニシテ、最近ノ水産總額ハ、殆ド六千萬圓ナリ、近  
 來頗ル進歩シツ、アレドモ、未ダ不發達ノ業ト謂フベシ。  
 水産物 水産ノ最モ豐ナルハ、北海道ニシテ、次ヲ本州東  
 岸トシ、次第ニ南方ニ至ルニ從ヒ減少ス。水産額ノ最モ  
 多キハ魚類ニシテ、鯨ヲ第一トシ、鱈、鯉之ニ次グ、食鹽、海藻



之ニ次ヅ、北海ノ貴重産ナル臘虎、膈肭臍及各所ノ鯨ノ如キ、邦人ノ捕獲未ダ盛ナラズ。

農業 我國ハ瑞穂國ト稱シ、農業ハ夙ニ行ハレ、農産物最モ多ク、國民需用ノ多クハ農産物ニ仰ゲリ、生産ニ使用スル土地ハ、八千九百方里ニシテ、全面積ノ三割六分ニ當ル、内田二百七十餘萬町、畑三百八十萬町アリ、農業者ハ人口ノ過半ヲ占ム。

農産物 農産物ノ内米ハ四千萬石ヲ平均産額トシ、麥ハ一千八百万石トス、其他大豆、小豆、粟、稗、蕎麥、甘藷、綿、藍、烟草等ヲ重ナル我農産物トス。外ニ輸出品ノ重要物ハ蠶糸、茶ノ二品トス、蠶糸ハ二百、二、三十萬貫ヲ産シ、茶ハ八百

五十萬貫ヲ製出ス。

鑛業 鑛業ハ近來大ニ發達シ、鑛産額モ亦増加セリ、特ニ我國ニ富メルハ銅、石炭、鐵、銀ナリ、其年産額銅ハ三千四百万斤、石炭ハ五百餘萬噸、銀ハ十八萬貫ヲ産ス、次ニ金ハ二百五十萬貫、鉛三百三十萬斤ヲ産セリ、鐵ハ將來多量ニ産スベキモ、今ハ少額ナリ、其他硫黃、水晶、石灰石、花崗石、陶土、火山岩等ハ重ナル我鑛産ナリ。

工業 我國民ハ古來意匠巧ミニ、工藝美術ノ技頗ル發達シタリ、外國人ハ我國ヲ「東洋ノ美術國」ト稱スルニ至ル、然レモ雇ニ手工ニ長ズルノミニシテ、規模壯大ナル工業ハ發達セザリシガ、近來諸工業大ニ勃興セントス。

工業品 織物業ハ最モ盛ニシテ、二百餘萬人ノ織工アリテ殆ト二億餘萬圓ノ産額ニ達ス。紡績業モ所々ニ起リ、錘數一百萬アリテ綿糸製額二千七百萬貫ニ達ス。陶磁器ハ五百二十萬圓。漆器ハ邦人ノ獨技ト稱セラレ、三百三十萬圓ノ産額アリ。釀酒ハ四百餘萬石、醬油ハ百五十萬石ノ釀造アリ。其他製紙、摺付木製造、青銅及銅器、兵器製造、造船等ノ業モ、大ニ進歩シタリ。

商業 我國ハ從來國ヲ鎖シ、外國ト交際セザリシヲ以テ、商業ハ内國ノミニ限ラレ、貿易業ノ如キハ、殆ト全ク行ハレザリキ、從ツテ内國商モ規模甚ダ小ニシテ、商業ハ一般ニ不發達ナリシガ、近來内外商業共ニ漸ク進歩セントス。

内國商業 國內重ナル都市ニハ、商業會議所ノ設ケアリテ、以テ商業ノ進歩發達ヲ圖リ、又交通ノ發達ニ從ヒ、各地ノ商況、物價互ニ相通シ、又商法、發明特許、意匠及商標登録ノ制アリテ、商業ヲ保護セリ。諸會社ノ數四千六百社、之ニ注入セル資本金四億圓ニ達シ、諸種ノ銀行一千五百店アリテ、二億一千萬圓ノ資本流通セリ。

○貿易 外國貿易業ハ年々進歩シ、最近ノ輸出入總額ハ四億五千餘萬圓ニ達ス。内輸出一億八千萬圓、輸入二億七千萬圓アリ。一人口ニ付、四圓二十八錢ノ國産ヲ出シテ、六圓四十二錢ノ外品ヲ需用スルノ割ナリ。

重要輸出品ハ、生糸、絹布ヲ最多トシ、茶、穀物、石炭、綿布、海産

物、金屬、陶磁、漆器等之ニ次グ。輸入品ハ綿類ヲ最トシ、砂糖、穀物、毛糸、毛織、金屬、學術品、油類、車船等ヲ主トス。貿易國 貿易ノ最モ盛ナルハ、米國トノ間ニシテ、多ク我生糸ヲ輸出ス、第二ハ英國ナレモ英領ナル香港及印度ノ貿易額ヲ加フレバ、我全貿易額ノ三割餘ヲ占ム、第三ハ支那ニシテ、第四ヲ佛國、第五ヲ獨逸トシ、何レモ二千萬圓以上ノ取引アリ、之ニ次グヲ朝鮮トシ、其他露、伊、濠等ナリトス。

貿易港 外國ト互市場ハ、五港及大阪港トシ、四日市、三角、口ノ津、博多、小樽、門司、下ノ關、伏木、唐津、釧路、室蘭、境、那覇、宮津、及對馬ノ嚴原、鹿見、佐須奈ノ各港モ特別貿易港ナリ、其

内、横濱最モ盛ニシテ、輸出入總額ノ過半ヲ占メ、次ニ神戸ハ全額ノ四割三分ヲ占ムルヲ以テ、他ノ諸港ハ此兩港ニ比スレバ著シク少額ナリ

### 交通

○交通 交通ノ便否ハ國ノ進歩ニ關スルコト大ナルヲ以テ、維新後ハ、從來要害天險ナド稱ヘタル障害ヲ除キテ、大ニ交通ノ便ヲ開キ、道路ヲ改築シテ、國道、縣道、里道ニ別テ、概テ馬車、人力車ヲ通ズベク、主要ノ線ニハ鐵道ヲ敷設シ、水路ニハ汽船往來シ、通信ニハ郵便、電信、電話ノ設ケアリ、運輸ニハ陸運、水運共ニ種々ノ法アリテ、殆ド交通運輸ノ

便ヲ極メントス。

鐵道 鐵道ハ全國重モナル通路ニハ概テ敷設シ、幹線ハ將ニ國內ヲ貫通セントシ、支線モ各地ニ延長セリ。其線路延長ハ三千四百餘哩(三月二年)ニ達シ、兩京ノ間五十三驛アリシ東海道モ、厯ニ十五時間ニシテ達スベク、又青森ヨリ三田尻ノ間、一千一百哩ノ間モ、厯ニ五十五時間ニシテ達シ得ルニ至レリ。

海運 海運ニハ日本郵船及大阪商船ノ二大會社アリテ、最モ盛ニ海運業ヲ營ミ、內國各港間ハ、汽船頻々定期航海ヲナシ、外國航路ニハ、朝鮮各港支那各港ハ固ヨリ、歐羅巴、濠洲ニモ、定期ニ航海シ、又臨時ニ南洋諸島ニモ航海ス。

## 第二編

### 北日本

北日本ハ富士帶以北本州ノ總稱ニシテ、樺太山系ヲ以テ構造セラレタル土地ナリ、內ニ關東八州、奥羽七州及中央高原ノ一部(越後甲信)ヲ包轄ス。

### 關東八州

關東八州ハ面積二千七十方里ニ亘リ、東京、埼玉、神奈川、千葉、茨城、栃木、群馬ノ一府六縣ヲ置ク、其中央ハ即關東平原。

The Japanese dress is peculiar. Both men and women wear long flowing gowns extending from their necks to their feet. These are folded across the body in chief difference.

ナリ、阿武隈山脈、中央火山脈、關東山脈、富士帶及鋸山脈ノ諸高地、此ノ平原ノ北西南ノ三面ヲ繞リ、東方太平洋ニ濱シ、久慈、那珂、利根、隅田、多摩、馬入ノ諸大河之ヲ貫流シ、地味肥沃ニ、氣候溫和ニ、產物豐富ナル本邦主要ノ平原ナリ。

○關東人 一般ニ民物繁庶シテ、七百三十萬ノ人、此地ニ住メリ、關東ハ世々源氏ノ據リテ武ヲ振ヒシ所、關東人ハ朴直勇敢ヲ以テ稱セラレ、古今戰場ニ勇名ヲ揚ゲン將士經世ノ達識アル偉人等、此平原ヨリ輩出セリ。近古以來本邦ノ中心地トナリ、人質慧敏ニ趣キ、文明的達人又多ク出ヅ。

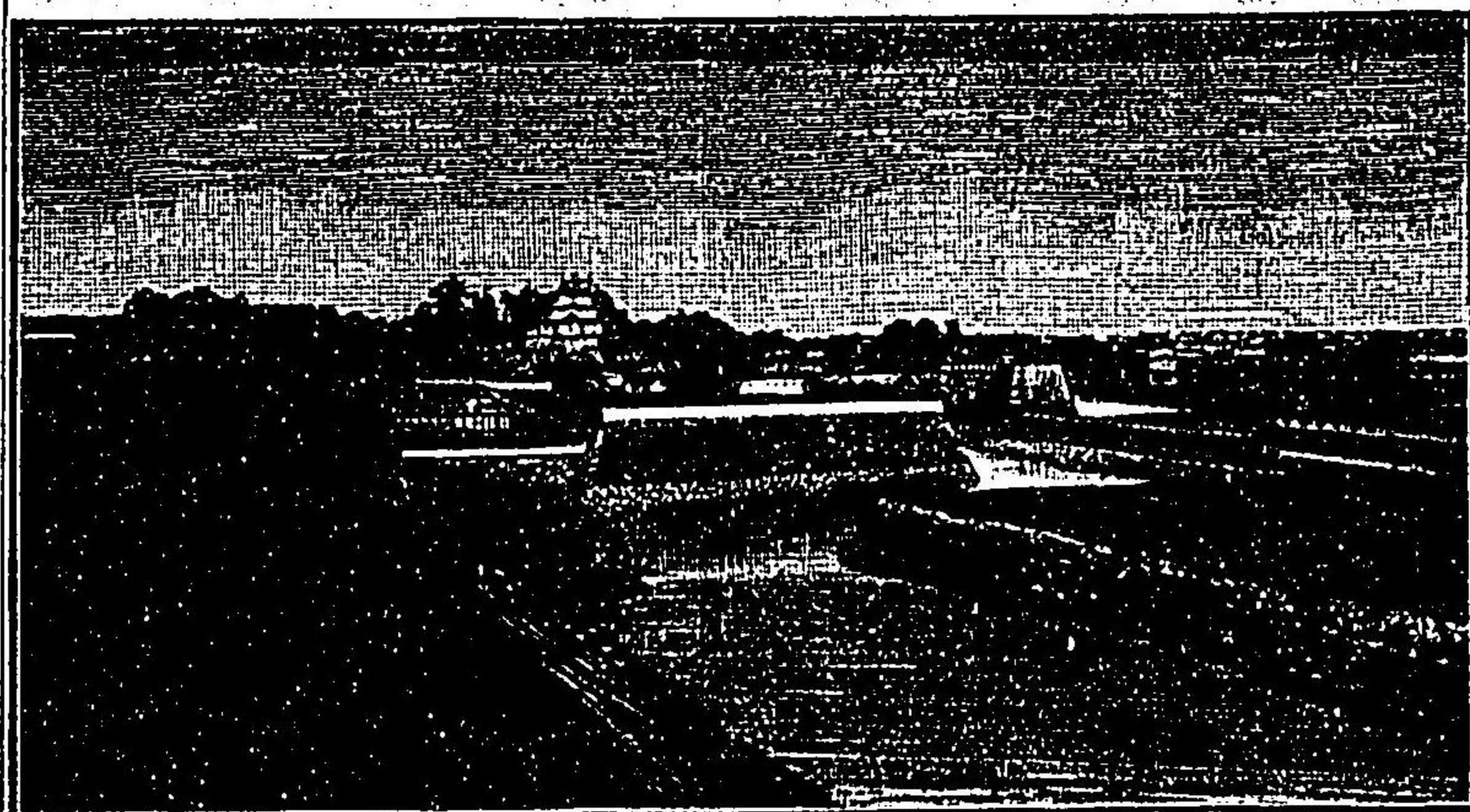
東京府

武藏ノ内一市八郡、伊豆諸島、小笠原島

○形勢 武藏野ノ中央ヲ占メ、隅田、多摩ノ兩河之ヲ貫流ス、南東ハ東京灣ニ臨ミ、北西邊ハ關東山脈ノ一部ナル小佛峠ノ山地ニ屬ス、土地肥沃ニシテ形勢佳良ノ要所ヲ占ム。『武藏野は月の入るべき山もなし草より出で、草にこそ入れ』

○東京人 近古以來、徳川氏此地ニ據リテ、三百年ノ霸業ヲ探レリ、江戸ハ爾來、全國人士ノ輻湊スル所トナリ、頗ル關東人ノ特質ヲ失ヒ、『日本普通風』トナリタレ、尙『江戸ツ子氣象』トテ、一種任俠ノ風ヲ有セリ、近來都人士ハ、漸ク柔弱ニ陥ラントスル傾アリ、然レモ近世ノ文華ハ概テ此地

How busy every one is! As we go through the principal street we find the stores and houses filled with workers. There are crowds at the shops selling goods and peddlers by hundreds carrying their



(フ云モト城田代千テシニ城戸江舊)城宮

ヨリ。胚胎シツ、アリ。

○東京市(百四十)ハ東京灣ノ濱、隅田川ノ兩岸ニ跨リ、東西四里、南北四里半ニ亘ル大都會ナリ、宮城其中心ニ位シ、諸官省其周圍ニ在リ、我國ノ首府ニシテ、政治、學問、商業ノ中點トナリ、全國百般ノ事物悉ク連絡ヲ此市ニ有ス。

市區 此地ハ元ト「江戸」ト稱シ、太田道灌始メテコ、ニ城ク、後

德川氏大ニ改築シテ治所ト定メ、全國ノ諸侯ヲ參勤交代セシメ、其邸第ヲ設ケシメタルヲ以テ、商賈多ク集リ、日本ノ中心地トナレリ。市ハ十五區ニ分ツ、麴町區ハ市ノ中心トナリ、「丸の内」ト稱スル外濠内ニハ、宮城ヲ始メ、諸官衙兵營等多ク此内ニ在リ、是ヨリ外街ニ通ズルニハ城門多ク、古ハ「江戸四十八見付」ノ稱アリシ。下々町 商業區ハ大抵宮城ノ東南ヲ繞ル、就中日本橋區ハ豪商多ク、自ラ商業區ノ中心タリ、京橋區ノ銀座通りハ、總テ煉瓦石造ノ家屋ニシテ、各新聞社、諸會社多シ、神田區ハ商賣繁昌ス、此三區ハ人口最モ稠密ナリ、芝區ニハ芝離宮及公園アリ、下谷區ニハ上野公園、淺草區ニハ淺草公園



(内園公草淺即)内境寺草淺山龍金

アリ、之ヲ三大公園トシ、  
 本所、深川ノ二區ハ隅田  
 川ノ東岸ニアリテ諸製  
 造場多シ、以上八區ヲ「下  
 町」ト稱ス。  
 山ノ手 宮城ノ西北ナ  
 ル六區ハ、丘陵起伏シ、山  
 の手ノ稱アリ、赤阪區ニ  
 ハ離宮アリ、本郷區ニハ  
 大學、高等師範學校ヲ始  
 メ、學校多ク、小石川區ニ

ハ植物園アリ、麻布、四谷、牛込ノ三區ハ皆丘陵ニヨリテ邸  
 宅地ニ適セリ。

市ノ交通 隅田川ハ上流ヲ「荒川」ト稱シ、南流シテ市ノ東  
 部ヲ過グ、有名ナル「いざ言問はる都鳥」ノ古歌ハ此ノ河ノ  
 鷗ヲ云フ、市中ヲ縦横スル數多ノ濠水此ノ河ニ注入シ、大  
 ニ交通運輸ヲ資ク、川ニハ吾妻、兩國、永代等六大橋ヲ架セ  
 リ、市中重ナル通路ニハ、馬車鐵道ヲ敷設シ、鐵道ハ新橋、上  
 野、本所、飯田町ノ各停車場ヨリ全国各地ニ通ゼリ、又街道  
 ニハ品川驛ヨリ東海道ニ、千住驛ヨリ奥羽街道ニ、板橋驛  
 ヨリ中山道ニ、新宿驛ヨリ甲州街道ニ通ズベシ。  
 近郊名勝 近郊ニハ名所多シ、隅田川ノ東岸ハ「向島」ト稱

シ、多ク櫻樹ヲ植エ開花ノ候ハ、都民群集シ、河水モ躍ル斗  
 リノ賑合ナリ、其外東郊ニハ、龜井戸(天滿宮)堀切(花菖蒲)アリ、  
 西郊ニ目黒(不動)十二叢(瀧)小金井(櫻花)アリ、南郊ニハ梅花ノ  
 諸莊園及池上(本門寺)川崎(大師)アリ、北郊ニハ王子(稻荷)飛鳥山  
(櫻花)瀧野川(紅葉)等アリ、何レモ四季折リ々々ニ都民ノ遊覽  
 スル所ナリ。

○都邑 八王子町(二萬)ハ甲州街道ニ當リ、絹織ノ産物ヲ  
 以テ著名ナリ、東京ヨリ鐵道通シ便利ノ地ナリ。青梅ハ  
 綿ヲ産ス又鐵道東京ニ通ゼリ。

○風土 府下ハ東京灣ニ濱シ、氣候溫暖ニシテ恰モ我國  
 ハ中等溫度(平均十度)ナリ、夏ハ海風暑ヲ拂ヒ、冬ハ風強ケレ

ドモ晴天多ク、快活ノ地ナリ、梅ノ開花ハ二月中旬ニシテ、  
 櫻花ハ四月中旬ヲ盛トス、平地ヨリハ諸種ノ農産物ヲ出  
 シ、西部山地ハ養蠶盛ナリ。東京市ハ商業最モ盛ニ、銀行  
 諸會社、卸商等多ク、工業ハ造兵、印刷出版業、洋品模造、雜貨  
 製造等ニシテ、又官吏雜業者多ク、富豪尠ナカラザルヲ以  
 テ生活華奢ナリ。

○豆南諸島 伊豆ノ南ヨリ太平洋上ニ羅列スル七島  
 ナリ、伊豆、七島ト云フ、富士帶ノ海底ヨリ噴起セシモノナリ、  
 大島最モ大ナリ、島中ニ三原山(活火山)アリ、昔爲朝ノ流竄セ  
 ラレシ島ナリ、其南ニ利島、新島、神津島、三宅島、御藏島アリ、  
 三宅御藏兩島ノ間ハ黒潮ノ流最モ急ニ黒瀨川ノ稱アリ、



御藏島ノ南ニ八丈島アリ、八丈絹ヲ産ス、此島ハ伊豆ノ南端ヲ距ル四十七哩ニアリ。

八丈島ノ南、百五十哩ニ小笠原群島アリ、父島最モ大ニ、母島之ニ次ギ、兄弟、姉、妹等ノ諸島アリ、父島ニ島廳ヲ置ク、諸島ヨリハ熱帶性ノ動植物ヲ産ス、此群島ノ南ニ硫黃島アリ。

埼玉縣 武藏ノ内 九郡

○地勢 武藏ノ北東部平地ヲ占メ、西部ハ秩父山彙(關東山脈)内アリ、武甲山、三峯ノ如キハ平原ノ西ヲ限ル高山ナリ。荒川、中川、江戸川ノ三流、平原ノ間ヲ流レ、支流管内ニ遍子

ク、運輸灌漑共ニ便ナリ。

○浦和町 ハ縣廳所在地ナリ、東京ヨリ厩ニ十二哩餘、奥州鐵道線ニ當ル。大宮驛ニハ武藏一ノ宮ナル氷川神社アリ、境内ハ公園ニシテ老樹泉水アリ、風致佳ナリ、此驛ニ於テ鐵道ハ奥州線ト直江津線トニ分ル。奥州線ニ沿フテ栗橋驛アリ、穀物產地ノ市場ナリ、直江津線ニ沿フテ熊谷驛(二萬)アリ、川越町(一萬九千)ハ鐵道東京ニ通シ、甘薯ノ產地ナリ。

○物産 平原地方ハ土地肥ヘ農産物甚ダ多ク、西部ハ秩父郡ニシテ養蠶機織ノ業盛ニ、秩父絹最モ名高シ。

### 神奈川縣

武藏ノ内一市  
三郡、相模八郡

### ○地勢

相模ノ中部ハ武藏ニ  
續ク平原ニシテ關東  
平原ノ西邊ナリ、北部  
ハ丹澤山彙蟠マリ大  
山(雨降)最モ著ハル、伊  
豆境ニハ有名ナル箱  
根山(富士)横ハリ天然  
ノ一大境界ヲ限レリ、  
駒ヶ岳、雙子山、足柄山



箱根驛ヨリ蘆ノ湖ヲ隔  
テ、離宮ヲ望ム  
宮ノ下及堂ヶ島温泉  
其洋風ノ家屋ハ奈良屋  
ト云フ、下部ハ堂ヶ島  
ニシテ白糸ノ滝懸レリ



等アリテ山中ニ温泉涌出シ、遊人常ニ絶ヘズ、蘆湖、山中ニ  
湛ヘ湖畔ニ離宮アリ。

相模ノ東ニ馬入川(相模)アリ西ニ酒匂川。アリ、南方ハ相模

洋ニ面シ三浦半島、其東ヲ擁シ景勝ノ地ナリ、三浦半島ノ

南端ヲ三崎ト稱シ、遙ニ真鶴崎ト相對ス、觀音崎ハ富津崎

(上總)ト相對シテ東京灣ノ口ヲ扼セリ、武藏ノ部ハ内海ニ

濱スル平原ナリ。

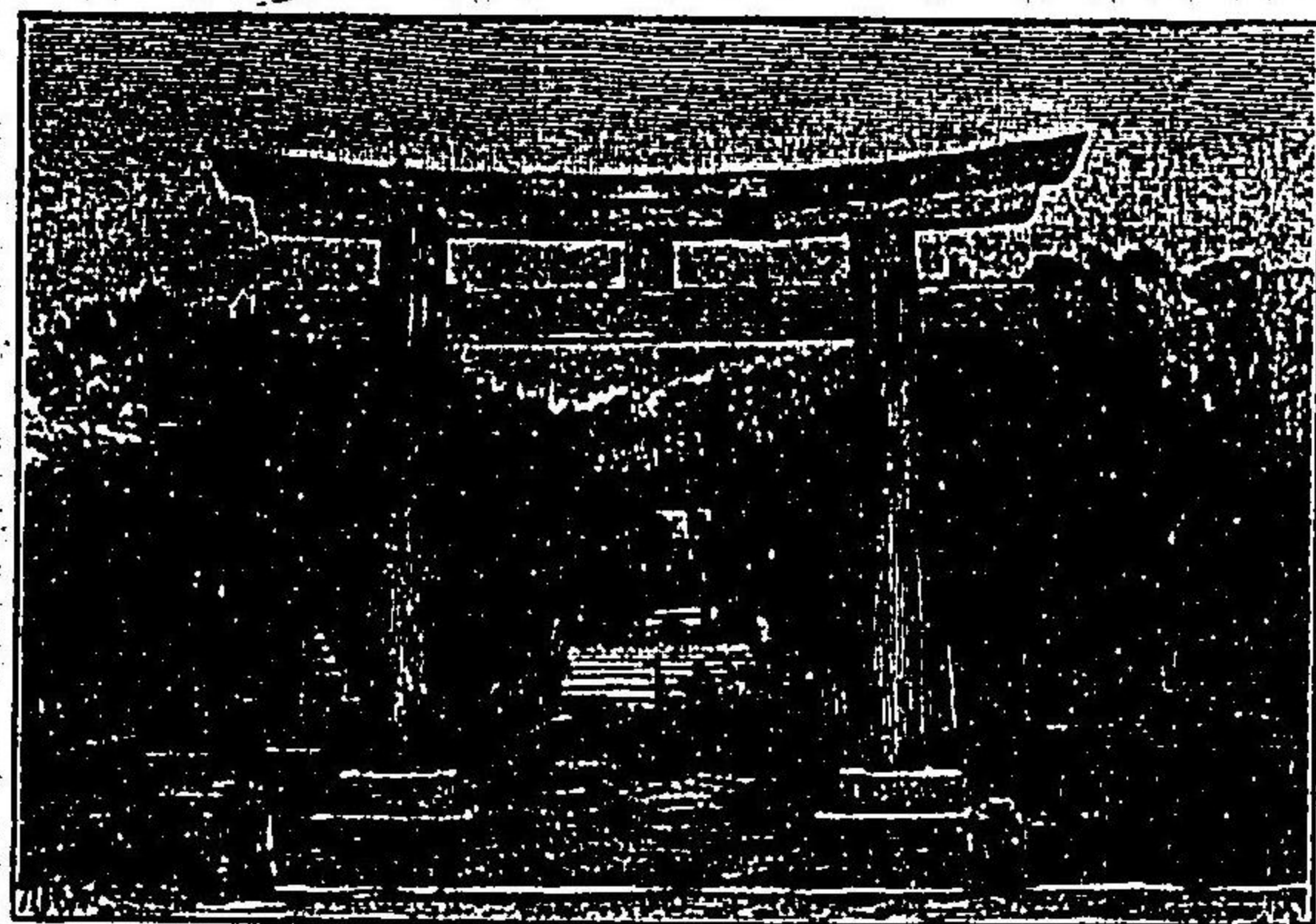
○横濱市(十八萬九千)ハ縣廳ノ在ル所、其港ハ南ニ本牧岬出

テ、港口ヲ扼シ、船艦ノ碇泊安全ナル東洋屈指ノ港ナリ。

貿易港上定メラレシ以來、俄ニ繁榮シ貿易ノ盛ナル我國

第一トス、市内街衢正シク正金銀行、稅關、居留地等アリ、東

京へハ十八哩ニシテ海路ハ内外諸港トノ汽船往來シ、益繁榮ニ赴ク勢ナリ。



○名所 小田原町ハ箱根ノ東麓ニアリ、昔北條氏ノ據リシ古城跡アリ後、大久保氏封ゼラル、提灯梅干ノ産アリ。横須賀（一萬八千）ハ三浦半島ニアル軍港ナリ、著名ナル船渠等アリ、浦賀其南ニアリ、鎌倉ハ賴朝以來覇府ノ舊趾ニシテ鎌倉八幡、建長寺等ノ舊蹟甚ダ多シ、其濱海ニハ、名所古蹟多ク、金澤八景

江ノ島、逗子、葉山、大磯等、都人遊覽ノ名勝ナリ。

○風土 管内ハ氣候溫和ニ特ニ沿海ハ夏涼シク冬暖ナリ、且名勝多キヲ以テ遊客多シ、平原ニハ農産（烟草）饒ク、蠶業亦盛ニ絹、木綿ヲ産ス沿海ハ水産豊ナリ。

### 千葉縣

安房一郡、上總五郡、下總ノ内六郡

○地勢 關東平原ノ中部ヲ領シ、下總ノ如キ一ノ山、ヲモ見ズ、其窪所ニハ往々水ヲ湛ヘ、霞ヶ浦、印幡沼、手賀沼等ノ沼湖多シ、房總半島ノ南部ハ山地ニ屬シ、鹿野山、鋸山（ノコギリ）、半島ノ南端ハ野島崎ニシテ西角ヲ洲崎トシ、西ハ東京灣ヲ抱キ東邊ハ房州沖及九十九里濱ナリ。

○千葉町(二萬八千)

ハ内海濱ニ在ル縣治所ナリ、鐵道東京ヨリ此地ニ達シテ分レ、一線ハ一ノ宮ニ、一線ハ佐倉成田ヲ經テ佐原ニ至ル。佐倉町ハ元堀田氏ノ城地ナリ、近傍ニ義民宗吾ノ靈屋アリ。成田町ニハ有名ナル不動ヲ安置スル新勝寺アリ。佐原町ハ本邦地學ノ大家伊能忠敬ノ出身地ナリ、醬油酒ヲ産ス、其東南ニ香取神宮アリ。銚子町(二萬六千)ハ銚子口ニ在リ縮織ヲ産ス、近傍ノ犬吠崎ニ大燈台アリ、市川町ニ國府臺アリ陸軍教導團ヲ置ク、行徳ハ鹽ノ産所アリ。○安房ハ僧日蓮ノ出身地ニシテ、北條館山ノ小都會アリ。○上總ニハ東京ヨリ一ノ宮ニ達スル鐵道通シ、鹿野山ハ避暑ノ好地ナリ、木更津町ハ内海岸ノ

小都會ナリ。

○風土 管内ハ氣候中和ニシテ、海濱ハ避暑避寒共ニ適當ノ地ナリ、能ク橘類、無花果ヲ産ス、平原ハ農産豐ニ米ハ百萬石以上ヲ産ス、其他ノ穀物、烟草、薪炭ヲ産シ、養禽、養魚亦行ハル、沿海ハ漁業盛ニ行ハレ、水産額ノ多キハ全國第一トス、特ニ九十九里濱ノ鱧、鱈、房州沖ノ鮪、鮑魚最モ盛ナリ、鋸山ヨリハ石材ヲ出ス。

茨城縣

常陸一市十一郡、下總ノ内三郡

○形勢 縣ノ西北部ハ阿武隈山脈ヲ受ケ、遂ニ加波山、筑波山トナル、筑波山ハ三千尺ニ過ギザレテ、平原ノ間ニ屹

立スルヲ以テ甚ダ著名ナリ、其他ハ一般平原ニシテ霞ヶ浦、北浦等此間ニ泄へ、久慈、那珂、利根ノ諸川、亦此間ヲ流ル、東ハ一面鹿島洋ニ臨メリ。

○水戸市(三萬千)ハ縣廳所在地ナリ、市ハ那珂河ニ臨ミ、上市(邸宅多シ)、下市(商家多シ)ニ分ル、維新前ハ徳川氏ノ別封地ニシテ、光國、齊昭等ノ英主及東湖ノ如キ人傑出テ、盛ニ文學ヲ講習シ、弘道館ヲ設ケ士氣ヲ養成シタリ、市中ニ常盤公園(借樂)、弘道館ノ趾アリ、鐵道東京ニ通シ其間七十哩アリ。霞浦畔ニ土浦、潮來ノ兩町アリ、那珂河口ヲ挾ンデ湊、磯濱ノ兩町アリ、河道運漕ノ要所ナリ、近傍ノ大洗ハ著名ナル海水浴場ナリ、北浦ノ畔ニ鹿島神宮アリ、石岡町(府中)ハ霞浦

運輸ノ便ヲ占メ、醬油、酒ノ產地ナリ、下總ニ紬ノ産所ナル結城町アリ、利根川畔ニ古河町アリ

○風土 本縣ハ東海道ノ北端ニシテ氣候モ稍寒冷ナレドモ、濱海地ハ溫和ナリ、穀物能ク實ノリ百萬石内外ノ米ヲ産ス、其他農産物多ク、中ニモ水戸烟草最モ名アリ、山地ヨリハ花崗石、寒水石、陶土ヲ産シ、沿海ヨリ水産(鰯、鰒)亦多シ。

栃木縣 下野一市 八郡

○形勢 北西部ハ中央火山脈蟠マリ、日光山彙ノ如キ最モ重厚ナリ、其最高峰ヲ男體山(八千二百)トス、山彙中ニ中

禪寺湖ヲ泄へ、華嚴霧降裏見等ノ瀧アリテ山水ノ景幽清ナリ、其麓ニハ結構壯麗ナル東照宮アリ、那須岳北境ニ聳へ、其麓ハ那須野ナリ、西境ニ白根山アリ共ニ有名ノ火山ナリ、鹽原、湯元ヲ始メ溫泉多シ。

縣ノ中部ハ關東平原ノ北端ニシテ平地南ニ向ツテ開ケタリ、鬼怒川、小貝川、思川、此間ヲ潤シ、共ニ利根川ニ合ス、那須野ノ水ハ那珂川トナリテ常陸ニ入ル。

○都會 宇都宮市(三萬)ハ縣治所ナリ、奥州鐵道線ノ日光線ト分ル、所ニアリ、(東京ヨリ六十六哩)市況繁榮ナリ、鐵道ハ鹿沼(麻地)ヲ經テ、日光町ニ達ス、日光ハ東照宮アリ參詣者及避暑ノ客等多シ、其西ニ足尾町アリ銅ノ產出本邦第一ト

ス。小山驛ハ奥州、水戸、前橋ノ三鐵道線ノ分岐スル所、前橋線ニ沿フテ栃木町(二萬)アリ、其西ニ足利町(一萬)アリ、絹織業盛ナリ、眞岡町ハ木綿ノ產地ナリ。

○風土 本縣ハ冬間稍強寒ナレドモ、平地ニハ農産多ク、麻ハ最モ能ク産ス、縣下第一ノ産ハ蠶糸ニシテ機業隨ツテ行ハレ、民度低クカラズ。上野、下野ハ『兩毛』ト稱ス、上古ノ『毛ノ國』ナルヲ以テナリ、昔源氏ノ根據地ニシテ、新田、足利ノ兩雄此ノ間ヨリ出身ス、人質慧敏ト稱セラル。

群馬縣 上野一市 十一郡

○形勢 南方ハ關東平原ノ一部ナレバ、其他ノ大部ハ中

中央火山脈及彌彥火山脈ヲ受ケ山岳多シ、東西ノ兩境ニ兩  
 白根山アリ、信濃ノ境ハ吾妻、淺間、碓氷、妙義ノ諸山アリ、國  
 内ニモ赤城山、榛名山アリテ、草津、伊香保、磯部等溫泉多シ。  
 利根川ハ諸支流ヲ率テ南東ニ下リ、運輸灌漑共ニ便利  
 ニシテ其流域最モ繁榮ナリ。

○都會 前橋市(三萬)ハ中央ニ在ル縣治所ナリ、東京ヨリ  
 二十二哩餘ニシテ機業盛ナリ、其西南六哩ニ高崎町(二萬八千)  
 アリ、陸軍兵營ヲ置ク、前橋ト相待テ繁昌セリ、是ヨリ鐵  
 道ハ碓氷峠ヲ越ヘテ、信州ニ入レリ、桐生(二萬)伊勢崎ノ兩町  
 ハ、織物業盛ニシテ、富岡町ハ盛大ナル製糸場アリ、北部ニ  
 沼田町アリ、是ヨリ清水越ヲ經テ越後ニ入ルベシ。

○風土 平地ハ穀菜ヲ産スレ、蠶業ヲ以テ殆ド專業ト  
 シ、上州絹ノ名世ニ高シ、特ニ近年生糸ノ貿易品トシテ海  
 外ニ輸出多キヲ以テ業務大ニ擴張シ、全國ノ首位ヲ占ム  
 住民能ク製絲機織ヲ勤ムルヲ以テ民度頗ル高シ。

奥羽七州

○奥羽ノ風土 奥羽七州ハ面積四千二百五十方里ニ  
 亘リ、今福島、宮城、岩手、青森、秋田、山形ノ六縣ヲ置ク、中央ニ  
 火山脈横ハリ全ク地ヲ表裏ニ兩分ス、表面ハ舊奥州ニシ  
 テ北上、阿武隈ノ兩山脈アリ、裏面ハ羽州ニシテ鳥海火山  
 脈アリ、故ニ奥羽ハ土地一般ニ高隆ニ、氣候又寒冷ナルヲ

以テ、農産饒カラズ、住民厘ニ四百八十萬アリ。古昔あいぬ種及安倍、清原等ノ豪族、割據シテ、常ニ南方ニ抗シタリ、人質古ヨリ驍果璞野ト稱セラレ、會津、仙臺、米澤等ノ平原ヨリハ傳フベキ偉人多ク出デ、近クハ日清ノ役ニモ此地出身ノ兵士ハ頗ル驍名ヲ著ハセリ。

福島縣

磐城ノ内七郡、岩代十郡、

○地勢 舊奥州ノ南端ナリ、磐城ハ東面太平洋ニ濱スレ、良港ニ乏シ、海岸ハ濱街道ニシテ鐵道通シ、國ノ西部ニハ阿武隈山脈縱貫セリ。

岩代ハ中央火山脈、國中ニ蟠岬シ、吾妻山(六三八尺)磐梯山(六



汽車阿武隈川ヲ過ケ鐵橋長二千二百六十五呎

七二)等高峻ノ火山多シ、猪苗代湖其間ニ堪ヘ、四近ヲ會津平原トス、湖水ノ流レテ西ニ走ルヲ日橋川トシ、南ヨリ來ル只見川ト會シテ越後ニ入ル、東邊ハ阿武隈河邊ニシテ鐵道之ヲ通シ主要ノ地ナリ。

○都邑 福島町(一萬五千)ハ縣廳ノ在所、東京ヨリ百六十八哩アリ、元、板倉氏ノ城市ニシテ東京以北ノ都會ナリ、鐵道ニ沿フテ二本松町、郡山町アリ。若松町ハ會津ノ城市ナリ、戊辰

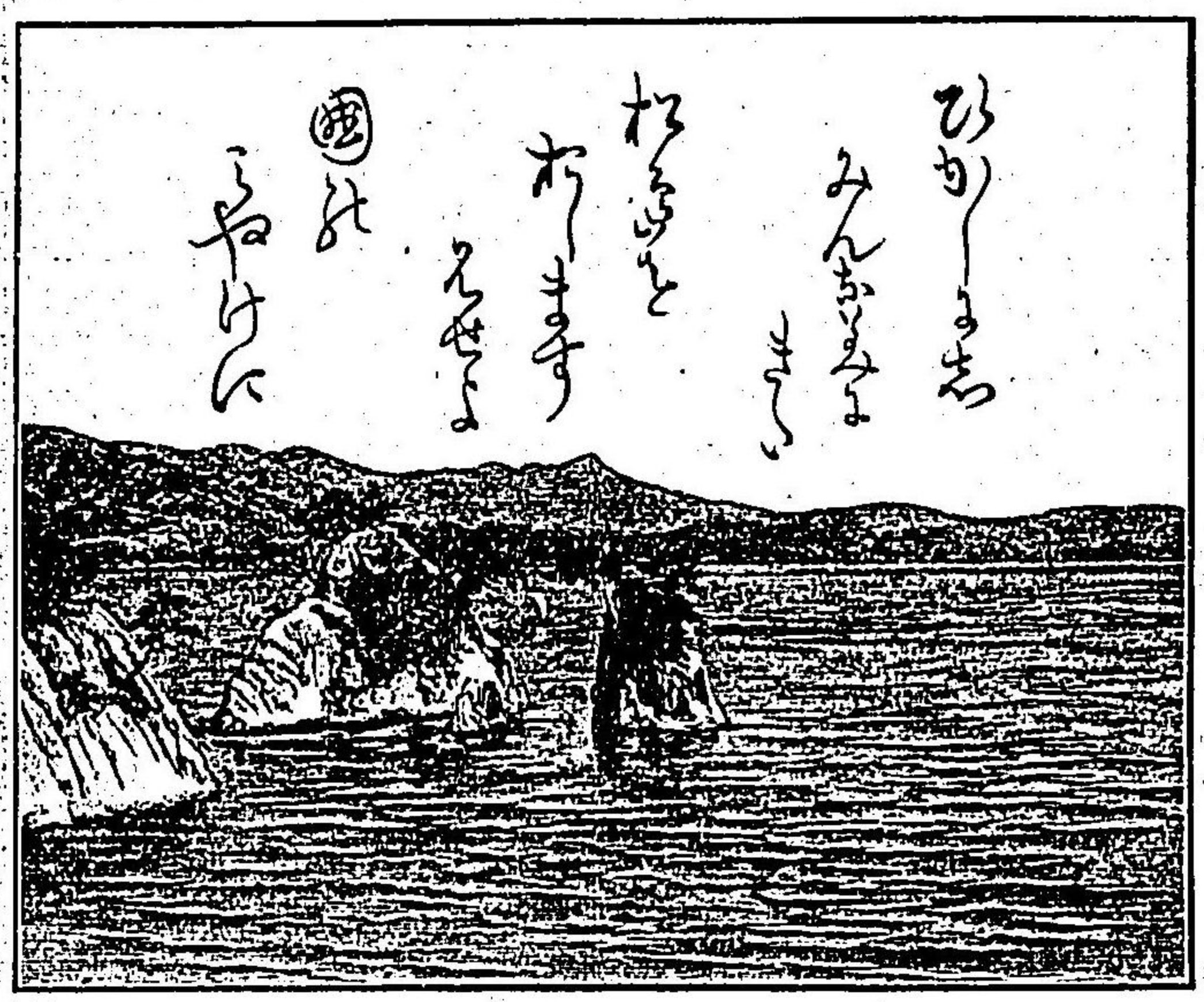


ノ役ニ籠城ヲ以テ名アリ、其飯盛山ハ白虎隊ノ戰死所ナリ。濱海平地ニ小名濱久ノ濱アリ。中村町ハ相馬氏ノ舊城市ナリ、相馬焼ヲ産ス、平町ハ『磐城平』ト稱シ、其南境ニ勿來關趾アリ、棚倉ト共ニ舊小城地ナリ。白河町ハ奥州ノ入口ニシテ『都をば霞と共に立ちしかど』ノ古歌アル關趾アリ。三春ハ馬ノ産所ナリ。

○風土 本縣ヨリハ舊奥州ニシテ、氣候モ寒冷ナリ、『都には花もちりあへずみちのく』ノ歌ニヨリテ春信ノ遅ル、ヲ知ルベシ、故ニ農産ハ稍劣レ、米ハ百萬石ヲ産ス、蠶業甚ダ盛ニ、牧馬又名ナリ、鑛物ニハ金、銀、石炭(磐城)ヲ産シ、會津ノ漆器、紋蠟ノ如キ名アリ。

### 宮城縣

陸前一市十三郡  
磐城ノ内三郡



○形勢 東邊ハ北上山脈ノ一部ヲ受ケ、海岸ハ嶮崖ナレ、岬灣多ク、遂ニ牡鹿半島トナリテ仙臺灣ヲ擁ス、灣内別ニ松島灣ヲナシ、松嶼八百有八點指願ノ裏ニ在リ、所謂三景ノ一ナリ。縣ノ西境ニハ中央火山脈連



(リア部令司團師二第ニ内リナ門正ノ城臺仙即)城葉青

亘シ、駒ヶ岳、荒神山、藏王岳等ノ高峰アリ、縣ノ中部ハ平地ニシテ、北上川南流シテ仙臺灣ニ入り、阿武隈川ハ東北流ス、中間ニモ鳴瀨川、名取川アリテ運輸灌漑ノ便アリ。

○仙臺市(七萬五千)ハ政宗以來伊達氏ノ舊城市ニシテ奥羽第一ノ都會ナリ、宮城縣廳コ、ニアリ、青葉城内ニ第二師團ヲ置ク、東京ヨリ二百廿七哩、東北地方ノ中央市タリ、市内ニ櫻岡公園(偕樂園)、榴ヶ岡(櫻花園)ノ勝地、政

宗及林子平ノ墳墓等アリ、近郊ニ有名ナル多賀城趾アリ、壺ノ碑ヲ存ス。宮城野ハ秋草ノ名所ナリ、「さまぐ」に心を留る宮城野の花のいろく、〔頼朝〕出鹽竈町ハ松島灣邊ニ在リ、海産物ヲ出ス。北上河口ニ石卷港アリ、荻ノ濱ハ牡鹿半島ニアル良港ナリ、半島ノ端ニ近キ一島ヲ金華山ト云フ、風景ニ富ミ、今燈臺ヲ設ク、磐城ニ白石町アリ、紙布、素麵ヲ産ス、阿武隈河口ニ荒濱港アリ。

○風土 氣候寒冷ナレモ平原ヨリ米、其他ノ農産物ヲ出ス、又馬ヲ産ス、鑛物ニ銀、石材(仙臺石)、銅、水産ニ鱧、鯉アリ、仙臺平、埋木細工、味噌等名アリ。

### 岩手縣

陸中一市十一郡  
陸前ノ内一郡

○形勢 本縣ハ我國第一ノ大縣ニシテ殆ド九百方里アリ、東部ハ北上山脈蟠マリ、早池峰サハチノボ、仙人峠等アリ、西部ニハ中央火山脈アリテ駒ヶ岳及『南部富士』ノ稱アル岩手山ハ六尺〇等ノ高火山アリ、附近温泉多シ、其中間ハ北上河道ニシテ、縣ノ北邊ヨリ南流シテ管内ヲ一貫ス、此流域ハ平地ニシテ都邑多ク交通運輸亦一ニ此河域ニ依ル、北上川ハ實ニ本縣ノ生命ナリ。

○都會 盛岡市三三万〇ハ南部氏ノ舊城市ナレバ其封内ヲ『南部』トモ稱シタリ、市ニ岩手縣廳アリ、東京ヨリ三百三十

哩、其繁榮仙臺ニ亞グ、北上川其西ヲ流レ水運ノ便アリ、架スル明治橋約五百尺〇ヲ以テス、河ノ右岸ニ厨川柵趾アリ、盛岡以南ノ鐵道線ニ沿フテ花卷アリ、其南ノ黒澤尻ハ羽後ニ入ル岐路ニ當リ、水澤ニハ天文臺ヲ置ク、一ノ關ハ或ハ『磐井』ト稱シ、其附近ニ毛越寺、中尊寺ノ古刹及平泉館、高館、衣川柵趾等ノ舊跡アリ。海濱ニ宮古、釜石ノ港アリ。

○風土 沿岸ハ親潮ニ洗ハレ冬寒頗ル強ケレモ晴天多ク雨量寡シ、管内山地多キヲ以テ農産頗ル乏シ、然レモ釜石ノ鐵、山地ノ森林、共ニ甚ダ富メリ、特ニ馬ハ本邦第一ニシテ、南部馬ノ名世ニ高シ、水産ニ鮑及鮭アリ、南部表下表足鐵瓶、織物亦名アリ。縣域廣ケレモ山地多ク住民少シ、人

質ハ頗ル朴野ナリ。

青森縣

陸奥ノ内、  
二市八郡

○形勢 中央火山脈、斗南半島ヨリ起リ、恐山、燒山、八甲田山、十和田岳トナリ、其間ニ十和田湖ヲ湛フ。津輕半島ハ鳥海火山脈ノ起點ニシテ「津輕富士」ノ稱アル岩木山聳ヘタリ、岩木河其下ヲ北流シ十三瀉ニ注ギ、流域ニ津輕平野ヲ開ケリ、斗南半島ノ北端ハ大間岬ニシテ、東端ノ尻矢崎ニハ燈臺ノ設ケアリ、陸奥灣内ニ夏泊崎北出シ、青森野邊地ノ兩灣ニ分ル。灣ノ北岸ナル大湊ハ良泊地ナリ。

○都會 青森市（二萬七千）ハ縣治所ニシテ本州極北ノ一都會

ナリ、東京ヨリ四百五十七哩アリ、是ヨリ鐵道弘前市（三萬）ニ通ズ、此市ハ津輕氏ノ舊城市ニシテ第八師團ヲ置ク。八戸ハ東邊ノ一都會ニシテ、野邊地ハ内海濱ノ港ナリ。

○風土 本縣ハ本州ノ極北ニシテ氣候著シク寒冷ニ、花候モ東京ヨリ後ル、一凡一ヶ月、桃櫻梅李殆ド一齊ニ開花ス、農産物ハ一般ニ豊カナラザレモ沿海ニ魚族、昆布多ク七戸、三本木等ノ馬及硫黃頗ル多ク、津輕ノ漆器有名ナリ

秋田縣

羽後一市八郡、  
陸奥ノ内一郡

○形勢 東境ニ中央火山脈ヲ負ヒ、西部ニモ亦鳥海火山脈通過シ、太平山及鳥海山（六八八尺）アリ、西面ハ一圓日本海

ニシテ、所謂裏日本ノ北部ナリ、沿岸ニ男鹿半島斗出シテ八龍湖（八郎湖或ハ八郎湖）ヲ抱キ風景ニ富メリ、内部ニ山地多ク交通未ダ不便ナリ、東境ノ山地ヲ下リ來ルニ大流アリ、能代御物ノ兩河是ナリ、此兩流域ニハ平地ヲ存シ主要ノ地ナリ。

○都會 秋田市（二萬六千）ハ佐竹氏ノ舊城市ナリ、城ハ葛根城ト稱シ、今公園トナル、市ハ御物川東岸ニ建テ本縣廳所在地ニシテ、第十六旅團ヲ置ク。御物川口ニ土崎港アリ、秋田市ト相待テ船舶出入多シ。能代河口ノ能代港ハ漆器ヲ産ス、其上流ニ大館アリ。縣ノ南部ニ本莊アリ、又港ヲ兼ヌ。御物川上流ニ横手アリ、其北ニ金澤ノ柵趾アリ。

○風土 日本海ニ面シ一ニ其風化ヲ受ケ、冬期北西ノ風強ク氣候寒冷ナレモ、陸中ニ比スレバ稍高温ナリ、河域ノ平地ニハ米及他ノ農産アリ、森林ヨリハ夥シク杉、其他ノ良材ヲ出ス、本縣ハ本邦ノ豐饒地ニシテ特ニ銀ハ全國總産額ノ殆下半ヲ出ス、院內、阿仁ハ其産地ナリ、其他銅、金、鉛ヲ産ス水産ニハ鱒多シ。

山形縣

羽前二市十郡、  
羽後ノ内一郡

○地勢 北東南ノ境ハ山脈ヲ以テ圍マレ、只西ノ一部、日本海ニ向テ開ケタレバ、地形恰モ袋ノ如ク、管外ニ至ルニハ此山脈ヲ踰ヘザルヲ得ズ、故ニ縣界ニハ峠多シ、内地ニ

モ羽黒、月山、湯殿ノ三峰アリ、皆鎮座ノ神アリ參拜者多シ。最上川ハ三急流ノ一ニシテ偏チク管内チ曲流シ、流域ハ地肥ヘ農産多ク、都會ハ多ク此河畔ニ建テリ。

○都會 山形市(二萬)ハ舊名チ「最上」ト稱シ、久シク最上氏ノ據リシ所ナリ、今縣廳チ當市ニ置ク步兵第三十二聯隊アリ。米澤市(三萬)ハ南部ノ都會ニシテ元ト上杉氏ノ城市タリ、明君鷹山出デ、農桑機織ノ業チ勸メタルヲ以テ今モ産物多シ。鶴岡町(二萬)ハ庄内地方ノ都會ナリ。最上川ニ沿フテ下レバ、流域ニ上ノ山、天童、寒河江、谷地、楯岡及河口ニ酒田(二萬)アリ、酒田ハ良港ニシテ米ノ輸出所ナリ。

○風土 氣候ハ濱海ノ外、内地性ニシテ冬寒頗ル強シ、河

域ヨリハ多量ノ米、チ産ス、又薄荷、漆、銅、金ノ産アリ、蠶業又能ク行ハル。

### 中央高原

○中央高原ノ風土 中央高原ハ全國諸山脈ノ集マル所、我邦第一ノ高原ナリ、氣候内陸性ニシテ寒暑共ニ強シ、越後ハ大國ナレバ平地モ頗ル廣ク産物亦多シ、甲信ハ農産豊カチラザレバ蠶業甚ダ盛ナリ、三百五十萬ノ人口域内ニ住メリ、古武田、上杉ノ兩氏據リテ互ニ競争セシ所、人質慄悍ト稱セラレタリ、今世ニ及ンデ諸種ノ達人此高原ヨリ輩出セリ。

### 新瀉縣

越後一市十五郡、  
佐渡一郡

○形勢 境域頗ル廣ク我國第四ノ大縣ナリ、越後ノ南境ハ鳥海火山脈連亘シ、國內ニモ彌彥火山脈横斷ス、脈中ノ米山ヲ以テ上越後、下越後ニ別ツ、北面ハ長ク日本海ニ濱シ、裏日本ノ一部ヲ成セリ。

○河流 信濃川ハ西南境ノ山地ヲ破リテ本縣ニ入り、彌彥脈ニ沿フテ洋々トシテ北流シ、廣キ河域ヲ開キ運輸灌漑共ニ便ナリ。阿賀川又東境ヲ破リテ西流シ、信濃川近クニ注グ、此兩流附近、土地肥へ、農産最モ豊ナリ。佐渡ハ越後海岸ヨリ七八里ニ在ル法馬形ノ海島ニシテ、

左右ヨリ海水深ク灣入ス、西部ニ黄金ノ産所ナル金北山アリ、是レ佐渡火山脈ノ一部ナリ。

○都會 新瀉市(六萬)ハ信濃河口ノ左岸ニ在ル港ナリ、縣廳及居留地アリ、水運ノ便ヲ占メ物貨輻湊ス。信濃川ヲ遡レバ河畔ニ數多ノ都邑アリ、三條、與板、長岡、小千谷、十日町ノ各町是ナリ。新發田町ハ北部ノ一都會ニシテ第十五旅團ヲ置ク。村松町ニハ歩兵第三十聯隊アリ。高田町ハ上越後ノ一都會ナリ、直江津鐵道線ニ當リ近來益繁昌セリ、其北ニ直江津港アリ、鐵道ノ終點ニシテ東京ヨリ百九十哩ニ在リ、裏日本中部ノ百貨出入ノ門口ナリ。柏崎ハ直江津ニ次グ港ナリ。佐渡ハ世々本間氏ノ領セシ所

ナリ相川町(萬三)ハ島地ノ一都會ナリ、其他佐渡ニハ夷町、小木等ノ港アリ。

○風土 本縣ハ裏日本ニシテ冬期北西ノ風頗ル烈シク、且雪多キヲ以テ有名ナリ、信越鐵道線路ハ積雪ヲ以テ埋没スルニ至ル、高田町ハ雪最モ深キ所ナリ、而シテ夏期ハ又意外ニ高温ニ昇ルコトアリ。平野廣キヲ以テ農産物多ク米ハ百二十萬石ヲ産シ、麻、甘藷亦多シ、山地ニハ養蠶行ハレ絹織及越後上布ヲ産ス。礦物ハ佐渡ノ金ヲ始トナシ銅銀及所々ヨリ石油ヲ産ス。水産ニハ鱒、烏賊、鮑多シ、越後ハ中古上杉不識庵ノ據リテ其武ヲ輝カセシ所、其後モ諸豪族相踵デ割領シ、北越人ハ競争ヲ好ミ強ヲ以テ勵

マシ頭角ヲ露ハシタル人少カラズ。

### 長野縣

信濃一市、十六郡

○地形 管下ハ我國ノ中央ニシテ、諸山脈ノ集マル、富士帶ニ當ルヲ以テ火山多ク、淺間山、立科山、八ヶ岳、飛驒ノ境ニ鎗ヶ岳、乘鞍岳、御岳等ノ高山アリ、土地最モ高ク、到ル處高臺ニ屬シ諸河流ノ源ヲ爲セリ。

○水系 千曲川(筑摩)ハ東部ヨリ發シ、中流ニ於テ犀川ト合シ、川中島ヲ抱キ巨流トナリ越後ニ入ル、此流域稍平地ヲ存ス。木曾川ハ木曾山中ヲ西南ニ下リテ、深谿ヲ刻シ美濃ニ入ル、河域ハ森林深ク茂ル、木曾大林ニシテ良材多



ク、谿間ニハ奇景多シ。天龍川ハ諏訪湖ヨリ發シ南下シテ遠江ニ入ル。諏訪湖ハ周圍五里、冬間ハ湖水堅ク氷ル湖畔ニ諏訪ノ平地アリ。

○都會 長野市三ハ千曲川下流ノ左岸ニアル縣廳所在地ニシテ、有名ナル善光寺アリ、鐵道線ニ當リ東京ヨリ百三十五哩アリ。松本町ハ中央ノ一都會ニシテ蠶業盛ナリ。上田町ハ千曲川ノ右岸ニアリ。松代町ハ昔ノ海津城ニシテ川中島ノ戰ニ關シ有名ナリ。飯田町ハ天龍川右岸ノ都會ナリ、諏訪湖畔ニ上諏訪、下諏訪ノ兩町アリ。

○風土 我國ノ中央内地ニアルヲ以テ寒暑共ニ強ク雨量寡シ、土地高キヲ以テ霜雪共ニ早ク、寒威甚ダ強シ、木曾

山中ノ如キ五月花咲キ九月麥熟スルニ至ル。農産物ハ豊ナラザレバ、蕎麥ハ有名ナリ、蠶業ハ此地第一ノ生業ニシテ繭ノ産額全國ニ冠タリ、從ツテ種紙、織物ヲ出ス、又木曾ヨリ良材ヲ産ス。

信濃ハ我國中部ノ大國、境域十國ニ跨ル、昔甲越兩將ノ爭ヒシ地ナリ、人質雄悍ヲ以テ知ラレ、源ノ義仲ハ此地ニ出デ、旭將軍ノ勇名ヲ博セリ、其後佐久間象山ヲ始メ數多ノ偉人ヲ出セリ。

山梨縣

甲斐一市  
九郡

○地形 『山梨ニ山アリ大坂ニ坂ナシ』ノ諺アルガ如ク、甲

斐ヲ繞ルハ皆山ニシテ、地形盆底ノ如シ、故ニ『峽中』(か)ト云フ、是レ富士帶ニ當ルヲ以テナリ、南ニ富士ノ高峰聳ヘ西ニ白峰シラキ、身延ミキ、七面シチメンノ諸山アリ、東ニ笹子峠ササコトウアリ、北ハ金峰山、八ヶ岳、駒ヶ岳等アリ、中央ノ平地ハ釜無カマナシ、笛吹フエフキ兩河ノ流域ニシテ相合シテ南方ヲ破リテ駿河ニ下ル富士川是レナリ。

○都會 甲府市四萬ハ峽中ノ都會ナリ、山梨縣廳此市ニアリ、武田氏ノ舊城趾猶存ス。勝沼町ハ其東ニアリ、葡萄產地ヲ以テ著ハル。~~大田町~~富士川ヲ下ル渡場ナリ。猿橋町ハ東部ニアリ、此此近附ハ郡内ト稱シテ別ニ一郷ヲナス、絹織盛ニシテ町ニ猿橋ト稱スル奇工ノ橋アリ。

○風土 連山ノ内地ニアルヲ以テ、氣候ハ寒暑共ニ強ク、冬寒ハ東海道第一ノ烈シキ地ナリ、中央平地ニハ多少ノ農産物アレ、縣下第一ノ産物ハ蠶糸ナリ、『甲州八珍菓』トテ葡萄、柿ヲ始メ菓實多シ。鑛物ハ金及水晶ヲ産ス。此地ハ武田機山ノ據リシ處、其後徳川氏ノ直轄トナル、甲州人ハ慥悍ヲ以テ名アリ。

第三編

南日本

南日本ハ富士帶以南ヲ總稱ス、四國、九州ハ別ニ之ヲ説クベシ、内ニ本州中部、北國、近畿、中國各地方ヲ包轄ス。

本州中部

本州中部ハ東海道西部及濃飛高原ヲ包含ス内ニ静岡、愛知、岐阜、三重ノ四縣ヲ置ク、面積凡千八百六十方里アリ。

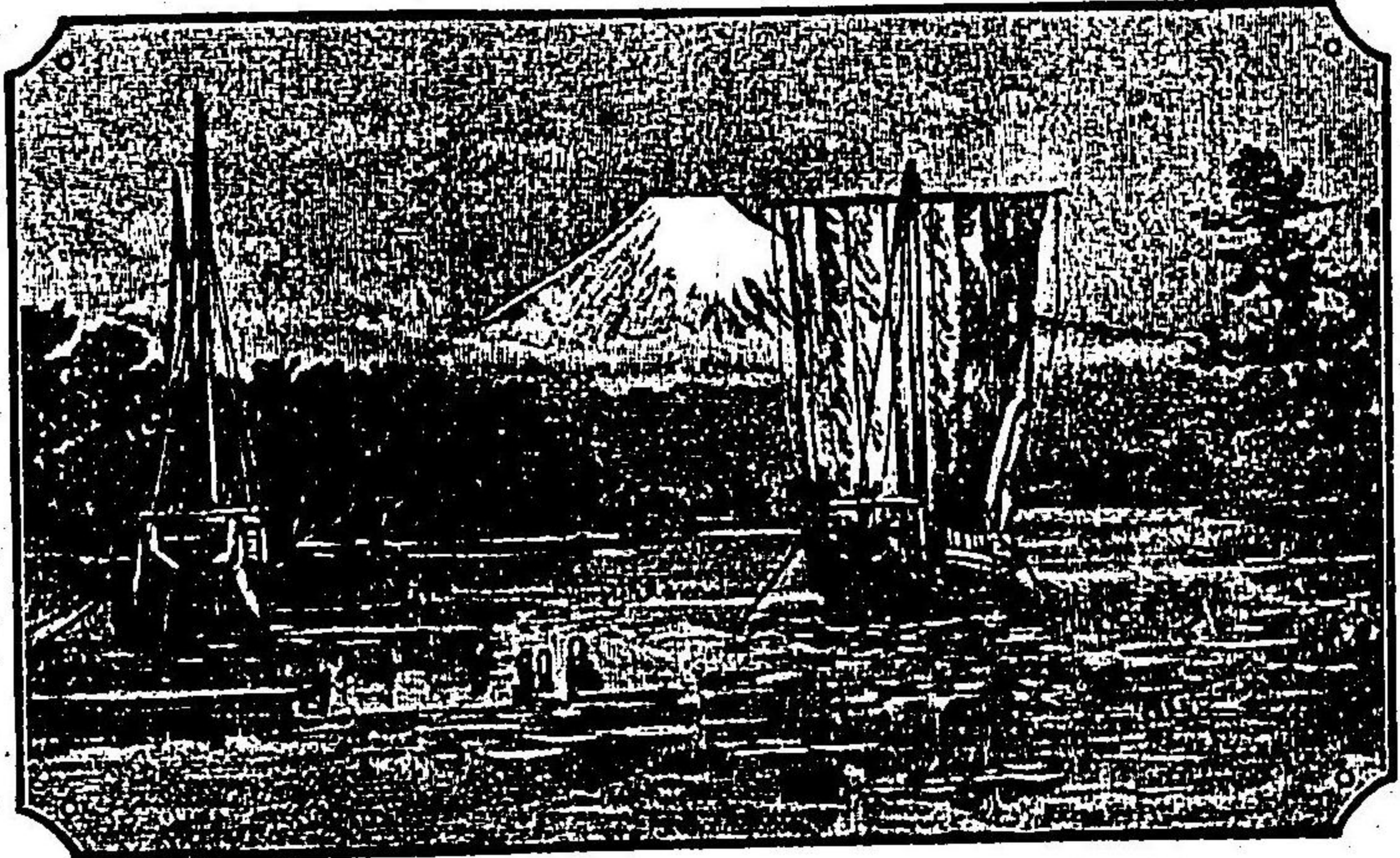
○風土 東海道西部ハ東南一帶太平洋ニ臨ミ港灣ノ出入多ク、海岸ニ肥沃ノ平原アリテ、海陸ノ産共ニ多ク、氣候

亦溫和ニシテ戸口繁榮ス。人質慧敏ニシテ手工ニ長シ諸種ノ工業各所ニ盛ナリ。中古以來ハ織田、今川、豊臣、徳川ノ諸英傑及旗下ノ名士輩出シタリ、現今交通ノ要衝ヲ占メ鐵道貫通シ、發達特ニ著ルシ。

静岡縣

駿河一市五郡、遠江六郡、伊豆二郡

○形勢 駿河ハ富士山ノ陽、太平洋ニ臨ミ甚ダ風景ニ富メリ、富士山ヨリ愛鷹山及伊豆半島ノ天城山トナル○富士山ハ直立一萬二千四百六十七尺ニ聳ヘ、頂上ニ舊噴火口アリ、四時白雪ヲ戴キ、其形白扇ヲ倒ニスルガ如ク觀望甚ダ雄壯ナリ、富士沼、其麓ニ湛ヘ濱海ニハ田子ノ浦、三保



ノ松原、興津、蒲原等アリ。

『田子の浦にうち出で、見れば白妙の富士の高峯に雪は降りつ、』

伊豆半島ハ天城山ノ脈ニヨリ

テ、到ル處山地ニシテ茂林ヲ以

テ蔽ハレ、麓ニハ温泉甚ダ多シ。

海濱ニハ良港少カラズ○遠江

ハ赤石山脈ヲ以テ其西北部ヲ

擁セラレ、脈中ニ無間山、黒法師

赤石山等アリ南ハ即遠州洋ニ

シテ濱海ニ濱名湖(今切)アリ。

○富士川ハ山間ヲ破リテ甲斐

富士 沼 山 望

ヨリ來リ、急駿ヲ以テ名アリ。安倍川モ亦急流ナレトモ流  
域ニ多少ノ農産地ヲ存ス。大井川ハ雨期洪水ノ害アリ。  
天龍川ハ川身廣ク流域ニ農産地アリ。

○都邑 静岡市(四萬)ハ元、府中ト稱シ徳川氏ノ隱棲所ナリ、

縣廳及歩兵第三十四聯隊アリ、東海道ノ要路ニ當リ市街

繁昌シ、竹細工、漆器等ヲ産ス、東京ヨリ百二十哩アリ○靜

岡ノ東ニ清水港アリ、三保崎ニ擁セラレ、良港ナリ○沼

津ハ東部ノ一都會ニシテ氣候溫和ノ地ナリ。御殿場ハ

富士ノ裾野ニ在リテ登岳ノ路ニ當リ、東海道鐵道線中ノ

高所ナリ。

伊豆ノ三島町ニハ三島神社アリ豆相鐵道ノ東海道線ニ

連絡スル所是ヨリ鐵道南條ニ達シ終ニ下田ニ至ルベキ  
 モノナリ。下田ハ南端ノ良港ナリ其西ノ石廊崎(長津)ニ  
 燈臺アリ其他北條トウヤ山ハ伊豆ノ小都會ニシテ國內溫泉  
 多ク熱海ノ間歇泉ヲ始メ修善寺伊東等浴客ノ爲メ賑合  
 へリ○遠江ノ濱松町ハ濱名湖東ニ在リ東海道ノ名驛ナ  
 リ。其東ニ掛川町アリ御前崎遠ク東ニ突出シテ駿河灣  
 ナ擁セリ。

○風土 管内ハ北ニ山ヲ負ヒ南ハ黑潮流ル大洋ニ面  
 シ海風ノ調和ニヨリテ寒暑共ニ和順ニシテ健康ニ適シ  
 且風景佳良ノ地多シ。物産モ亦豊ニ茶ノ産スルユト全  
 國第一タリ。紙藍モ亦多ク伊豆ヨリハ石材木材ヲ出シ

沿海ニ鱈鯛多シ。人質總テ敏活ニシテ世事ニ長ズ駿遠  
 ヨリハ中古諸英傑出デ伊豆ヨリハ北條氏ヲ始メ源氏旗  
 下ノ士多ク出身シタリ。

愛知縣

尾張一市九郡、  
三河十郡、

○地勢 尾張ハ木曾河其西北境ヲ繞リ土地平遠ニシテ  
 南ハ伊勢海ニ臨ミ北ハ美濃ニ亘ル是レ濃尾平原ナリ。  
 此平原ハ地味肥へ米穀能ク産スルヲ全國第一ナリ。平  
 原ノ南ニ挺出スルヲ知多半島ト云フ以テ伊勢海ト衣浦  
 トヲ分ツ半島ハ概テ山地ニシテ南端ヲ師崎トス。  
 三河ハ矢作大平及豐川ノ三河アルヲ以テ國名ノ起源ト

ナル、此三流域ハ肥沃ノ農産地ナリ、渥美半島東ヨリ西ニ出テ以テ遠州洋ト渥美灣トヲ分ツ、東北部ハ鳳來寺山(阿蘇)火山(本宮岳等ノ山地ナリ)。

○都會名古屋市ハ東西兩京ノ中間ニ在ル(東京へ二百四十哩)、東海道第一ノ要市ニシテ百貨輻湊シ、商業繁榮ス、人口モ既ニ二十五萬ニ進メリ、當市ハ徳川氏(一家)ノ舊城市ニシテ其城ハ豊臣氏ノ築ク所、天守閣ニハ金鯨ヲ置キ宏壯ヲ以テ名アリ、第三師團控訴院、愛知縣廳等此市ニアリ、織物、陶器、七寶燒(セメント)等ノ製造盛ナリ。附近ニ熱田神宮(草薙劍ヲ奉祀ス)、鳴海(絞ヲ産ス)、桶狹間(古戰場)、清洲(古跡)、小牧山(古戰場)等アリ。知多半島ニ龜崎、半田、武豊ノ各町アリ、鐵道大府ヨ

リ岐レテ武豊ニ通シ、海陸ノ交通便ニ、一般ニ酒、陶器ノ製造行ハル。

三河ノ豊橋町ハ舊名吉田ト稱シ、東海道ノ要驛ナリ、第十七旅團アリ。岡崎町ハ矢作川畔ニアル東海道中ノ一城市ナリ。元徳川氏ノ居城ナリキ、徳川氏隆興ノ當時、所謂「三河武士」多ク出タリ。

○風土 本縣ハ南ニ内海ヲ受ケ氣候溫和ニシテ、土地大ニ肥ヘ産物饒ク、民物繁庶シテ元龜、天正ノ頃ハ英雄輩出シ其驅馳競争ノ場ナリキ。尾張ノ米(全縣下ニ百萬石ヲ産ス)、煙草、三河ノ綿最モ宜シク工業亦盛ニシテ、愛知織(瓦斯)、三河木綿、瀬戸燒、釀酒等産額甚ダ多シ。

岐阜縣

美濃一市十五郡  
飛驒三郡

○地勢 美濃ノ南部ハ濃尾平原ニシテ、木曾川廣大ノ流域ヲ開キ飛驒、長良(鮎多ク鮎漁盛ナリ)楫斐ノ三川共ニ北ヨリ來リテ會流シ運漕灌漑共ニ宜シク『美濃米』ノ產地ニシテ縣ノ要部ナリ。美濃ノ東北部及飛驒全國ハ濃飛高原ニシテ到ル處山岳重疊シ交通不便ナリ。飛驒ハ四境高山ヲ以テ圍マレ、河流ノ發源所トナル、南ニ下ル水ハ飛驒川トナリ、北ニ下ル水ハ射水、神通ノ兩河トナル。

○都邑 岐阜市(三萬)ハ長良川ニ臨ミ稻葉山ヲ負ヒ、東海鐵道線ニ當リ繁榮セリ、縣廳此市ニアリ、先年大震ノ爲メ非

常ノ損害ヲ受ケタレ、市況既ニ舊ニ復セリ○岐阜ノ西九哩ニ大垣町アリ其西ノ關ヶ原ハ不破ノ關趾ニシテ有名ナル古戰場ナリ。其南ノ養老山ニ養老ノ瀧アリ。岐阜ノ東ニ御嵩町アリ。高山町ハ飛驒中央ノ一都會ナリ、位山其南ニ峙テリ。

○風土 本縣ハ内地ニアルヲ以テ夏暑冬寒共ニ強ク、盛夏ハ本州ニ稀ナル高溫ヲ示スコアリ、南北兩面ノ海ヨリ來ル濕氣、山地ニ於テ雨トナリ雨量頗ル多ク、諸川高地ヲ下レバ、忽チ渟滯シ數々水害ヲ被ル、然レモ平原ハ地著シク肥へ、美濃米ノ名世ニ高シ、其他綿、茶、紙ヲ産シ山地ヨリハ銀、銅及良材ヲ出ス美濃燒、飛驒織共ニ産額多シ。

### 三重縣

伊勢二市十郡、伊賀二郡、志摩一郡、紀伊ノ内二郡、

○地勢 本縣ハ東面長ク海ニ濱シ北ニ伊勢海、南ニ熊野浦アリ志摩國其間ニ突出ス。伊勢海岸ニハ平地ヲ存シ木曾、鈴鹿、雲出、櫛田、宮川ノ諸流之ヲ潤シ農産多シ。西背ニハ鈴鹿山脈ヲ負ヒ、南部ハ紀伊山脈ノ通ズルアリテ山深ク志摩ノ朝熊山、大和境ノ大臺原山ノ如キ、最モ著名ニ、山脚海ニ迫リ海岸ノ出入鋸齒ノ如ク島嶼亦多シ。

○都邑 津市(三萬一千)ハ伊勢海ニ臨ミ縣廳ノ在ル所、或ハ「阿濃津」ト稱ス藤堂氏ノ舊城市ナリ。鐵道東西兩京及宇治、山田ニ通ズ。參宮鐵道ニヨリテ南ニ進メバ阿漕浦(名所)

松坂町アリ、本居宣長(和學者)ノ出身地ニシテ織物ヲ産ス、是ヨリ宮川ヲ渡リ宇治山田町ニ達スレバ大廟アリ、内宮ハ宇治ノ流レ清キ五十鈴川ノ上ニ在マス、外宮ハ山田ニ在マス共ニ莊嚴無比「何事のおはしますかは知らねども、難有さにぞ涙こぼる、(西行)」其海岸ニ二見浦(名所)アリ、是ヨリ志摩ニ入レバ鳥羽港アリ。

北勢ノ都會ニ四日市(二萬五千)アリ我國屈指ノ佳港ナリ、鐵道又通シ海陸ノ交通共ニ便ナリ。桑名町ハ木曾河口ニ在ル良港ナリ。龜山町ハ關西、參宮兩鐵道ノ分ル、要驛ナリ○是ヨリ西ニ進メバ鐵道ハ關(鈴鹿關趾)ヲ經テ伊賀ニ入り、柘植驛ニ於テ又關西、奈良ノ鐵道線ニ岐ル、奈良線ニ沿フテ上野町アリ伊賀ノ都會ナリ。其南ニ名張町アリ紀



伊ノ部ニハ尾鷲町アリ。

○風土 管内ハ氣候溫和ニシテ南部ハ雨量多シ。濱海平地ノ米穀伊賀ノ茶山地ノ木材共ニ佳ナリ、織物、陶器(古萬)燒ノ製造アリ、伊勢ノ海ハ漁業盛ニ行ハレ鰯、鯛ノ産アリ。  
『いかりおろすかたこそなけれ伊勢の海の  
塩瀬にかゝるあまの釣舟』

### 北國

北國ハ即北陸道ニシテ(越後ヲ除ク)濃飛高原及白山火山脈以外日本海ニ濱スル一帯ノ總稱ニシテ、即裏日本ノ一部ナリ。面積八百十方里、人口二百二十萬アリ、内ニ福井、石川、富山ノ三縣アリ。

○氣候 西北ハ日本海ニ面シ其風化ヲ受ケ、夏ハ乾燥ナレ、冬ハ日本海ヲ渡リ來ル北西風夥シク濕氣ヲ帶ビ來リ、其後背ヲ擁スル山脈ノ爲メ、凝集セラル、ナ以テ雨雪多ク、福井、石川ノ如キハ、全國最多雨ノ地ナリ、特ニ降雪多ク積ル、甚ダ深シ。

○風習 京坂ニ近キヲ以テ古來其餘波ヲ受ケ、風俗モ京坂ニ類シ服粧ヲ喜ビ相貌凡テ溫雅ナリ、人質巧慧峭直ニシテ、一般ニ佛教(真宗)盛ニ行ハレ寺院多シ。

### 福井縣

越前一市八郡、  
若狹三郡、

○地勢 白山脈若狹ヨリ越前ヲ通シ、越前ノ東部ハ濃飛

高原ノ一部ヲ受ケ、大日岳、經ケ岳等アリテ山嶺頗ル深ク、近江ニ越ユルニ木芽峠アリ、是レ「越路」ノ名アル所以ナリ、賤ケ岳ノ山腹ニハ鐵道ヲ通ズ、柳ケ瀬隧道是ナリ○若狹沿海ハ岬灣ノ出入多ク、中間ニ小濱灣アリ、立石岬、若越ノ國境ニ突出シ、其東ニ敦賀ノ灣入アリ。越前岬ハ遙ニ丹後ト相對シ、其間ヲ若狹灣ト稱ス。越前ノ海濱ハ田野開ケ、其間ニ日野、足羽、九頭龍ノ三流アリ、相合シテ日本海ニ入ル。

○都邑 福井市(四萬三千)ハ松平氏ノ舊城市ニシテ足羽川ニ跨リ、足羽山ヲ負ヒ市街繁昌シ、機業盛ナリ、北陸鐵道線ニ當リ、東京ヘ三百五十三哩アリ、此市ハ元「北ノ莊」ト稱シ柴田

勝家ヨ、ニ城ク今ニ城趾ヲ存ス。足羽山ニ藤島神社(義貞ルヲ祀)アリ。其他武生、大野、勝山、鯖江、丸岡等ノ舊小城市アリ、鯖江ニハ歩兵第三十六聯隊ヲ置ク。敦賀ハ日本海ノ良港ニシテ貨物輻湊ス、町ニ第十八旅團アリ。三國港(坂井)ハ日野河口ノ良港ナリ。小濱ハ若狹ノ舊城市ナリ、其城ヲ雲濱城ト稱ス。

○風土 管内ハ北西ニ日本海ヲ受ケ雨量ノ多キヲ全國ニ最タリ。特ニ冬季ニ多キヲ以テ積雪深ケレ、冬寒ハ割合ニ強カラズ。平原地方ヨリハ米、麻ノ産多ク、山地ニ銀、銅、瑪瑙、基石ヲ産シ、沿海ニ鱈、雲丹、大蟹、若狹鯛ノ産アリ、奉書紙、若狹塗ヲ出シ、近來、羽二重織ノ輸出盛ナリ。人質

峭直ニシテ壯快ナリ、維新ノ際明君春岳及橋本左内等ノ人物出タリ。

石川縣

加賀一市四郡、能登四郡

○地勢 加賀ノ國境ハ皆山ニシテ北西ハ日本海ヲ受ク白山ハ北國ノ名山ニシテ八千八百餘尺ニ聳ヘ、盛夏ノ外白雪ヲ戴クヲ以テ此名アリ。海濱ニ平地ヲ存シ河北瀉柴山瀉等湖沼アリ手取川、淺野川、安宅川等此間ヲ流ル。○能登ハ日本海ニ突出スル人掌形ノ半島ナリ、其東端ヲ珠洲岬ト云フ、半島ノ中部ニ七尾灣アリ、灣内ニ能登島アルハ掌中ノ玉ニ譬フベシ、沿海ハ奇景多ク所謂「能州ノ景」

ナリ。

○都邑

金澤市（八萬一千）ハ元、尾山下稱シ前田氏ノ舊城市ニシテ北國第一ノ都會ナリ、鐵道東西ニ通シ東京へ四百哩アリ石川縣廳ノ所在地ニシテ、第八師團、第四高等學校等アリ。兼六園ハ日本三公園ノ一ト稱ス。其東ノ津幡ハ北陸鐵道線ノ七尾線ト岐ル、所。七尾町ハ七尾灣邊ノ都會ナリ、其北ニ在ル輪島港ハ漆器ヲ産ス。金澤ヨリ西ニ赴ケバ小松、大聖寺ノ都會アリ、大聖寺ノ南ニ山代、山中、栗津ノ溫泉場アリ、有名ナル九谷焼ハ此邊ヨリ産ス。○風土 本縣ハ日本海ノ風化ヲ受ケ、冬季北西ノ風強ク、雪深クシテ白山ノ麓ナル牛首郷ノ如キハ積雪丈餘ニ達

スルコトアリ。濱海ヨリ農産物ヲ出シ、又銀、銅、鉛及絹織、陶器、漆器所々ヨリ産シ海産ニ烏賊、鱈アリ。加賀ハ舊大藩ノ下ナレバ、人質勇壯ヲ競ヒ且舊藩主ノ獎勵等ニヨリ近來學者、武官ノ出身多シ風俗ハ稍華奢ノ傾キアリ。

富山縣

越中二市  
八郡

○地勢 北、日本海ニ濱シ富山灣ヲ抱ク灣邊ハ越中平原ニシテ黒部、常願寺、神通射水ノ四大流之ヲ潤シ、土地頗ル肥沃ニ米穀ヲ産スルコト多シ。南境ハ飛驒高原ニ接シ、東部ニハ立山(九千八百尺)、劍ヶ岳等アリテ山彙頗ル深シ。

○都邑 富山市 (五萬九千)ハ神通川ノ右岸ニ建テル繁榮ノ市

ナリ、賣藥ノ製造有名ナリ。其西ニ高岡市 (三萬一千)アリ、銅器及漆器ノ製造盛ナリ。北陸鐵道此市ニ達シ、東京へ四百二十六哩アリ。海濱ニ伏木、放生津、魚津等ノ港アリ伏木最モ著ハレ、定期汽船ノ往復アリ。

○風土 縣下ハ能登ノ風蔭カタカガニアリテ、北西風ヲ遮ルヲ以テ、北國中、雪最モ少ナキ地ナリ、然レモ寒氣頗ル強シ、平原地方ハ米ヲ産シ、其額百萬石内外アリ「越中米」是ナリ、又麻ヲ産ス、山地ニ木材ヲ産シ、海産ニ烏賊、鱈アリ、都會地ニハ諸種ノ製造行ハル。

### 近 畿

近畿ハ畿内及其附近ヲ云フ、中國山脈、鈴鹿山脈、紀伊山脈ヲ以テ圍マレ、中間ハ五個國ニ亘ル、畿内平野アリ、此平野ハ西南茅渟海ニ向ツテ開ケ土地肥沃ニシテ住民多シ、内ニ滋賀、京都、奈良、和歌山、大坂ノ二府三縣アリ。面積一千二百方里、四百十萬ノ人民コ、ニ住ス。

○風土 近畿ハ古來歷朝ノ都シ玉ヒシ跡各所ニ散在シ、近來マデ我國ノ中央地トナリ、英雄豪傑ノ競逐興亡セシ地ナルヲ以テ、到ル處、名所舊跡アリ、佛教一般ニ行ハレ風俗ハ優美閑雅ニシテ、品相高雅ナリ。

### 滋賀縣

近江一市  
十二郡

○形勢 縣境ハ概子山ヲ以テ包マレ、東境ニ伊吹山、摺針峠、鏡山等アリ、北境ニ賤ヶ岳アリ、西境ニ比良、比叡ノ諸山アリ、山城ニ通ズル所ハ逢坂山ニシテ昔ノ關所ナリキ、今ハ隧道ニヨリテ汽車ヲ通ゼリ。縣ノ中間ニ琵琶湖ヲ湛フ其周回五十九里餘、汽船湖上ヲ往來ス湖中ニ竹生島等ノ四島アリ、湖水ハ勢多ニ至リ窄マリテ川トナル宇治川是ナリ、湖邊ハ風景絶佳ニシテ辛崎ノ松、石山ノ月等世ニ『近江八景』ノ稱アリ、湖邊ノ平地ハ地味肥沃ナリ。

○都邑 大津市（三萬三千）ハ縣廳所在地ニシテ、歩兵第九聯隊

アリ、湖ニ臨ミ、風景明媚ナリ、後ニ三井寺アリ、琵琶湖疏水ハ此市ヨリ京都ニ通ゼリ、此市ハ古ノ『さざ波の滋賀の都』ナリ、草津驛ハ東海道線ト關西線トノ岐ル、所湖東ニ彦根町アリ、井伊氏ノ舊城市ナリ、其北ノ米原驛ハ北陸線ノ東海線ニ連絡スル所其北ニ長濱アリ縮緬ノ本場ナリ。

○風土 管内ハ内地ニ在レヒ湖水ノ爲メ氣候調和セラ  
ル、茶、麻ハ重要産ナリ織物、陶器、晒布、蚊厨及牛、魚類(湖中)ヲ産ス。近江ハ中江藤樹、伊井閣老ノ出デシ所、人質慧敏ニ  
ノ商業ニ通シ『近江商人』ノ名ヲ博セリ。

### 京都府

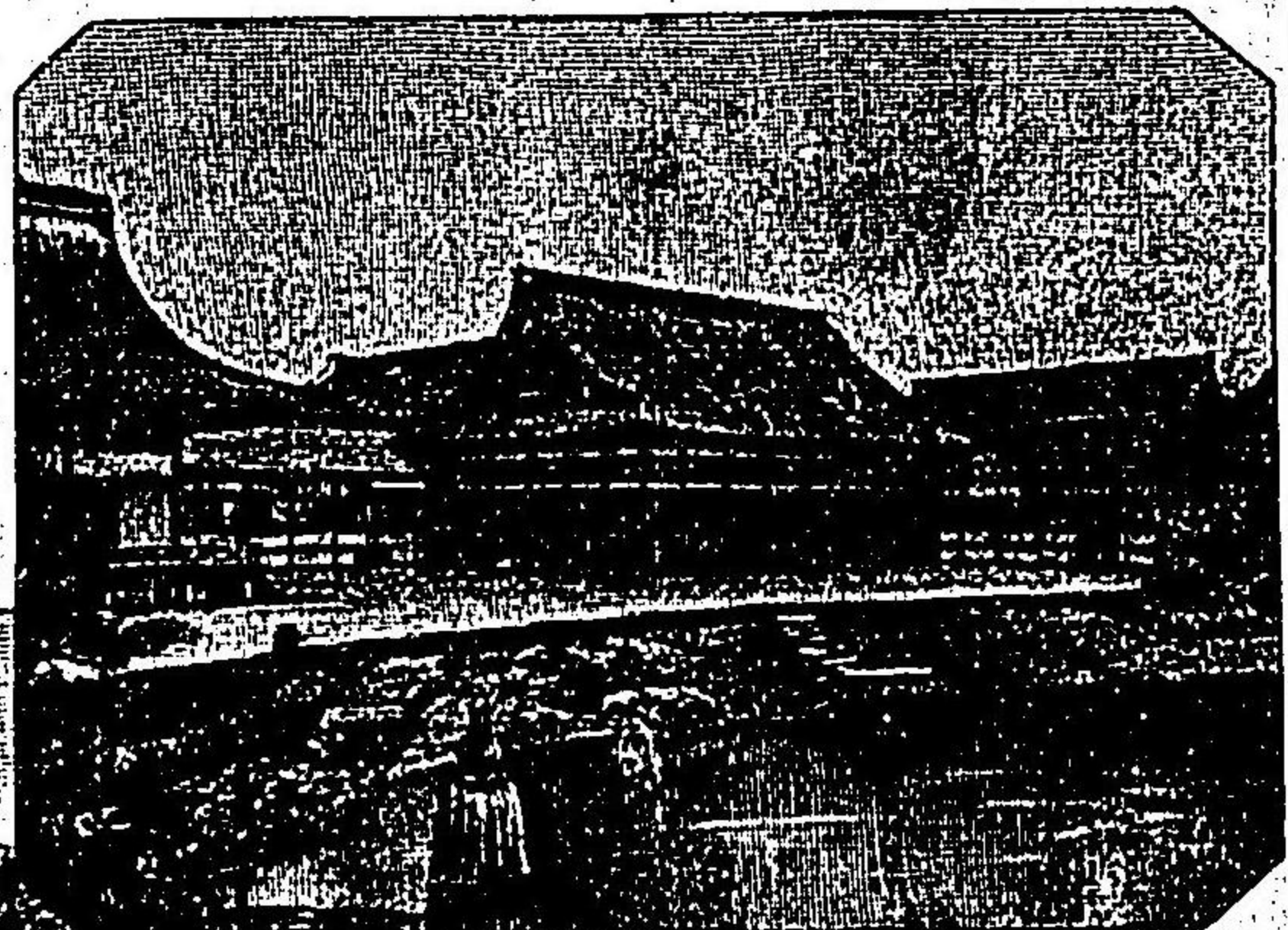
山城一市八郡  
丹波ノ内五郡、丹後五郡



立橋ノ天

○形勢 山城ノ東西北三方ハ山ヲ以テ圍メレ比叡、愛宕、鞍馬ノ三山最モ著ハル、南方ハ畿内平野ノ一部ニシテ、宇治、加茂、桂木津ノ諸川相會流レテ淀川トナル。此諸流域ハ久シク我國ノ中心地タリキ。

丹波ハ一般ニ高臺ニシテ山多ク、諸川ノ源トナル保津川、大堰川ハ山城ニ下リ。由良川ハ丹後ニ下ル。丹後ノ境界ニハ大



皇居紫宸殿  
二條城ノ外觀



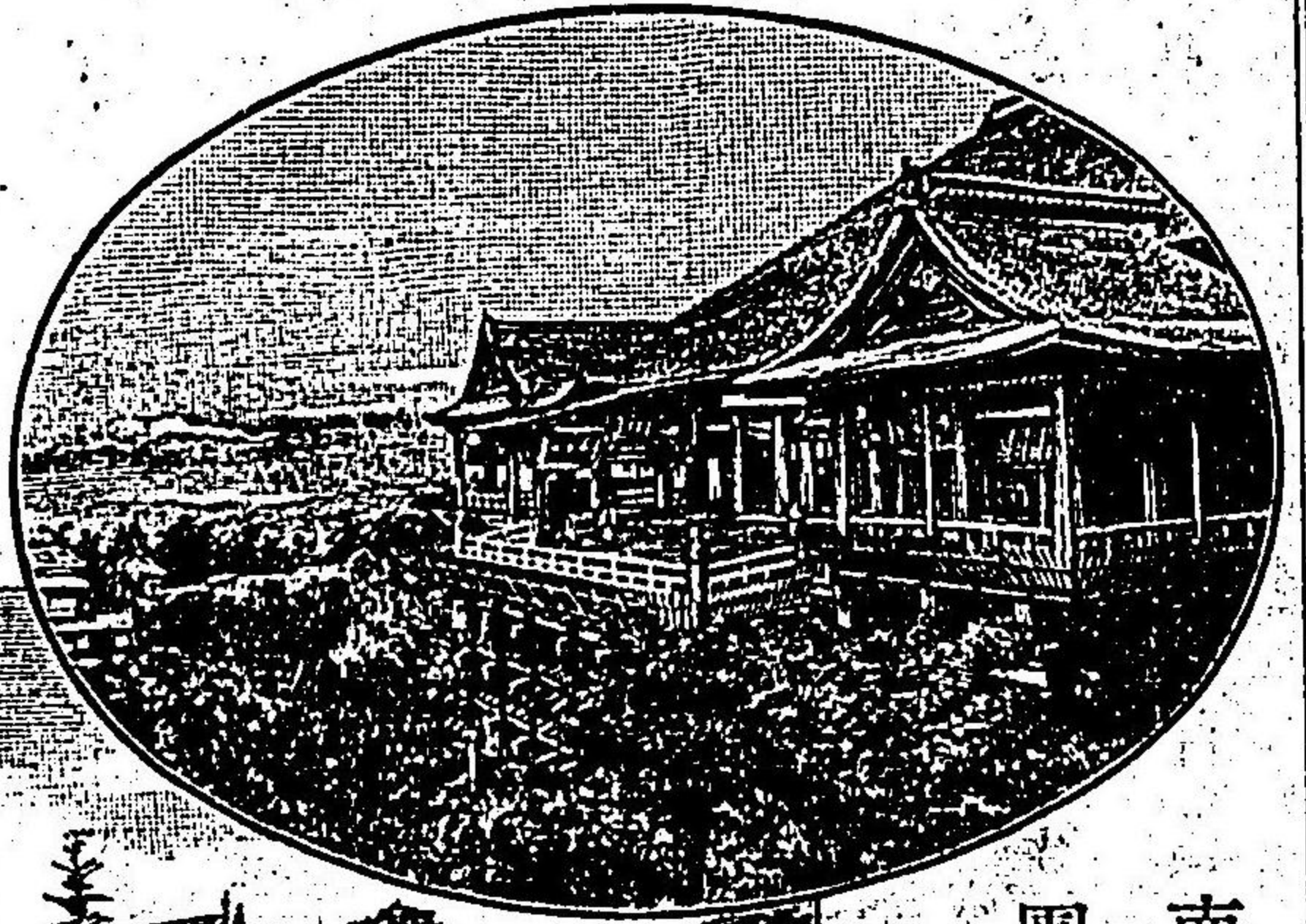
江山アリ。沿海ニ與謝半島突出シ、越前岬ト相對ス、半島ノ南ニ天ノ橋立アリ、沙洲南出スル一里許、老松

之ニ生シ遠ク望ムバ一長橋ノ如ク、風景甚ダ佳ナリ、海岸ハ出入多クシテ港灣ニ富メリ。

○京都市(三十三萬三千)ハ延暦年間ヨリ維新マデ一千餘年間

ノ帝都ナリ。加茂川ニ跨リ市區方正ニシテ九條ノ大路ヲ通ジ、皇居其北ニ位シ、二條城ハ二條ニアリ、昔ハ左京、右京及洛中、洛外ノ稱アリキ、今ハ上京、下京ノ二區ニ分ル、此市ハ美術工藝品ノ製造盛ニシテ、加茂川染、西陣織ノ如キハ他ニ其比ナシ、近來琵琶湖ノ水ヲ引キテ市中ニ導キ、電氣發動ニ應用セリ。又京都帝國大學、第三高等學校、同志社等アリ。

名所 京都市ノ附近ハ名所甚ダ多ク、東山、西山、嵐山等アリ、又有名ナル神社、佛閣多ク參拜遊覽ノ客常ニ絶ヘズ。鐵道東京へ三百二十九哩、大坂へ二十七哩アリ。京都ノ東ニ稻荷町アリ、有名ナル稻荷神社アリ。伏見ハ京都ノ



京都清水寺ノ觀音堂  
宇治ノ鳳凰堂



南淀川水運ノ要所ニアリ、第十九旅團ヲ置ク。宇治ニハ建築ノ精ヲ極メタル、鳳凰堂及平等院アリ。

都邑 丹波ニ龜岡園部、福知山ノ小都會アリ、福知山ニハ第二十旅團アリ、丹後ニ舞鶴軍港アリ、由良河口ノ由良モ佳港ニシテ縮緬ヲ産ス。西部ナル宮

津灣内ノ宮津港ハ、特別輸出港ナリ。

○風土 府下ハ内地ニアルヲ以テ寒暑稍強ク、京都ノ冬季ハ寒頗ル甚シ、然レモ平地ハ地肥ヘ、米穀、菜蔬ヲ産スルヲ多シ。宇治ノ茶ハ全國一ノ佳品ナリ、製造品ハ織物、陶器ヲ初メ甚ダ多シ、丹波ノ烟草、牛、丹後縮緬共ニ名アリ、京都ハ古來本邦文華ノ中心ナルバ、偉人、學者、詩人、畫工等輩出セリ、人質優美ニシテ手工ニ長シ、勤勉ニシテ節儉ナリ。

奈良縣

大和一市  
郡

○地勢 北部ハ畿内平原ニシテ大和川之ヲ潤シ、土地肥ヘ、戸口繁シ、上古歷代ノ奠都シ玉ヒシ地ナレバ、舊跡甚ダ



多シ。吉野川、縣ノ中央ヲ貫キ紀伊ニ入ル、河ノ南岸ハ吉野山ニシテ滿山櫻樹多ク「一目千本」ノ稱アリ。これはくこばかり吉野山ニテ花時ノ景言ハン方ナシ、南朝三世ノ行在所、此山中ニ在リ。眉雪、老僧時、輟掃、落花深處、說南朝。

大和高原 吉野山彙以南ハ總テ山地ニ屬ス、大和高原是ナリ、七面山、釋迦ヶ岳等アリ。十津川此間ヲ南下シテ紀伊ニ入ル。吉野川北岸ニモ一帯ノ山丘アリ、ソノ多武峰ニハ談山神社アリ。

○都邑 奈良市(三)ハ平原ノ北部、古ノ奈良ノ都ノ一部分ナリ、我國ノ舊都ニシテ文化ノ淵源地ナリ、春日山、三笠山ヲ負ヒ、猿澤池、市中ニ湛ヘ春日神社、手向山八幡及東大寺



奈良市及福興寺及猿澤池ノ

興福寺アリ。其他縣内ニハ法隆寺、藥師寺等ノ南都七大寺ヲ始メ、名社古刹甚ダ多ク、又畝傍山陵ヲ始メ、歴代ノ山陵縣内ニ散在シ、世ニ「大和廻リ」ト稱シテ遊人跡ヲ絶タズ、近來鐵道各所ニ通ジテ便利ナリ。奈良ノ西ニ郡山町アリ、月ヶ瀬ハ名張川畔ニマリ、梅多ク花時ハ「滿溪白雪」ノ觀アリ。

○風土 内地ニアルヲ以テ寒暑稍強ク南部ノ山地特ニ甚シ平地ヨリハ茶綿ヲ産シ奈良ニハ漆器(根來)漬物晒布墨香等諸種ノ製造品ヲ出ス吉野山地ヨリハ木材葛粉紙ヲ産ス。舊都ノ蹟ナルヲ以テ風景人質共ニ古雅ヲ帶ビ、總テ優美閑靜ナリ。

和歌山縣

紀伊ノ内  
一市七郡

○地勢 南方ニ突出スル半島地ニシテ紀伊山脈ニ屬スルヲ以テ到ル處山多ク白馬山大塔峯雲取山那智山等アリ高野山ニハ金剛峰寺アリ那智山ニハ那智ノ大瀑布アリ。潮岬南ニ出ヅ大島其前に當レリ其東ノ海ヲ熊野浦



和歌ノ浦ノ或ハ光明ノ浦

ト云ヒ西ヲ紀州洋ト云フ黒潮流通シ航行ノ警ムル所沿岸ハ危崖多シ。

河谷 紀伊川ハ大和ヨリ來リ流域ニ農産地ヲ開キ海ニ入ル河畔ハ主要ノ地ナリ其南ニ有田川アリ其兩岸ハ紀州蜜柑ノ産所ナリ其南ニ日高川熊野川アリ。

○都邑 和歌山市(五萬七千)ハ紀伊川ノ南岸ニアリ徳川氏(一家)ノ舊

城市ニシテ南部ノ大都會ナリ。綿<sup>ネ</sup>ノ織盛ナリ、鐵道大阪ニ通シ其間三十九哩アリ、其南ニ和歌浦<sup>ワカウラ</sup>アリ風光秀美ナリ『和歌の浦や湖みちくればかたを波あしへをさして田鶴なき渡る』南ノ田邊灣ニ田邊町<sup>タナベ</sup>アリ。新宮町<sup>ニイナキ</sup>ハ熊野河口ニアリ。

○風土 南海ニ濱スルヲ以テ氣候甚ダ溫暖ニ、雨量亦甚ダ豊ナリ、平地ニ綿蠟、橘類ヲ産シ、山地ニ良材ヲ出ス『木の國』ノ名是ヨリ起ル、近海ノ捕鯨、鱈漁等盛ナリ。

### 大阪府

攝津一市四郡、河内三郡、和泉一市二郡

○形勢 府下ハ畿内平野ノ大阪灣ニ濱スル要所ヲ占メ、東南境ニ山丘連リ、天王山、金剛山最モ名アリ、其西ハ所謂

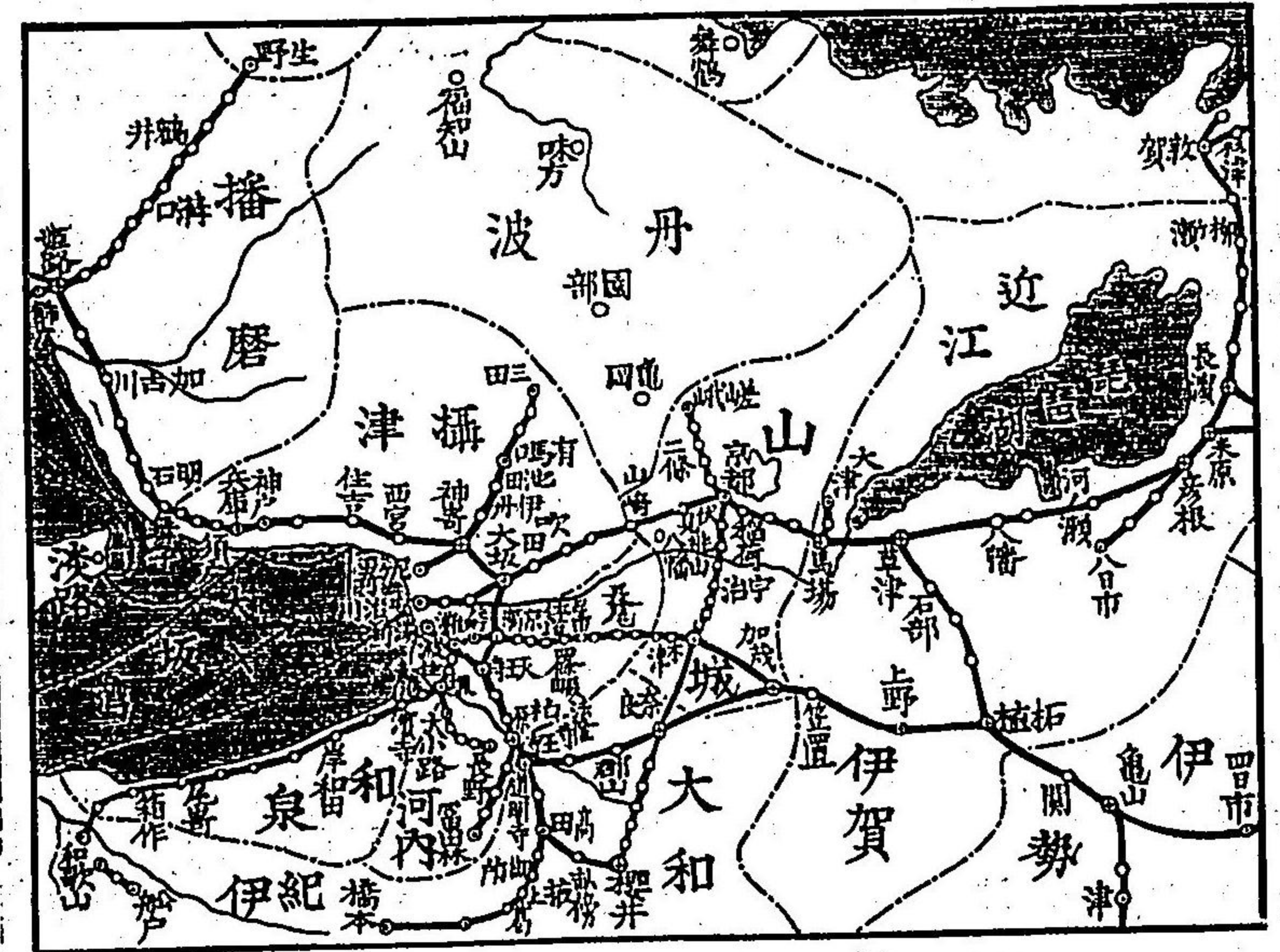
攝河泉ノ平原ナリ、土地肥沃ニシテ、淀川、大和川ノ下流ヲ受ケ運漕ノ便、灌溉ノ利共ニ極メテ宜シ、故ニ人烟繁ク僅ニ百十六方里ノ地ニ百三十萬ノ住民アリ。

### ○大阪市

(七十六萬六千)

ハ淀川ノ下流兩岸ニ跨リ、大坂灣ニ臨メル大都會ナリ。市ハ東西南北ノ四區ニ分ル、關西地方ノ中央市場ニシテ、百貨集散シ商賣ハ繁昌關西第一タリ、淀川ハ安治、木津ノ兩流ニ分レ、安治河口ハ即大坂港ニシテ、船舶輻湊シ外國互市場ナリ。市中ハ淀川ノ水ヲ引キテ普ク溝渠ヲ通シ架橋ノ多キヲ他ニ比ナシ。大坂城ハ秀吉ノ築ク處、宏壯ヲ以テ名アリ、今中部都督部及第四師團ヲ置ク。此市ハ鐵道ノ中心トナリ梅田停車場ヨリ東

大阪附近鐵道路線



海道線ニ、網島ヨリ關  
 西線ニ、難波ヨリ和歌  
 山線ニ、湊町ヨリ奈良  
 線ニ通ゼリ、市ニハ生  
 玉、高津、天王寺等ノ名  
 所及造幣局、造船所等  
 アリテ、諸製造業盛ニ  
 行ハル。  
 堺市(五萬)ハ大和川ノ南  
 岸ニアリ大坂ヨリ僅  
 ニ六哩餘、交通甚ダ繁

ク紡績、段通織、双物等製造行ハル、岸和田其南ニアリ。河  
 内ハ楠氏ニ關スル遺跡多ク、道明寺、富田林、四條畷等アリ、  
 皆鐵道相通ゼリ。

○風土 大坂灣ニ濱シ氣候溫暖ナレ、夏季ハ頗ル高温  
 ニ昇ルユトアリ、平野ハ住民多ク農耕普ホク行ハレ、米穀  
 菜蔬等農産物多ク、綿ハ其最タル物ニシテ、攝河泉ノ野、綿  
 花白シ、「西風吹、白木綿國  
 一路穿花、是紀州」河内、和泉ノ木綿産額甚ダ多ク、紡  
 績業處々ニ盛ナリ其他ノ諸製造業モ到ル所ニ行ハレ、諸  
 種ノ手工品ヲ産ス。大阪ハ我國第一ノ商業府ニシテ、古  
 ヨリ商業盛大ナリ。人質機敏ニシテ、商賣ニ熟達シ「大坂  
 商人」ノ名ヲ得タリ。

# 中國

中國ハ畿内以西、日本海ト瀬戸内海トノ中間ニ在ル地方ノ總稱ナリ。中國山脈其中央ヲ通過シ地ヲ南北ニ分ツ、山南ハ即山陽道ニシテ山北ハ即山陰道(丹波ヲ除ク)ナリ内ニ兵庫、岡山、廣島、山口、島根、鳥取、ノ六縣アリ。

○風土 山陽ト山陰トハ地勢、風土全ク反對ニシテ、山陽道ハ北ニ山脈ヲ負ヒ、南、瀬戸内ニ臨ミ、主ニ南來ノ風化ヲ受ケ、河系多ク南流シ、土地肥へ陸ニ鐵道アリ、海路平穩ニ水陸ノ交通共ニ便ナレト。山陰道ハ裏日本ニシテ南ニ山ヲ負ヒ、北日本海ニ濱シ、一ニ北來ノ風化ヲ受ケ、河系ハ多

ク北流シ平地ニ乏シク海陸ノ交通未ダ不便ナリ。故ニ山陽道ハ戸口繁ク、人質敏達ニシテ諸種ノ偉人輩出セリ。山陰道ハ太古出雲派ノ經營シ玉ヒシ故地ナレト、僻在ノ姿ナルヲ以テ、山陽道ニ比スレバ民物總テ寂寞タリ。

○瀬戸内海 中國ノ南面ニ當ル瀬戸内海ハ四國及九州トノ間ニ湛へ、面積凡二百五十方里アリ、早瀬、早吸、鳴門、由良ノ諸海峡ニヨリテ外洋ニ通シ、崎岬島嶼ノ形勢ニヨリ、茅渟、播磨、水島、燧、伊豫、安藝、硫黃、周防ノ諸海灘ニ區分セラル。海中ニハ大小ノ島嶼散布シ、兩岸ノ山峰、黛ノ如ク風景甚ダ佳ナリ、此海ハ四周山ヲ以テ圍マル、ニヨリ、降雨少ク、沿岸各地何レモ製鹽ニ適シ、食鹽ノ産額多シ。

### 兵庫縣

攝津ノ内一市三郡、播磨一市十三郡、丹波ノ内二郡、但馬五郡、淡路二郡、

○形勢 本縣ハ畿内、山陽、山陰及南海ノ一畿三道ニ跨リ、管轄甚ダ廣シ、故ニ地勢モ區々タリ。攝津ノ部ハ畿内平原ノ一部ニシテ、其西ニハ武庫、摩耶、鶴越、鐵拐岳、鉢伏山等ノ山彙アリ、海岸ハ大坂灣ニ臨ミ、須磨ノ浦ヨリ播磨ノ舞子、明石ニ連リ、海濱ハ砂白ク松青ク、明石海峽ヲ隔テ、淡路島ニ對シ風光明媚ナリ。『淡路島通ふ千鳥のなく聲にいくよねさめの須磨の關守り』播磨ノ海濱ハ沃野遠ク開ケ、加古川、市川、揖保川、千種川此間ヲ並流ス。北部ハ中國中脈ニ屬シ、笠形山、書寫山、白旗山等アリ、丹波ニ入レバ山益深ク、但馬ニハ生野銀山、三國

山、氷山アリ。朝來川此山地ヨリ北ニ流レ日本海ニ入ル、海岸ニ多少ノ平地アリ。○淡路島ノ南部ハ阿蘇火山脈ニ當リ先山、島ノ中央ニ立テリ、紀伊ト由良海峽ヲ挾ミ、阿波トノ間ハ鳴門海峽ナリ。

○神戸市(十九萬四千)ハ兵庫縣廳ノ所在地ニシテ五港ノ一ナリ、港深ク汽船内外各港ニ往來ス、貿易ノ繁榮ナルヲ横濱ニ次グ、市街清潔ニシテ賑合ヘリ。此市ハ東海道線ト關西線トノ連絡スル處、東京ハ三百七十六哩、廣島ハ百九十里アリ、湊川神社、市内ニアリ、湊川ノ西ハ兵庫ニシテ和田岬東ニ出デ、風濤ヲ遮ル、附近ニ福原ノ舊趾アリ、布引瀧生田森亦遠ガラズ。鐵道ニヨリテ東ニ進メバ、住吉、西宮



(城 鷺 白) 城 路 姫

尼ヶ崎アリ、尼ヶ崎ヨリ鐵道北ニ分レテ池田ニ達セリ。其西ニ有馬温泉アリ。

○都邑 姫路市(三萬)ハ神戸ノ西三十四哩ニアリ、酒井氏ノ舊城市ナリ、其城ハ秀吉ノ築ク所「白鷺城」ト稱ス、第十師團ヲ置ク革文庫ノ製造アリ。山陽線此市ニ於テ北ニ分レ、生野ニ達スル鐵道アリ、是ヲ播但線ト云フ。○赤穂ハ西端

ニアリ四十七義士ヲ出セリ、鹽ノ名産アリ。龍野ハ醬油ノ產地ナリ、海濱ニ飾磨津アリ、鐵道姫路ニ通ズ、其西ニ室津アリ。高砂ニハ尾上相生ノ松アリ。○丹波ニ篠山アリ但馬ノ生野ハ銀ノ產地ナリ。豐岡、出石ハ但馬ノ都會ナリ。○淡路ニハ洲本、由良、福良アリ。由良ニハ要塞砲兵ヲ置ク。

○風土 攝津、播磨ハ内海性氣候ニシテ濱海ハ溫和ナリ。平野ヨリハ農産物ヲ出シ、米ノ産額百三十萬石ニ及ブ、綿藍之ニ次グ生野ハ銀ヲ産スルヲ多ク、御影ヨリハ石材ヲ出シ、伊丹兵庫ハ醸酒ノ盛ナルヲ我國第一タリ。○但馬ハ日本海ノ風化ヲ受ケ冬季雪多シ。牛ハ著名ノ産ニシテ

『神戸牛』ト稱シテ、諸方ニ出ス。又柳行李ヲ製ス、淡路ハ氣候宜シク海産及陶器ヲ出ス。

岡山縣

備前一市八郡備中十一郡  
美作 十二郡

○地勢 北境ニ中國山脈ヲ負ヒ、播磨ノ境ニ船坂山(高德古跡)アリ、隧道ニヨリテ鐵道ヲ通ズ。美作ハ殆ド山ヲ以テ圍マレ、其水ハ高田、津山ノ兩川トナリ備前ニ入りテ西大川(旭東大川トナル)。備中ニ川邊川アリ此等ノ流域ハ主要ノ生産地ナリ、濱海ハ低地ニシテ兒島半島出デ、兒島灣ヲ擁ス、其沖ヲ水島灘ト云フ。

○都邑 岡山市(五萬六千)ハ中國第二ノ大都會ナリ、旭川ノ右



岸ニ建テ、池田氏ノ舊城市ナリ、市ノ公園後樂園ハ我國三公園ノ一後ナリ。鐵道東西ニ通ジ、神戸ヨリ八十九哩アリ。其西ニ倉敷、笠岡、北ニ高梁アリ。○津山ハ美作中央岡ノ都會ニシテ鐵道岡山ト通ズ。其城西ニ院庄アリ兒島高德ノ赤心ヲ櫻樹ニ表セシ所ト云フ。

△風土 内海ニ濱シ寒暑稍強シ、農産物ニ綿、烟草、礦物ニ鹽、鐵、銅アリ製造品ニ刀劍、織物(木綿)、陶器(伊部)



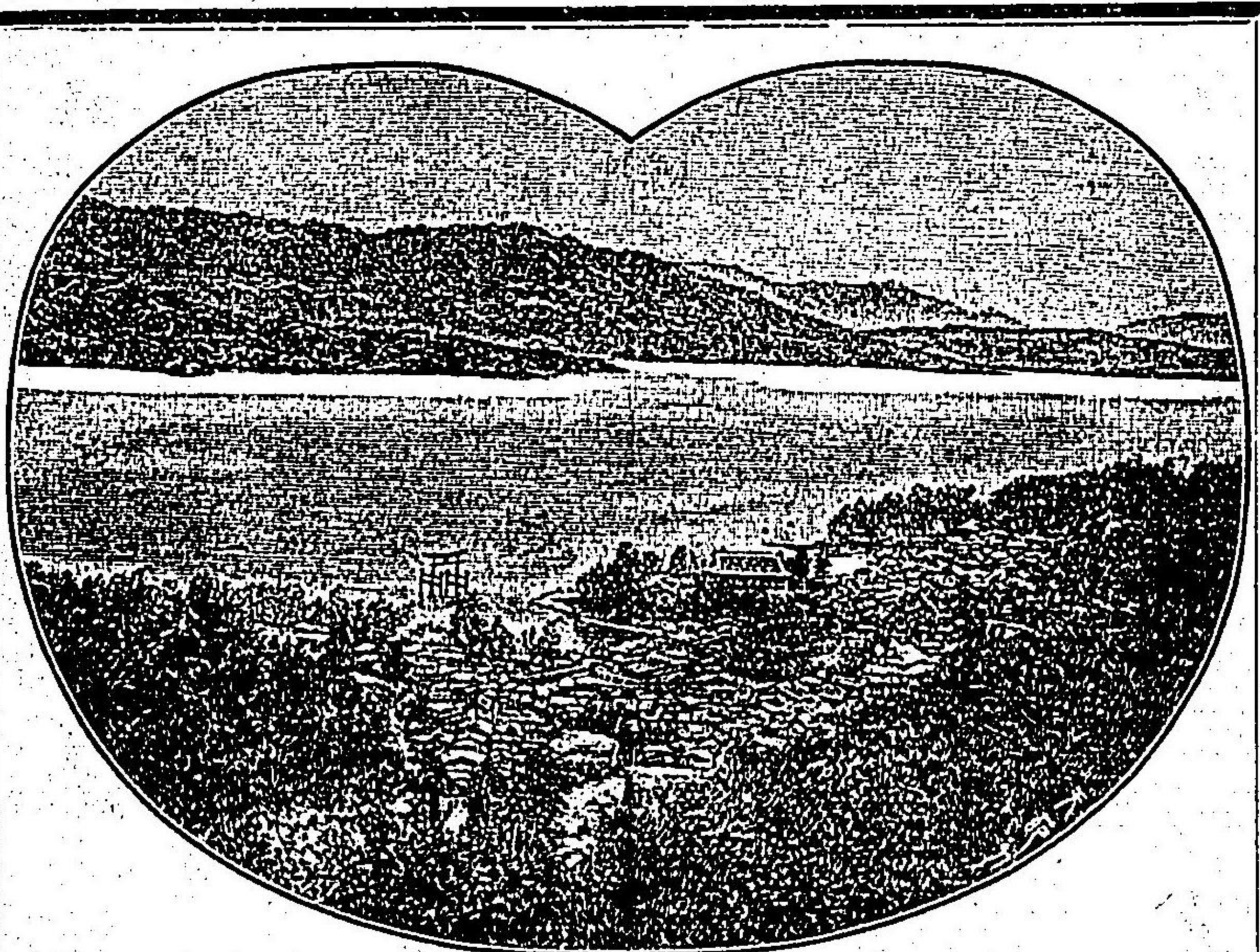
燒)ヲ出ス。岡山ハ熊澤蕃山以來學問盛ニ行ハレ諸種ノ人物ヲ出セリ。

### 廣島縣

安藝一市八郡、備後二市十四郡

○地勢 北部ハ一般山多ク鬼城山、御神山等アリ。海濱ハ稍平地ヲ存シ主要ノ部ナリ、太田川及蘆田川ハ南流シテ平地ヲ開ク、三次川ハ北流シ山間ヲ破リテ石見ニ入り江、川トナル○前面ハ安藝灘ニシテ西ニ廣島灣アリ、島嶼甚ダ多シ。

○廣島市 ハ中國第一ノ大都會ナリ、市街繁盛、商業活潑ニシテ人口既ニ十萬餘ニ進メリ、淺野氏ノ舊城市ナリ



△ 望ヲ脈山國中リ日島嚴

今第五師團ヲ置ク、日清ノ役大本營ヲ置カレタリ。宇品港ハ廣島市ニ近ク、日清ノ役大輸送地トシテ其功著シカリキ、東北ニ吉田町アリ毛利氏ノ基業地ニシテ元就ノ墳墓アリ。嚴島ハ市杵島明神ヲ祀ル、殿樓、華表、潮水ニ浮ブガ如ク青山其後ヲ擁シ

風景畫クガ如シ、我國三景ノ一ナリ。江田島ニハ海軍兵學校アリ。倉橋島其南ニアリ大陸トノ間ハ音戸瀬戸ニシテ清盛ノ開鑿スル所ト云フ。吳灣其北ニアリ灣内ニ軍港アリ。

尾道市(二萬五千)ハ内海ノ要港ニシテ向島其前ニ當リ風波ヲ遮ル、海陸ノ交通共ニ便ナリ其東ニ福山アリ、西ニ三原、北ニ三次アリ。鞆津モ亦良港ナリ。

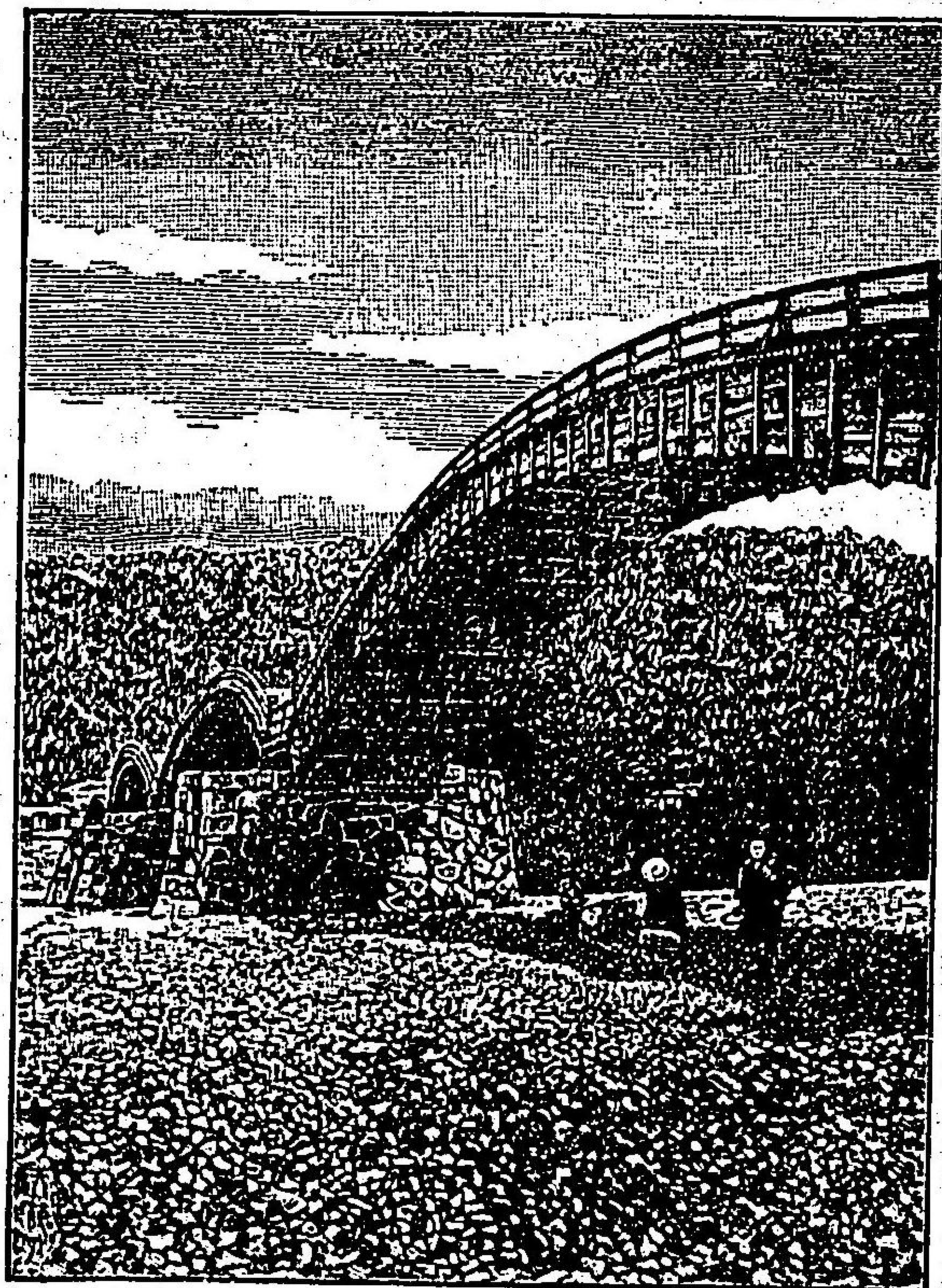
○風土 氣候溫暖ナレモ夏暑頗ル強シ、茶、綿、麻、烟草等ノ農産アリ山地ニ銀、銅及木材ヲ産シ、尾ノ道附近ノ疊表(備後)廣島ヨリ諸製造品ヲ出ス。安藝ハ曾テ毛利氏ノ據リテ雄視セシ所、古ヨリ將士及頼山陽等文人輩出セリ。

山口縣

長門一市五郡、周防六郡

○地勢 内海ト日本海トノ間ニ突出シ、南端ハ門司、關ト相對シテ早鞆峽ヲ挾ミ、其間五丁餘ニ過ギズ、實ニ内海ノ咽喉ナリ。管内ハ概テ中國山脈、蟠マリ兩面ノ海濱ニ僅ニ平地ヲ存スルノミ。岩國川、厚東川、厚狹川ハ内海ニ入り、阿武川ハ日本海ニ入ル。

○都邑 山口町(一萬八千)ハ縣廳所在地ニシテ内地ニアリ、初メ大内氏ノ城ク處、後毛利氏、萩ヨリ移リテコ、ニ居ル、今第二十一旅團及高等學校アリ。萩ハ阿武川口ニアリ、毛利氏ノ舊城地ナリ。赤間關市(三萬七千)ハ内海ノ要口ヲ占メ、



錦 帶 橋

ル良港ナリ、山陽線此地ニ通シ神戸ヨリ二百七十五哩アリ。其東ニ徳山アリ、尙東ニ進メバ岩國アリ、有名ナル錦

船舶必由ノ  
港ナリ、陸路  
ハ山陽鐵道  
線ノ終端ニ  
當ルベキ處  
ナリ、其東ニ  
壇浦(古戰場)アリ。  
三田尻  
ハ其東ニア

帶橋(算盤橋)ハ岩國川(錦川)ニ架セル奇工ノ橋ナリ。

○風土 兩面ニ海ヲ受クルヲ以テ、濱海ハ氣候溫和ニシテ夏蜜柑、無花果等ヲ産ス、紙蠟及銅石炭ヲ出シ近海ニハ鯨、烏賊等ノ海産多シ。長防兩國ハ毛利氏ノ舊封地ニシテ維新ノ際數多ノ人物ヲ出シ、明治政府ノ要路ニ立テシ人多ク、今モ武官出身者續々多シ

### 島根縣

出雲一市六郡、石見六郡、隱岐四郡

○地勢 南ニ山ヲ負ヒ、北面長ク日本海ニ瀕ス、中間ニモ沿岸火山脈通過シ、三瓶山、三郡山アリ、一般ニ平地ニ乏シ、出雲ノ北ニ島根半島横ハリ其東端ヲ美保關ト云フ、此半



大社

大社

島ニヨリテ尖道湖及中海  
ヲ抱ク。江川(石見)ハ中國  
第一ノ大河ニシテ備後ヨリ  
來リ西ニ走リテ海ニ入ル。  
神門川、簸川ハ出雲ノ平地  
ヲ開ケリ。隱岐ハ島根ノ  
北四十哩ニアル火山島ナ  
リ、島前(西島、中島)及島後  
ヲ以テ成ル。

○都邑 松江市(三萬)ハ尖  
道湖ト中海トノ間ナル馬

瀧瀬戸ニ臨ミ、風景頗ル宜シ、島根縣廳此市ニアリ。杵築  
町ニハ有名ナル大社アリ。濱田ハ港ニシテ歩兵第二十  
一聯隊ヲ置ク。津和野ハ西南部ノ小都會ナリ。隱岐ニ  
西郷港アリ。

○風土 冬季北西ノ寒風強ク降雪亦多シ、平地少キヲ以  
テ農産物ニ乏シク麻、綿、紙ヲ産シ、其他礦物、海草、陶器等ア  
リ、隱岐ハ鮑、海鼠等ノ海産及牛ヲ産ス。

### 鳥取縣

因幡一市三郡  
伯耆三郡

○地勢 本縣モ亦南ニ山ヲ負ヒ、北ハ長ク日本海ニ枕ム、  
中間ニ大山(五千八百)アリ、中國第一ノ高山ナリ、其東北ニ

船上山(古跡)アリ。平野甚ダ乏シク千代川、天神川、日野川等ノ小流域ニ過ギズ。沿海ハ出入少ク西ニ夜見濱ノ突出アルノミ。

○都邑 鳥取市(三萬八千)ハ千代川ノ右岸ニアリ、縣廳所在地

ニシテ池田氏ノ舊城市ナリ、今歩兵第四十聯隊ヲ置ク。

米子町ハ夜見濱ノ東、米子ノ深浦ニアル良港ナリ。夜見

濱ノ端ニ境港アリ。倉吉ハ伯耆東部ノ都會ナリ。

○風土 冬季北西風多ク降雪少カラズ、土地瘠薄ニシテ

農産少シ、綿、藍及鐵、海草、蜂蜜ヲ産シ、又多少ノ手工品ヲ出ス。

### 第四編

#### 四國

四國島ハ古ノ「伊余之二名島」ナリ。後、今ノ四國ヲ置カレタルニヨリ四國島ト稱スルニ至レリ。内ニ德島、香川、愛媛、高知ノ四縣アリ、面積千百五十方里、人口殆ド三百萬アリ。

○地勢 島ノ中央ハ四國山脈、西ヨリ東ニ横貫シ、島ノ脊梁タリ、西ニ鬼ヶ城山(森吉山)アリ、中央ニ石槌山(六千五百尺)アリ、四國第一ノ高峯ナリ、其南ニ笹ヶ峰アリ、阿波ノ境ニ於テ兩分シ、一ハ阿波讃岐ノ國境トナリ、一ハ阿波ノ南部ヲ

東走シ劍山(三千尺)ノ高峰アリ。  
 ○風土此山脈アルガ爲メ島地ハ南北ノ兩部ニ別タル。  
 山南ハ表面ニシテ硬質ノ岩石ヲ以テ構造セラレ、地形南海ニ向ツテ緩斜シ、河系多ク南流シ、凡テ南來ノ風化ヲ受ク。山北ハ裏面ニシテ火山(阿蘇火)及處々ニ平地ヲ存シ、河系多ク北流シ、凡テ内海ノ風化ヲ受ク。  
 四國ハ中古以來、長曾我部、山内、蜂須賀等ノ諸豪族ノ據リシ處。人質武健ト稱セラレ、辯舌爽快ナリ、内海岸ハ稍卑俗ナレ、商賣ニ長ズ。

徳島縣 阿波一市 十郡



鳴門海峡ノ大渦旋

○形勢 東ハ紀州海腰ニ臨ミ海岸ノ出入多シ、東角ヲ蒲生田岬ト云ヒ、紀州ノ比井岬ト相對ス。淡路島トノ間ハ有名ナル鳴門海峡ニシテ内海ノ潮水進退スル口ニ當リ、水勢激シテ大渦旋ヲナシ、其聲遠雷ノ如ク航行危険ナリ。  
 北境及南部ハ四國山脈ヲ以テ包マレ、西邊ニ至レバ山深ク人跡稀ナル處アリ。吉野川(四國三郎)

ハ土佐ヨリ來リ、中流(口川)ニ於テ伊豫ヨリ來ル銅山川ト合シテ東流シ、廣キ河谷ヲ開キテ海ニ入ル。此流域最モ主要ノ部ナリ。那賀川ハ南部ノ大流ナリ。

○德島市(六萬二千)

ハ四國第一ノ大市ナリ、吉野河口ノ南岸ニ建テ、商業繁榮ス、蜂須賀氏ノ舊城市ナリ。其北ノ齋田ハ鹽ノ本場ナリ。撫養町ハ鳴門峽ニ臨メル碇泊地ナリ。

○風土 濱海ハ氣候溫暖ニシテ雨量多ク、諸種ノ農産物ヲ出ス、吉野河谷ノ藍ハ全國ニ最タリ。砂糖、烟草亦名アリ、德島附近ヨリハ多ク緘織(阿波)ヲ産ス、山地ヨリ銅石灰ヲ出シ、南海ニ鱈多シ。

香川縣

讃岐一市  
七郡

○地勢 阿波境ハ山脈ヲ以テ限ラレ、其他ハ内海ニ突出シ岬灣ノ出入甚ダ多シ、箱崎西北ニ出テ、伊豫灣ヲ擁ス。沿海ハ島嶼散在シ、小豆島最モ大ナリ。其西ニ鹽飽、七島アリ。海岸ニハ平地ヲ存シ、諸小流之レヲ潤シ、肥沃ノ農産地ナリ。

○都邑 高松市(三萬一千)ハ香川縣廳ノアル所ニシテ織物ヲ産ス、其附近ニ屋島、東ニ志度浦アリ、共ニ源平戰爭ニ關スル著名ノ地ナリ。鐵道ハ高松ヨリ坂出ヲ經テ丸龜ニ通ズ。丸龜町ハ西部ノ都會ナリ、今第十一師團ヲ置ク、鐵道

是ヨリ多度津ヲ經テ琴平ニ達ス、多度津ハ四國ノ良港ニシテ神戸ヘ八十二哩アリ。琴平町ハ象頭山麓ニアリテ有名ナル金比羅神社アリ。其西ニ觀音寺町アリ。

○風土 氣候温暖ニシテ多度津ノ如キハ冬間氷點ニ下ルヲ稀ナリ。平地ハ米ヲ産シ砂糖ノ産額ハ我國第一(海臺外)タリ、引田ハ糖業ノ最モ盛ナル處ナリ。沿海ハ鹽ノ産額多ク、又魚族少カラズ、小豆島ヨリハ醬油ヲ産ス。

愛媛縣

伊豫一市  
十二郡

○地勢 南ハ土佐ト腹背ヲナシ、境上ニ四國山脈連亘ス、北ハ長ク内海ニ濱シ、今治半島突出シ、讚岐ト相對シ、伊豫

ノ灣ヲ作ル、半島ノ西ハ硫黃灘ニシテ内ニ興居島アリ、伊豫小富士ノ名アリ、佐田岬遠ク西ニ出デ、地藏崎ト早吸峽ヲ扼ス、其南ハ豊後ト相對シテ豊後水道ヲ挾ミ、岬灣ノ出入甚ダ多シ。海岸ニ狹キ平地アレヒ其他ハ一般山地ニ屬ス、肱川、重信川ハ多少ノ流域地ヲ開ケリ。

○都邑 松山市(三萬)ハ愛媛縣廳及第十旅團アリ、海岸ニ三津濱アリ市ト鐵道相通ズ。松山ニ近ク道後ノ溫泉アリ。平井河原、森松郡中トノ間皆鐵道相通ゼリ。宇和島ハ南豫ノ都會ニシテ今治、八幡濱ハ碇泊港ナリ。

○風土 氣候温暖ニシテ降雪稀ナレヒ、夏暑頗ル強シ平地ニ米、砂糖、蠟、紙ヲ産シ、別子ノ銅ハ其産額我國第二ナ



り、沿海ニ鹽及魚類ヲ産ス。

高知縣

土佐一市  
七 郡

○地勢 土佐ハ南ニ海ヲ受ケ、室戸、蹉跎ノ兩岬ニヨリテ土佐灣ヲ抱ク、此灣ハ白鳳年間陷没スル處ト云フ。國境ハ總テ山脈ヲ以テ圍マレ、餘脈管内ニ遍ク到ル處硬キ岩石ニシテ、奇景多ク、平地ニ乏シ。物部、仁淀、四万十ノ諸川此間ヲ流ル。

○都邑 高知市(三萬六千)ハ海南ノ都會ナリ、山内氏ノ舊城市ニシテ、維新ノ際數多ノ志士ヲ出セリ、今歩兵第四十四聯隊ヲ置ク。市ニ近ク浦戶灣アリ、船舶ノ出入スル所、神戶

へ百四十二哩アリ、赤岡、高岡、須崎、中村、宿毛ハ小都會ナリ。  
○風土 土佐ハ南海ノ風化ヲ受ケテ、氣候著シク、溫暖ニ夏暑亦甚シカラズ、雨量ハ甚ダ多クシテ、我國最多雨ノ部ナリ、故ニ植物ノ發生頗ル宜シク、巨大ノ良材ヲ産シ、西海中ノ沖島ニハ熱帶性ノ植物ヲ生ス、紙ハ土佐半紙ト稱シ、鯨ハ土佐節ト稱セララル、砂糖、石灰又産シ、土佐沖ノ捕鯨、宿毛灣ノ珊瑚共ニ著名ナリ。人質ハ武健ニシテ率直ト稱セラレ、維新ノ際、人物輩出シ、明治政府ニ於テ薩長土ト並稱セラレ、今モ武官ノ出身者多ク、民間ノ志士亦少カラズ。

第五編

九州 屬島附沖繩縣

九州ハ古ノ『筑紫』ニシテ或ハ『鎮西』ト稱ス。内ニ九國アレバ九州ト云ヒ之ニ壹岐對馬ヲ加ヘテ西海道十一國トス。今福岡佐賀長崎熊本大分宮崎鹿兒島ノ七縣ヲ置ク面積二千六百餘方里住民六百餘萬アリ。

○形勢 九州島ハ南西ヨリ東北ニ並行セル南及北ノ兩山脈及其中間ノ阿蘇火山脈南ヨリ來ル霧島火山脈ノ四脈ヲ以テ構造セララル。概シテ海岸ノ出入多ク特ニ西面ハ岬灣出入シ島嶼群點シ形勢甚ダ佳ナリ。

○風土 九州ハ太古我國祖ノ都シ玉ヒシ所ニシテ本邦ノ祖國ナリ。氣候温暖ニシテ地味肥へ産物多ク特ニ石炭ノ供給所ナリ。此地ハ中古以來菊池少貳大友島津龍造寺加藤小西黒田細川鍋島等諸豪族ノ據リテ或ハ起リ或ハ仆レ互ニ相競逐セシ所且屢外寇ノ衝ニ當リ其難ヲ被レリ。人質剛健ニシテ武ヲ好ミ氣節ヲ尙ビ風俗璞野ナリ。近古諸種ノ人物輩出シ近クハ維新ノ大業ヲ翼賛セシ人多シ。

福岡縣 筑前一市九郡筑後一市六郡 豊前ノ内四郡

○地勢 九州南山脈管内ヲ横過シ門司關ヲ達ス脈中ニ

寶滿山、福知山等アリ。此脈附近ハ石炭ヲ藏ムルト夥シ、  
 豐前ニハ英彦山アリ。北ハ響灘、玄界灘ニ面シ鐘崎遠ク  
 挺出ス、志賀島及ビ海中道ニヨリテ博多灣ヲ抱ク、豐前ハ  
 瀬戸内ニ臨メリ、沿岸一帯ハ平地ニシテ、地味肥ヘタリ、遠  
 賀川南ノ高地ニ發シ、其支流ヲ率井テ北流シ響灘ニ入ル、  
 此流域炭脈最モ豊ナリ。

筑後 筑後ハ有明海ニ濱シ、平野遠ク開ケ地味甚ダ肥ヘ  
 タリ、筑後川(筑紫二郎)ハ豐後ヨリ來リ北境ヲ流レ、廣大ノ流域  
 ナ開キテ有明海ニ入ル、此河ハ菊池氏ノ小貳、大友ト對戰  
 セシ所ニシ、河中ニ武光ノ太刀洗石アリ「歸來河水笑洗刀ヲ  
 血迸奔湍吐紅雪」河道ハ運送灌漑共ニ便利ナリ、高良山(屏風)此平野ノ間

ニアリ。

○都邑 福岡市(六萬二千)ハ博多灣ニ臨ミ、大川ヲ以テ博多ト

境ス、今ハ共ニ一市トナル、黒田氏ノ舊城市ニシテ、歩兵第二  
 十四聯隊アリ、九州鐵道ノ要路ニ當リ、門司へ四十七哩ア  
 リ、博多港ハ船舶ノ往來繁シ、千代、松原ハ元寇ノ舊跡ニシ  
 テ今公園トナル。市ノ附近ニハ箱崎八幡(敵國降伏ノ勅額アリ)香  
 椎宮等アリ。南部ニ太宰府アリ、天滿宮ヲ祀ル、都府樓ノ  
 跡、及其西ニ天拜山等アリ。

小倉町(二萬)ハ豐前北部ノ都會ナリ、小笠原氏ノ舊城市

ナリ、西部都督部及第十二師團アリ、鐵道是ヨリ東南ニ別  
 レ、行橋、中津ヲ經テ宇佐ニ達ス。門司ハ九州鐵道ノ起點



門司ヶ関ヨリ早瀬海峡ヲ隔テテ馬關ヲ望ム

ニシテ、馬關ト早瀬峽ヲ挾  
 ミ陸路及海路ノ要點タリ。  
 ○久留米市(八千)ハ筑後ノ  
 都會ナリ、筑後川ノ南岸ニ  
 アリ有馬氏ノ舊城市ナリ、  
 第二十四旅團ヲ置ク、市ニ  
 水天宮アリ、又飛白織盛ナ  
 リ。其南ニ柳川町アリ、大  
 牟田町ハ三池ニ近ク石炭  
 ノ産所ナリ、筑後河口ニ若  
 津港(大川)アリ米穀ノ輸出所

ナリ。

○風土 氣候北來ノ風化ヲ受ケ、九州ニ在リテハ寒氣強  
 ク冬季屢降雪アリ。平原ハ地味大ニ肥ヘ米穀(百五十)ヲ  
 産スルト甚ダ多シ、其他藍、茶、蠟ヲ産シ、石炭ハ其産額三百  
 四十萬噸ニ上リ我國全産額ノ六割五分ヲ占ム、鐵、織物、木  
 材、紙、水産等産物甚ダ豊ナリ。故ニ民度低カラズ近來稍  
 奢侈ノ傾キアリ。

佐賀縣

肥前一市  
八郡

○地勢 本縣ハ肥前東半ヲ領シ、中部ニ九州北山脈アリ、  
 脈中ニ雷山、天山、背振山等アリ。北ハ壹岐海峡ニ臨ミ、松